

平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成27年度調査）の  
本報告案について

○ 訪問歯科診療の評価及び実態等に関する調査

・報告書（案）	1 頁
・NDBデータ	1 2 3 頁
・調査票	1 2 5 頁
・検証部会としての評価	1 3 9 頁

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 27 年度調査）  
訪問歯科診療の評価及び実態等に関する調査  
報告書（案）

## ◇◆目 次◇◆

I. 調査の概要	1
1. 目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査項目	2
II. 調査の結果	4
1. 回収結果	4
2. 実態調査	5
(1) 管理者の基本属性	5
①性別	5
②年齢	5
(2) 施設の概要	6
①開設主体	6
②標榜診療科	6
③医科の医療機関の併設状況	7
④施設基準の届出状況	7
⑤職員数	8
⑥医療機器等の保有台数	9
(3) 歯科訪問診療の体制等	11
①歯科訪問診療の実施体制（平成 27 年 6 月）	11
②歯科訪問診療を実施していない理由	12
③歯科訪問診療等を実施している職員数	13
④1 か月間の患者総数（延べ人数）	15
⑤歯科訪問診療の開始時期	24
(4) 歯科訪問診療等の実施状況等	25
①歯科訪問診療等を行った延べ日数（平成 27 年 6 月 1 か月間）	25
②歯科訪問診療等の実績（平成 27 年 6 月 1 か月間）	30
③歯科訪問診療等で訪問した場所	33
④患者側の事情により、治療ができなかった経験の有無（平成 27 年 6 月 1 か月間）	34
⑤1 か月間の算定回数（平成 27 年 6 月 1 か月間）	35
⑥各診療報酬項目の算定状況等	40
⑦在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出をしていない主な理由	42
⑧歯科訪問診療を行う上で困っていること	42

(5) 歯科訪問診療における他の医療機関等との連携状況等 .....	45
① 歯科の医療機関との連携状況等 .....	45
② 内科の医療機関との連携状況等 .....	47
③ 介護保険施設・居住系高齢者施設等との連携状況等 .....	49
④ 連携している機関等 .....	51
⑤ 他施設と連携する際に困っていること .....	52
(6) 調査日における歯科訪問診療等 .....	54
① 歯科訪問診療等を行った職員数 .....	54
② 歯科訪問診療等を行った患者数 .....	54
③ 歯科訪問診療等の診療等合計時間 .....	55
(7) 調査日に歯科訪問診療等を行った患者の状況等 .....	56
① 患者の基本属性等 .....	56
② 歯科訪問診療を行ったきっかけ .....	60
③ 調査日の診療内容等 .....	60
④ 1 か月間の歯科訪問診療の頻度 .....	77
3. 意向調査 .....	78
(1) 管理者の基本属性 .....	78
① 性別 .....	78
② 年齢 .....	78
(2) 施設の概要 .....	79
① 開設主体 .....	79
② 標榜診療科 .....	79
③ 内科の医療機関の併設状況 .....	80
④ 施設基準の届出状況 .....	80
⑤ 職員数 .....	81
⑥ 医療機器等の保有台数 .....	82
⑦ 1 か月間の歯科外来患者総数（延べ人数） .....	86
(3) 歯科訪問診療の実施状況等 .....	87
① 歯科訪問診療の実施状況 .....	87
② 歯科訪問診療を実施していない理由 .....	87
③ 歯科訪問診療を実施する上で望まれる支援等 .....	90
(4) 歯科訪問診療の実施体制 .....	91
① 歯科訪問診療の実施体制 .....	91
② 歯科訪問診療等を実施している職員数 .....	92
③ 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数） .....	94
④ 歯科訪問診療の開始時期 .....	98
⑤ 歯科訪問診療等を行った延べ日数（平成 27 年 6 月 1 か月間） .....	99
⑥ 歯科訪問診療等の実績（平成 27 年 6 月 1 か月間） .....	105

⑦1 か月間の算定回数（平成 27 年 6 月 1 か月間） .....	109
⑧各診療報酬項目の算定状況等.....	118
⑨在宅療養支援歯科診療所の届出をしていない主な理由 .....	120
⑩在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出をしていない主な理由.....	121
⑪歯科訪問診療を実施する上での問題点・課題等 .....	122

# I. 調査の概要

## 1. 目的

平成 26 年度診療報酬改定では、歯科訪問診療のうち、在宅を中心に実施している歯科診療所の評価や、訪問診療における医科医療機関と歯科医療機関の連携に着目した評価等について見直しが行われた。

本調査では、このような診療報酬改定の内容を踏まえ、これらの見直しが歯科訪問診療の実施状況にどのような影響を与えたかを調査するとともに、歯科訪問診療の診療時間や患者数等の実態等を把握し、歯科訪問診療における評価体系の見直しに関する影響について調査を行った。また、歯科訪問診療に関する意向調査を行った。

<主なねらい>

- ・ 歯科訪問診療の実態の把握
- ・ 歯科医療機関と医科医療機関との連携状況の把握

## 2. 調査対象

本調査では、「実態調査」と「意向調査」の 2 つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。

### ①実態調査

- ・ 全国の在宅療養支援歯科診療所の中から無作為に抽出した 1,500 施設。

### ②意向調査

- ・ 全国の歯科診療所（ただし、上記①の施設を除く）の中から無作為に抽出した 1,500 施設。

## 3. 調査方法

- ・ 対象施設の管理者が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・ 「実態調査」では、調査日に歯科訪問診療を実施した患者（1 施設につき最大 2 名分）を対象とする「患者調査」を実施した。患者調査の回答者は、歯科診療所の管理者である。
- ・ 調査実施時期は平成 27 年 7 月 7 日～平成 27 年 8 月 19 日。

#### 4. 調査項目

・調査項目は以下の通り。

区分	主な調査項目
(1)実態調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の概要               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開設主体、標榜診療科、医科の医療機関の併設状況、施設基準（届出のあるもの）</li> <li>・ 職員数、歯科訪問診療等に従事した職員数</li> <li>・ 医療機器等の保有台数</li> </ul> </li> <li>○歯科訪問診療の実施状況等               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科訪問診療の体制、歯科訪問診療を実施していない理由</li> <li>・ 歯科訪問診療の開始時期</li> <li>・ 歯科外来患者総数（延べ人数）、歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）</li> <li>・ 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数、歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数、歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ日数</li> <li>・ 歯科訪問診療等で訪問した場所</li> <li>・ 平成27年6月1か月間の歯科訪問診療等の実績</li> <li>・ 患者等に訪問したものの、患者側の事情により治療ができなかった経験の有無（平成27年6月1か月間）とその理由</li> <li>・ 歯科訪問診療1・2・3、在宅かかりつけ歯科診療所加算、訪問歯科衛生指導料1・2、居宅療養管理指導費（歯科医師・歯科衛生士）、周術期口腔機能管理料（Ⅰ）（Ⅱ）、摂食機能療法の算定回数（平成27年6月）</li> <li>・ 緊急歯科訪問診療加算、退院時共同指導料1、在宅患者連携指導料、退院前在宅療養指導管理料、在宅患者緊急時等カンファレンス料の算定実績の有無、ない場合の理由</li> <li>・ 在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出をしていない理由</li> <li>・ 歯科訪問診療を行う上で困っていること、最も困っていること</li> </ul> </li> <li>○歯科訪問診療における他の医療機関等と連携状況等               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携している歯科の医療機関の種類と施設数、連携内容</li> <li>・ 連携している医科の医療機関の種類と施設数、連携内容</li> <li>・ 連携している介護保険施設・居住系高齢者施設等の種類と施設数、連携内容</li> <li>・ 他の連携している機関等</li> <li>・ 他施設との連携を進める上で困っていること</li> </ul> </li> <li>○調査日における歯科訪問診療の実績等</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科訪問診療等を実施した職員数</li> <li>・ 歯科訪問診療等を実施した患者数、診療等合計時間</li> </ul> <p>○患者の状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性別、年齢、居住場所、同一建物内の訪問診療の患者数</li> <li>・ 同居家族の有無、要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度</li> <li>・ 歯科訪問診療を行ったきっかけ</li> <li>・ 歯科訪問診療の頻度</li> <li>・ 診療内容、診療体制、診療時間、機器の準備・後片付けの時間</li> <li>・ 算定した診療報酬等の項目（加算は除く）</li> </ul>
(2)意向調査	<p>○施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開設主体、標榜診療科、医科の医療機関の併設状況、施設基準（届出のあるもの）</li> <li>・ 職員数、歯科訪問診療等に従事した職員数</li> <li>・ 医療機器等の保有台数</li> </ul> <p>○歯科訪問診療の実施状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科訪問診療の実施状況、歯科訪問診療を実施していない理由・最大の理由、歯科訪問診療を実施する上で必要な環境整備</li> <li>・ 歯科訪問診療の体制、歯科訪問診療の開始時期</li> <li>・ 歯科外来患者総数（延べ人数）、歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）</li> <li>・ 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数、歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数、歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ日数</li> <li>・ 平成27年6月1か月間の歯科訪問診療等の実績</li> <li>・ 歯科訪問診療1・2・3、在宅かかりつけ歯科診療所加算、訪問歯科衛生指導料1・2、居宅療養管理指導費（歯科医師・歯科衛生士）、周術期口腔機能管理料（Ⅰ）（Ⅱ）、摂食機能療法の算定回数（平成27年6月）</li> <li>・ 緊急歯科訪問診療加算、退院時共同指導料1、在宅患者連携指導料、退院前在宅療養指導管理料、在宅患者緊急時等カンファレンス料の算定実績の有無、ない場合の理由</li> <li>・ 在宅療養支援歯科診療所の届出をしていない理由</li> <li>・ 在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出をしていない理由</li> <li>・ 歯科訪問診療を行う上で困っていること、最も困っていること</li> </ul>

## Ⅱ. 調査の結果

### 1. 回収結果

実態調査の発送数 1,500 件に対し、回収数は 917 件で回収率は 61.1%であった。このうち有効回答数は 915 件で有効回答率は 61.0%であった。

また、意向調査の発送数 1,500 件に対し、回収数は 850 件で回収率は 56.7%であった。このうち有効回答数は 845 件で有効回答率は 56.3%であった。

図表 1 回収の状況

	①発送数	②回収数	③回収率 (②/①)	④有効回答数	⑤有効回答率 (④/①)
実態調査	1,500	917	61.1%	915	61.0%
意向調査	1,500	850	56.7%	845	56.3%

## 2. 実態調査

### 【調査対象等】

調査対象：全国の在宅療養支援歯科診療所の中から無作為に抽出した 1,500 施設

回答数：施設票 915 件

患者票（1 施設につき最大 2 名分）1,274 件

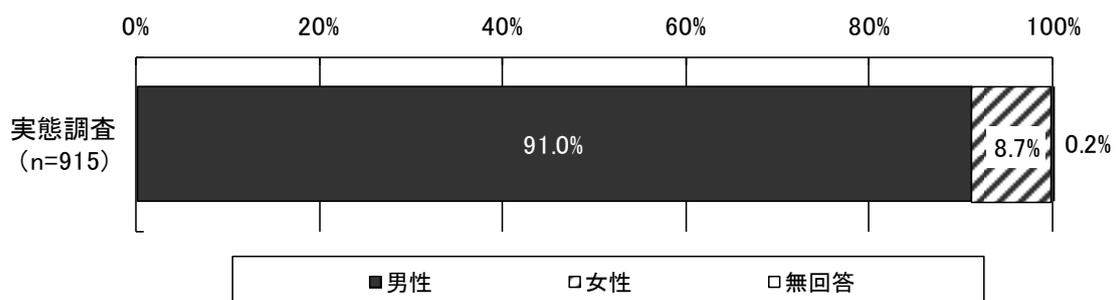
回答者：管理者

### （1）管理者の基本属性

#### ①性別

管理者の性別をみると、男性が 91.0%、女性が 8.7%であった。

図表 2 性別



#### ②年齢

年齢についてみると、平均 56.1 歳（標準偏差 9.8、中央値 57.0）であった。

図表 3 年齢 (n=906)

(単位：歳)

平均値	標準偏差	中央値
56.1	9.8	57.0

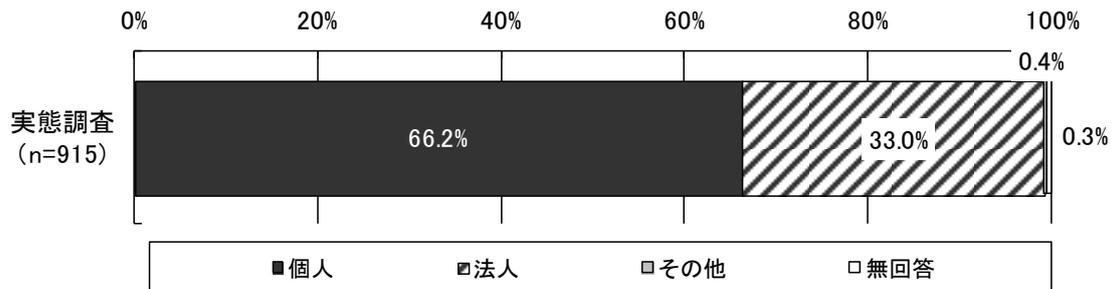
(注) 年齢について回答のあった 906 施設を集計対象とした。

## (2) 施設の概要

### ①開設主体

開設主体をみると、「個人」が66.2%で最も多く、次いで「法人」が33.0%であった。

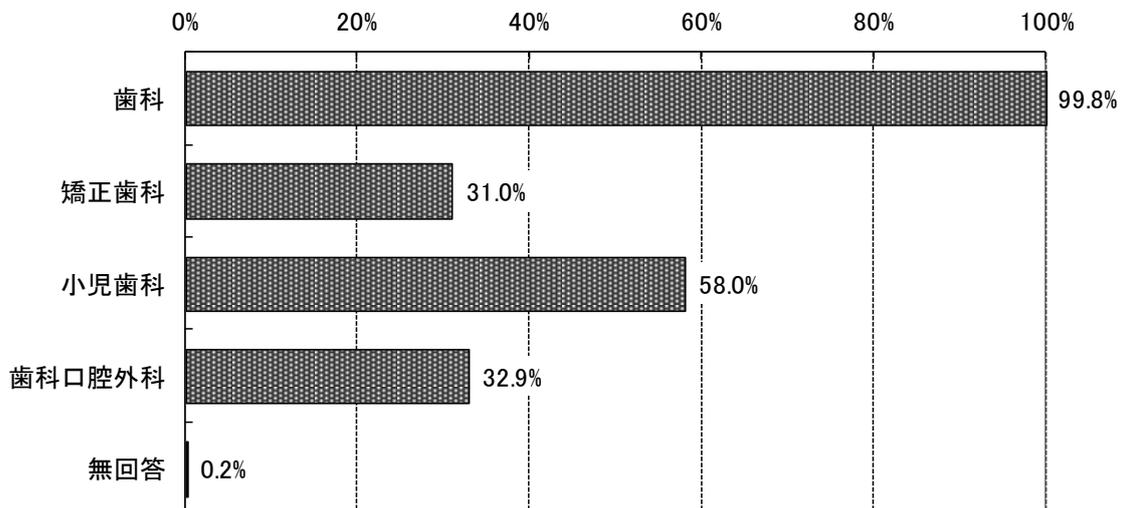
図表 4 開設主体



### ②標榜診療科

標榜診療科をみると、「歯科」が99.8%、「矯正歯科」が31.0%、「小児歯科」が58.0%、「歯科口腔外科」が32.9%であった。

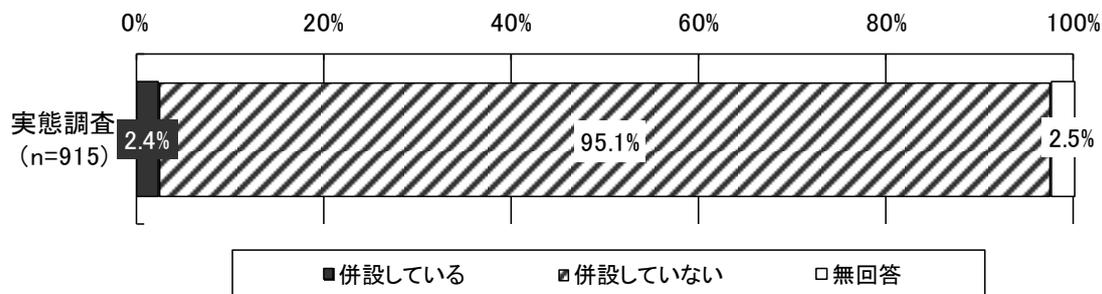
図表 5 標榜診療科（複数回答、n=915）



### ③医科の医療機関の併設状況

医科の医療機関の併設状況を見ると、「併設している」が2.4%、「併設していない」が95.1%であった。

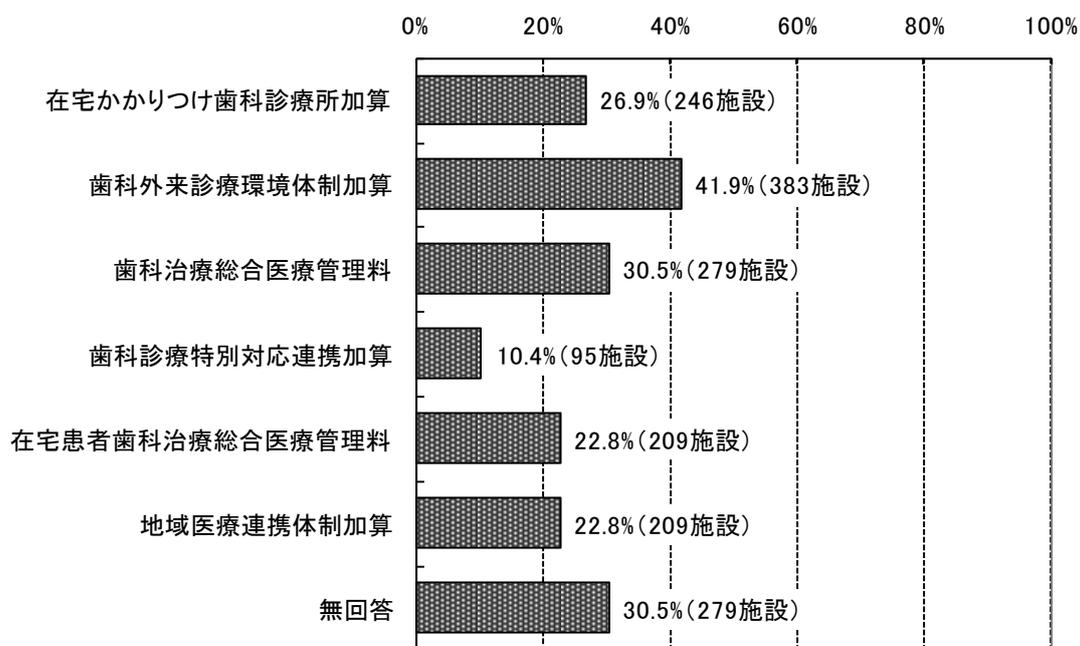
図表 6 医科の医療機関の併設状況



### ④施設基準の届出状況

施設基準の届出状況を見ると、「歯科外来診療環境体制加算」が41.9%（383施設）で最も多く、次いで「歯科治療総合医療管理料」（30.5%、279施設）、「在宅かかりつけ歯科診療所加算」（26.9%、246施設）、「在宅患者歯科治療総合医療管理料」、「地域医療連携体制加算」（いずれも22.8%、209施設）、「歯科診療特別対応連携加算」（10.4%、95施設）であった。

図表 7 施設基準の届出状況（複数回答、n=915）



## ⑤職員数

1 施設あたりの職員数をみると、歯科医師は常勤が平均 1.61 人（標準偏差 1.61、中央値 1.00）、非常勤が平均 0.56 人（標準偏差 1.38、中央値 0.00）であった。また、歯科衛生士は常勤が平均 2.17 人（標準偏差 2.12、中央値 2.00）、非常勤が 1.10 人（標準偏差 1.43、中央値 1.00）、歯科技工士は常勤が平均 0.30 人（標準偏差 0.65、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.03 人（標準偏差 0.18、中央値 0.00）、管理栄養士・栄養士は常勤が平均 0.01 人（標準偏差 0.10、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.07、中央値 0.00）、言語聴覚士は常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.03、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.06、中央値 0.00）、その他の職員は常勤が平均 1.63 人（標準偏差 2.33、中央値 1.00）、非常勤が平均 0.65 人（標準偏差 1.88、中央値 0.00）であった。1 施設あたりの職員数合計は常勤が平均 5.73 人（標準偏差 5.27、中央値 4.00）、非常勤が平均 2.35 人（標準偏差 3.57、中央値 1.35）であった。

図表 8 1 施設あたりの職員数 (n=854)

(単位：人)

	常勤			非常勤		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.61	1.61	1.00	0.56	1.38	0.00
歯科衛生士	2.17	2.12	2.00	1.10	1.43	1.00
歯科技工士	0.30	0.65	0.00	0.03	0.18	0.00
管理栄養士・栄養士	0.01	0.10	0.00	0.00	0.07	0.00
言語聴覚士	0.00	0.03	0.00	0.00	0.06	0.00
その他	1.63	2.33	1.00	0.65	1.88	0.00
合計	5.73	5.27	4.00	2.35	3.57	1.35

(注) 常勤・非常勤ともに職員数について回答のあった 854 施設を集計対象とした。

### ⑥医療機器等の保有台数

各医療機器を保有している施設についてその保有台数をみると、「歯科ユニット」は平均 4.2 台（標準偏差 2.5、中央値 4.0）、「ポータブル歯科治療用ユニット」は平均 1.2 台（標準偏差 0.7、中央値 1.0）、「ポータブルエンジン（携帯用マイクロモーター）」は平均 1.3 台（標準偏差 0.8、中央値 1.0）、「ポータブル歯科用X線装置」は平均 1.1 台（標準偏差 0.4、中央値 1.0）であった。

図表 9 医療機器の保有台数

(単位：台)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科ユニット	886	4.1	2.5	4.0
ポータブル歯科治療用ユニット	726	0.6	0.8	1.0
ポータブルエンジン(携帯用マイクロモーター)	857	1.3	0.9	1.0
ポータブル歯科用X線装置	700	0.4	0.6	0.0

(注) 各医療機器について回答のあった施設を集計対象とした。

図表 10 医療機器の保有台数（各機器を保有している施設）

(単位：台)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科ユニット	867	4.2	2.5	4.0
ポータブル歯科治療用ユニット	373	1.2	0.7	1.0
ポータブルエンジン(携帯用マイクロモーター)	811	1.3	0.8	1.0
ポータブル歯科用X線装置	264	1.1	0.4	1.0

(注) 各医療機器を保有している施設に限定して集計した（「0」を除く）。

歯科訪問診療の実施状況別に歯科ユニットの保有台数をみると、歯科訪問診療を実施している施設では平均 4.1 台（標準偏差 2.5、中央値 4.0）、歯科訪問診療を実施していない施設では平均 3.6 台（標準偏差 1.8、中央値 4.0）であった。

図表 11 歯科ユニット（歯科訪問診療の実施状況別）

(単位：台)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	886	4.1	2.5	4.0
歯科訪問診療を実施している施設	842	4.1	2.5	4.0
歯科訪問診療を実施していない施設	39	3.6	1.8	4.0

(注) 歯科ユニット台数について回答のあった施設を集計対象とした。

歯科訪問診療の実施状況別にポータブル歯科治療用ユニットの保有台数をみると、歯科訪問診療を実施している施設では平均 0.7 台（標準偏差 0.8、中央値 1.0）、歯科訪問診療を実施していない施設では平均 0.3 台（標準偏差 0.4、中央値 0.0）であった。

図表 12 ポータブル歯科治療用ユニット（歯科訪問診療の実施状況別）

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	726	0.6	0.8	1.0
歯科訪問診療を実施している施設	697	0.7	0.8	1.0
歯科訪問診療を実施していない施設	24	0.3	0.4	0.0

（注）ポータブル歯科治療用ユニット台数について回答のあった施設を集計対象とした。

歯科訪問診療の実施状況別にポータブルエンジン（携帯用マイクロモーター）の保有台数をみると、歯科訪問診療を実施している施設では平均 1.3 台（標準偏差 0.9、中央値 1.0）、歯科訪問診療を実施していない施設では平均 0.7 台（標準偏差 0.5、中央値 1.0）であった。

図表 13 ポータブルエンジン（携帯用マイクロモーター）（歯科訪問診療の実施状況別）

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	857	1.3	0.9	1.0
歯科訪問診療を実施している施設	819	1.3	0.9	1.0
歯科訪問診療を実施していない施設	33	0.7	0.5	1.0

（注）ポータブルエンジン（携帯用マイクロモーター）台数について回答のあった施設を集計対象とした。

歯科訪問診療の実施状況別にポータブル歯科用 X 線装置の保有台数をみると、歯科訪問診療を実施している施設では平均 0.4 台（標準偏差 0.6、中央値 0.0）、歯科訪問診療を実施していない施設では平均 0.2 台（標準偏差 0.4、中央値 0.0）であった。

図表 14 ポータブル歯科用 X 線装置（歯科訪問診療の実施状況別）

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	700	0.4	0.6	0.0
歯科訪問診療を実施している施設	670	0.4	0.6	0.0
歯科訪問診療を実施していない施設	26	0.2	0.4	0.0

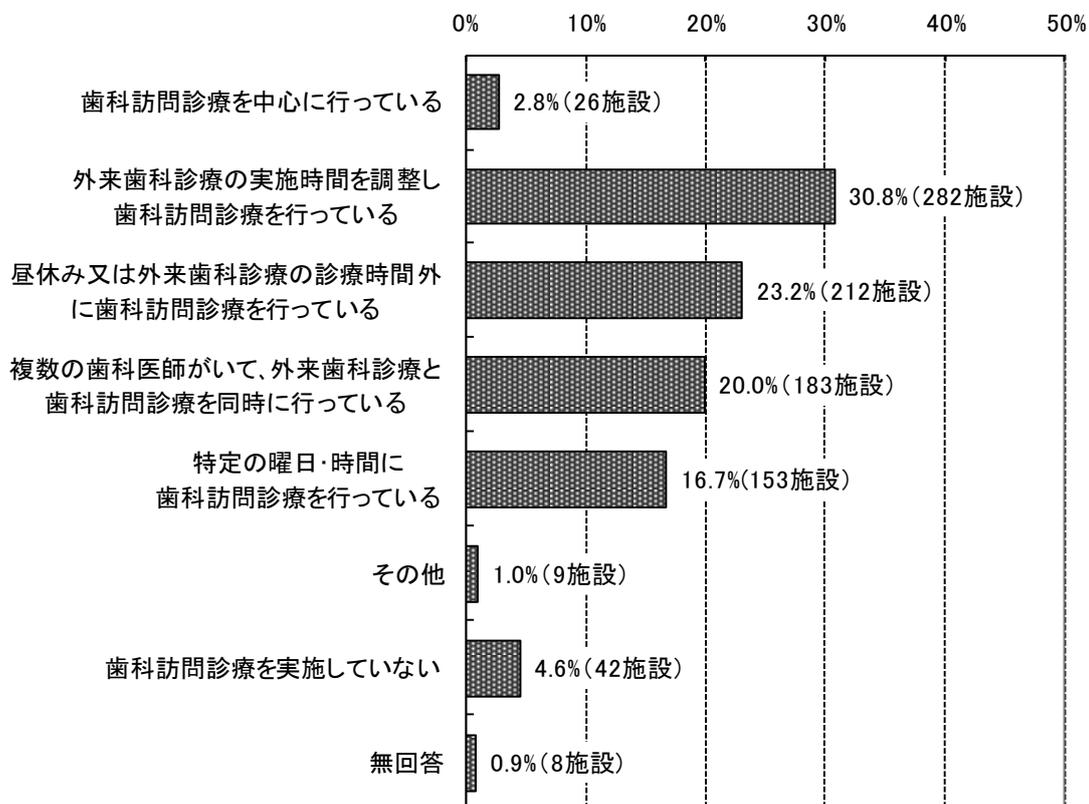
（注）ポータブル歯科用 X 線装置台数について回答のあった施設を集計対象とした。

### (3) 歯科訪問診療の体制等

#### ① 歯科訪問診療の実施体制（平成 27 年 6 月）

歯科訪問診療の実施体制をみると、「外来歯科診療の実施時間を調整し歯科訪問診療を行っている」が 30.8%（282 施設）で最も多く、次いで「昼休み又は外来歯科診療の診療時間外に歯科訪問診療を行っている」が 23.2%（212 施設）、「複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている」が 20.0%（183 施設）、「特定の曜日・時間に歯科訪問診療を行っている」が 16.7%（153 施設）、「歯科訪問診療を中心に行っている」が 2.8%（26 施設）であった。また、「歯科訪問診療を実施していない」が 4.6%（42 施設）であった。

図表 15 歯科訪問診療の実施体制（単数回答、n=915）

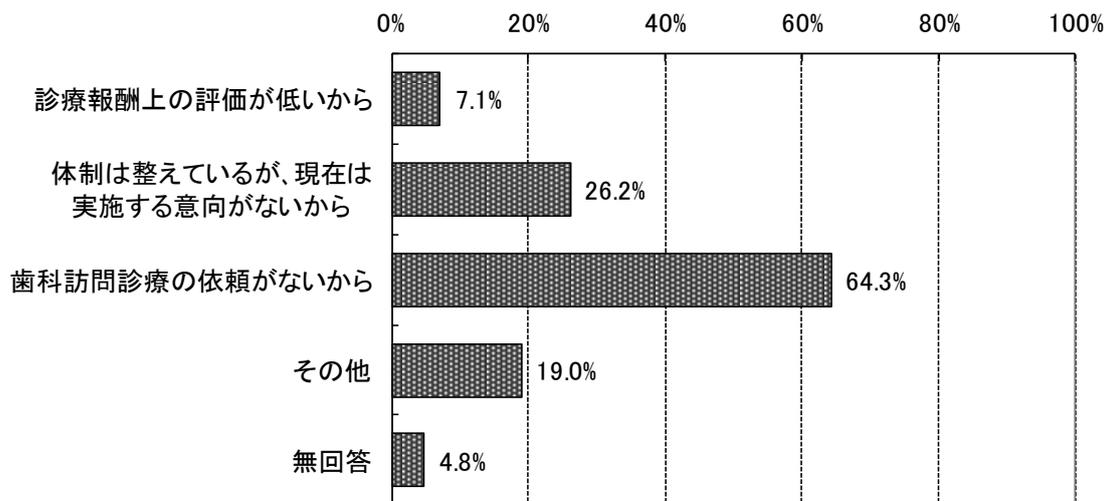


(注) 「その他」の内容として、「要請があった時に休日を利用して」、「外来休診日に」等が挙げられた。

## ②歯科訪問診療を実施していない理由

歯科訪問診療を実施していない施設に対して歯科訪問診療を実施していない理由を尋ねたところ、「歯科訪問診療の依頼がないから」が64.3%で最も多く、次いで「体制は整えているが、現在は実施する意向がないから」(26.2%)、「診療報酬上の評価が低いから」(7.1%)であった。

図表 16 歯科訪問診療を実施していない理由  
(歯科訪問診療を実施していない施設、複数回答、n=42)



(注)「その他」の内容として、「院長の体力的問題」(同旨含め2件)、「外来患者が多くて訪問診療まで手が回らないから」(同旨含め2件)、「(訪問診療での)治療に限界があるから」等が挙げられた。

### ③歯科訪問診療等を実施している職員数

歯科訪問診療等を実施している職員数についてみると、歯科医師は常勤が平均 1.02 人（標準偏差 1.13、中央値 1.00）、非常勤が平均 0.29 人（標準偏差 1.09、中央値 0.00）、歯科衛生士は常勤が平均 1.13 人（標準偏差 1.79、中央値 1.00）、非常勤が平均 0.61 人（標準偏差 1.28、中央値 0.00）、歯科技工士は常勤が平均 0.04 人（標準偏差 0.22、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.01 人（標準偏差 0.09、中央値 0.00）、管理栄養士・栄養士は常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.05、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.05、中央値 0.00）、言語聴覚士は常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.05、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.06、中央値 0.00）、その他の職員は常勤が平均 0.39 人（標準偏差 1.05、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.11 人（標準偏差 0.48、中央値 0.00）であった。訪問診療等を実施している職員数の合計は常勤が平均 2.58 人（標準偏差 3.18、標準偏差 2.00）、非常勤が平均 1.02 人（標準偏差 2.24、中央値 0.00）であった。

図表 17 歯科訪問診療等を実施している職員数（平成 27 年 6 月、n=892）

（単位：人）

	常勤			非常勤		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.02	1.13	1.00	0.29	1.09	0.00
歯科衛生士	1.13	1.79	1.00	0.61	1.28	0.00
歯科技工士	0.04	0.22	0.00	0.01	0.09	0.00
管理栄養士・栄養士	0.00	0.05	0.00	0.00	0.05	0.00
言語聴覚士	0.00	0.05	0.00	0.00	0.06	0.00
その他	0.39	1.05	0.00	0.11	0.48	0.00
合計	2.58	3.18	2.00	1.02	2.24	0.00

（注）・「歯科訪問診療等」とは、歯科医師による歯科訪問診療の他、歯科衛生士の訪問による口腔衛生指導なども含む（以下、同様）。

- ・常勤・非常勤ともに歯科訪問診療等を実施している職員数について回答のあった 892 施設を集計対象とした。
- ・平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療等を実施した職員数であるため、当月に歯科訪問診療等の実績がない場合、ここでの職員数は「0」となる。

歯科訪問診療等を実施している職員数について、職員数合計が「0」であった施設を除いた集計でみると、歯科医師は常勤が平均 1.28 人（標準偏差 1.13、中央値 1.00）、非常勤が平均 0.36 人（標準偏差 1.21、中央値 0.00）、歯科衛生士は常勤が平均 1.42 人（標準偏差 1.90、中央値 1.00）、非常勤が平均 0.76 人（標準偏差 1.40、中央値 0.00）、歯科技工士は常勤が平均 0.05 人（標準偏差 0.24、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.01 人（標準偏差 0.10、中央値 0.00）、管理栄養士・栄養士は常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.05、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.05、中央値 0.00）、言語聴覚士は常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.05、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.07、中央値 0.00）、その他の職員は常勤が平均 0.48 人（標準偏差 1.16、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.14 人（標準偏差 0.53、中央値 0.00）であった。訪問診療等を実施している職員数の合計は常勤が平均 3.25 人（標準偏差 3.25、標準偏差 2.00）、非常勤が平均 1.28 人（標準偏差 2.44、中央値 0.00）であった。

図表 18 歯科訪問診療等を実施している職員数（平成 27 年 6 月）  
（「0」を除く、n=710）

（単位：人）

	常勤			非常勤		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.28	1.13	1.00	0.36	1.21	0.00
歯科衛生士	1.42	1.90	1.00	0.76	1.40	0.00
歯科技工士	0.05	0.24	0.00	0.01	0.10	0.00
管理栄養士・栄養士	0.00	0.05	0.00	0.00	0.05	0.00
言語聴覚士	0.00	0.05	0.00	0.00	0.07	0.00
その他	0.48	1.16	0.00	0.14	0.53	0.00
合計	3.25	3.25	2.00	1.28	2.44	0.00

（注）・「歯科訪問診療等」とは、歯科医師による歯科訪問診療の他、歯科衛生士の訪問による口腔衛生指導なども含む（以下、同様）。

・平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療等を実施した職員数合計が「0」であった施設を除いて集計した。

④1 か月間の患者総数（延べ人数）

1) 外来患者数

平成 27 年 6 月 1 か月間の歯科外来患者総数（延べ人数）をみると、全体では平均 604.2 人（標準偏差 574.9、中央値 466.0）であった。

訪問診療体制別にみると、「歯科訪問診療を中心に行っている施設」では歯科外来患者総数は平均 130.1 人で他の施設と比較して少なかった。一方、「複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている」施設では歯科外来患者総数は平均 944.8 人で最も多かった。

図表 19 1 か月間の歯科外来患者総数（延べ人数）（訪問診療体制別）

（単位：人）

	平成 25 年 6 月				平成 27 年 6 月			
	施設数 (件)	平均値	標準 偏差	中央値	施設数 (件)	平均値	標準 偏差	中央値
全体	781	579.4	551.5	450.0	830	604.2	574.9	466.0
歯科訪問診療を中心に行っている	20	133.3	225.6	3.5	21	130.1	234.7	24.0
外来歯科診療の実施時間を調整し 歯科訪問診療を行っている	246	456.6	346.1	379.0	258	460.8	346.1	380.0
昼休み又は外来歯科診療の診療時間 外に歯科訪問診療を行っている	183	608.9	558.3	500.0	195	618.5	580.2	521.0
複数の歯科医師がいて、外来歯科診 療と歯科訪問診療を同時に行っている	155	877.0	811.9	628.0	167	944.8	834.1	689.0
特定の曜日・時間に歯科訪問診療を行 っている	134	541.9	379.2	454.0	144	565.6	394.9	492.0
その他	8	395.8	258.1	474.0	8	531.1	136.5	539.0
歯科訪問診療を実施していない	30	378.1	407.9	308.5	32	383.2	445.6	275.0

（注）歯科外来患者総数について回答のあった施設を集計対象とした。

次に、1か月間の歯科外来患者総数（延べ人数）について、平成25年6月、平成27年6月ともに回答のあった施設に限定してみると、1か月間の歯科外来患者総数（延べ人数）は、全体では平成25年6月が平均581.5人（標準偏差551.6、中央値451.5）で、平成27年6月が平均606.9人（標準偏差574.3、中央値466.0）であり、歯科外来患者総数は増加した。

また、「歯科訪問診療を中心に行っている」施設以外の施設では、平成27年6月の歯科外来総患者数は平成25年6月と比較して増加したが、「歯科訪問診療を中心に行っている」施設では減少した。

図表 20 1か月間の歯科外来患者総数（延べ人数）（訪問診療体制別）

（単位：人）

	施設数 (件)	平成25年6月			平成27年6月		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
全体	778	581.5	551.6	451.5	606.9	574.3	466.0
歯科訪問診療を中心に行っている	19	140.3	229.5	5.0	135.2	246.1	4.0
外来歯科診療の実施時間を調整し歯科訪問診療を行っている	245	457.9	346.3	379.0	468.7	349.6	386.0
昼休み又は外来歯科診療の診療時間外に歯科訪問診療を行っている	183	608.9	558.3	500.0	624.5	591.4	521.0
複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている	154	882.7	811.5	635.5	946.1	830.8	711.5
特定の曜日・時間に歯科訪問診療を行っている	134	541.9	379.2	454.0	561.1	388.9	468.5
その他	8	395.8	258.1	474.0	531.1	136.5	539.0
歯科訪問診療を実施していない	30	378.1	407.9	308.5	393.7	454.9	275.0

（注）歯科外来患者総数について平成25年6月と平成27年6月ともに回答のあった施設を集計対象とした。

## 2) 歯科訪問診療等の患者総数

平成 27 年 6 月 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）をみると、全体では平均 82.2 人（標準偏差 249.9、中央値 9.0）であった。

訪問診療体制別にみると、平成 27 年 6 月 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数は、「歯科訪問診療を中心に行っている」施設が平均 290.0 人（標準偏差 314.5、中央値 216.0）で最も多く、次いで「複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている」施設で平均 284.9 人（標準偏差 485.6、中央値 106.0）であった。

図表 21 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）（訪問診療体制別）

（単位：人）

	平成 25 年 6 月				平成 27 年 6 月			
	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	773	66.5	198.4	7.0	854	82.2	249.9	9.0
歯科訪問診療を中心に行っている	20	189.2	253.9	108.5	21	290.0	314.5	216.0
外来歯科診療の実施時間を調整し歯科訪問診療を行っている	236	11.3	25.6	2.0	265	12.8	37.1	2.0
昼休み又は外来歯科診療の診療時間外に歯科訪問診療を行っている	181	19.7	61.8	2.0	199	18.7	43.2	4.0
複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている	153	218.8	380.7	70.0	165	284.9	485.6	106.0
特定の曜日・時間に歯科訪問診療を行っている	135	55.4	89.6	24.0	146	64.3	106.8	28.0
その他	9	33.7	84.6	0.0	9	53.2	112.8	2.0
歯科訪問診療を実施していない	34	1.6	6.5	0.0	42	0.0	-	0.0

（注）歯科訪問診療等の患者総数について回答のあった施設を集計対象とした。

次に、1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）について、平成 25 年 6 月、平成 27 年 6 月ともに回答のあった施設に限定してみると、1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）は、全体では平成 25 年 6 月が平均 66.8 人（標準偏差 198.8、中央値 7.0）で、平成 27 年 6 月が平均 81.7 人（標準偏差 241.8、中央値 10.0）であり、歯科訪問診療等の患者総数は増加した。

歯科訪問診療等の患者総数は、「歯科訪問診療を中心に行っている」施設では平均 199.1 人（標準偏差 256.8、中央値 113.0）から平均 286.7 人（標準偏差 323.3、中央値 216.0）へと大きく増加した。

図表 22 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）

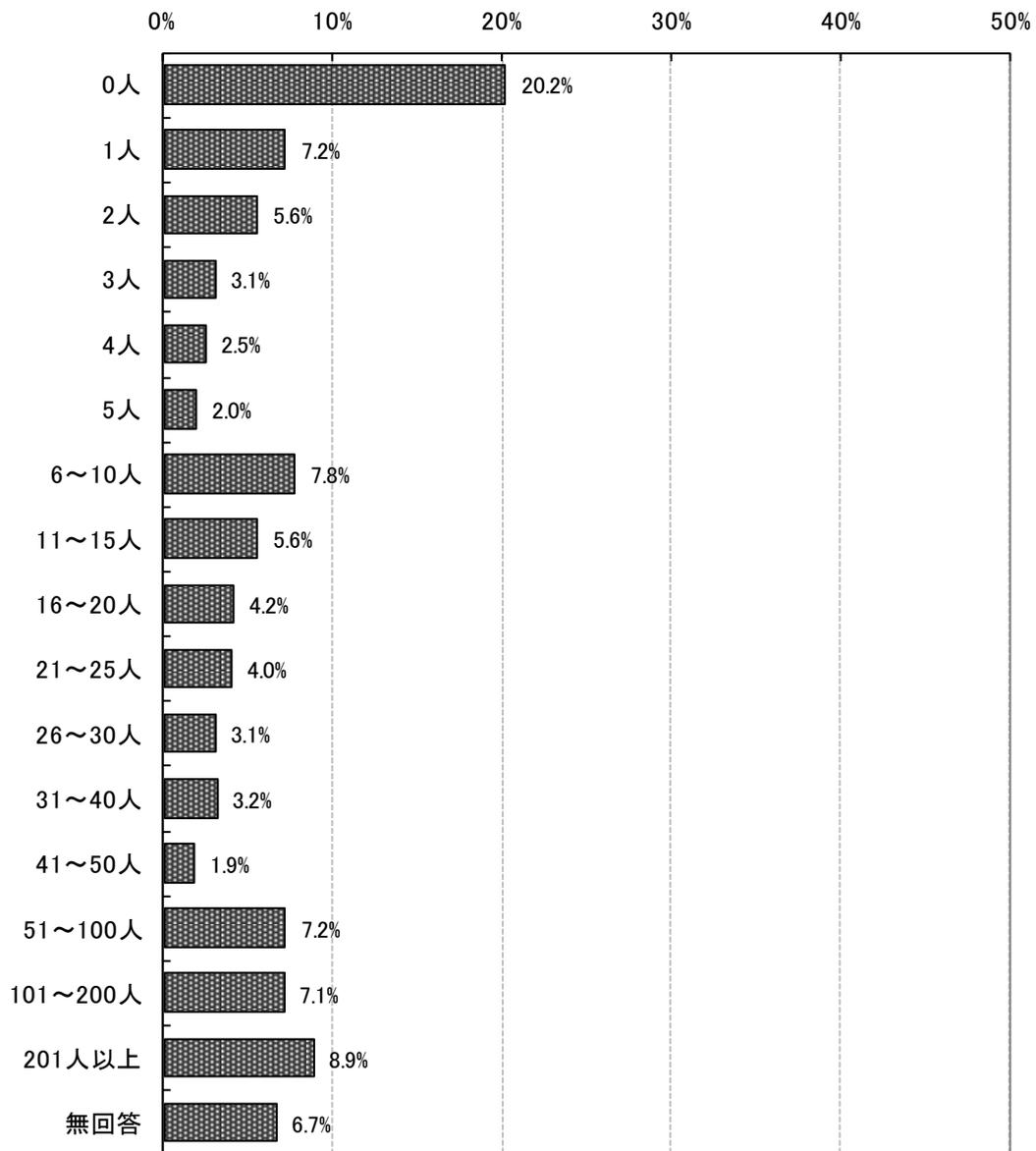
（単位：人）

	施設数 (件)	平成 25 年 6 月			平成 27 年 6 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
全体	769	66.8	198.8	7.0	81.7	241.8	10.0
歯科訪問診療を中心に行っている	19	199.1	256.8	113.0	286.7	323.3	216.0
外来歯科診療の実施時間を調整し歯科訪問診療を行っている	235	11.4	25.7	2.0	14.2	39.2	3.0
昼休み又は外来歯科診療の診療時間外に歯科訪問診療を行っている	181	19.7	61.8	2.0	17.9	41.2	3.0
複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている	152	220.3	381.5	70.0	276.1	460.4	101.5
特定の曜日・時間に歯科訪問診療を行っている	134	55.8	89.8	24.5	61.9	108.5	27.0
その他	9	33.7	84.6	0.0	53.2	112.8	2.0
歯科訪問診療を実施していない	34	1.6	6.5	0.0	0.0	—	0.0

（注）歯科訪問診療等の患者総数について平成 25 年 6 月と平成 27 年 6 月ともに回答のあった施設を集計対象とした。

平成 27 年 6 月 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）階級別施設分布をみると、「0 人」が 20.2%で最も多く、次いで「201 人以上」（8.9%）、「6～10 人」（7.8%）、「51～100 人」（7.2%）、「101～200 人」（7.1%）であった。5 人以下の施設がおよそ 4 割を占める一方で、50 人を超える施設が 2 割強あった。

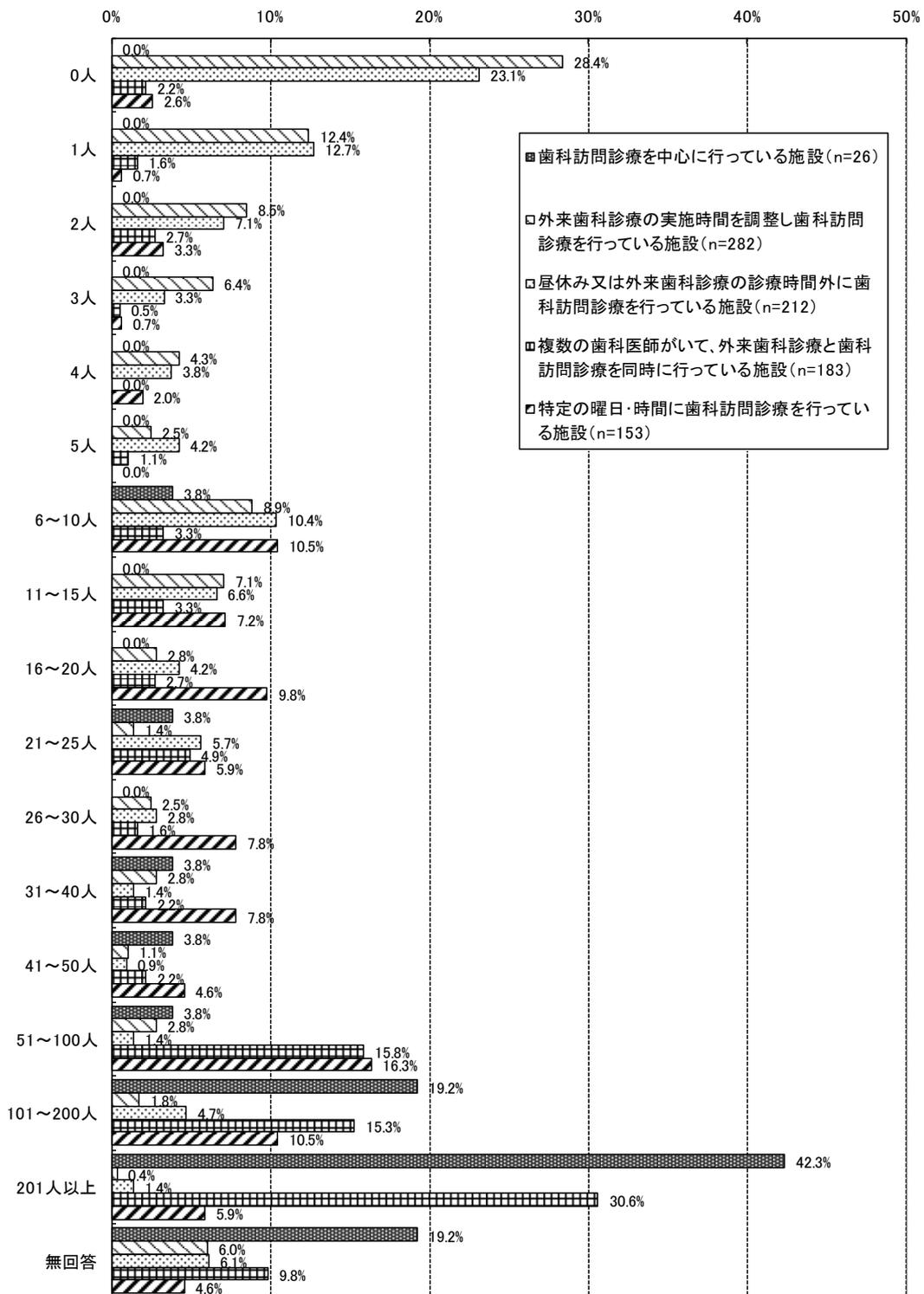
図表 23 平成 27 年 6 月 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）階級別施設分布（n=915）



(注) 平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療等を行った患者総数別の施設分布。

訪問診療体制別に歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）階級別施設分布をみると、「歯科訪問診療を中心に行っている施設」では「201人以上」が42.3%で最も多く、次いで「101～200人」が19.2%であった。「外来歯科診療の実施時間を調整し歯科訪問診療を行っている施設」では「0人」が28.4%で最も多く、次いで「1人」が12.4%であった。「昼休み又は外来歯科診療の診療時間外に歯科訪問診療を行っている施設」では「0人」が23.1%で最も多く、次いで「1人」が12.7%であった。「複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている施設」では「201人以上」が30.6%で最も多く、次いで「51～100人」が15.8%、「101～200人」が15.3%と続いた。「特定の曜日・時間に歯科訪問診療を行っている施設」では「51～100人」が16.3%で最も多く、次いで「6～10人」、「101～200人」がいずれも10.5%であった。

図表 24 平成 27 年 6 月 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）階級別施設分布（訪問診療体制別）



平成 27 年 6 月 1 か月間の、全患者に占める歯科訪問診療等の患者総数の割合別施設分布をみると、全体では「0%超～10%未満」が 51.3%で最も多く、これに「0%」を加えると全体の 65.6%を占めた。

訪問診療体制別にみると、「外来歯科診療の実施時間を調整し歯科訪問診療を行っている」施設、「昼休み又は外来歯科診療の診療時間外に歯科訪問診療を行っている」施設では、「0%」と「0%超～10%未満」を合わせた割合はそれぞれ 81.9%、81.6%と 8 割を超えた。また、「特定の曜日・時間に歯科訪問診療を行っている」施設では 58.9%とおよそ 6 割となった。一方で、「歯科訪問診療を中心にしている」施設では「90%以上」が 38.5%とおよそ 4 割を占めた。

図表 25 平成 27 年 6 月 1 か月間の全患者に占める歯科訪問診療等の患者総数の割合別  
施設分布（訪問診療体制別）

（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	0%	0%超 ～10% 未満	10% 以上 ～20% 未満	20% 以上 ～30% 未満	30% 以上～ 40% 未満	40% 以上～ 50% 未満
全体	873 100.0	125 14.3	448 51.3	77 8.8	39 4.5	20 2.3	19 2.2
歯科訪問診療を中心に行っている	26 100.0	0 0.0	2 7.7	0 0.0	2 7.7	0 0.0	0 0.0
外来歯科診療の実施時間を調整し 歯科訪問診療を行っている	282 100.0	69 24.5	162 57.4	11 3.9	4 1.4	3 1.1	1 0.4
昼休み又は外来歯科診療の診療時間 外に歯科訪問診療を行っている	212 100.0	46 21.7	127 59.9	7 3.3	6 2.8	1 0.5	3 1.4
複数の歯科医師がいて、外来歯科診 療と歯科訪問診療を同時に行っている	183 100.0	4 2.2	62 33.9	29 15.8	20 10.9	8 4.4	12 6.6
特定の曜日・時間に歯科訪問診療を行 っている	153 100.0	3 2.0	87 56.9	29 19.0	7 4.6	7 4.6	3 2.0
その他	9 100.0	3 33.3	3 33.3	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0

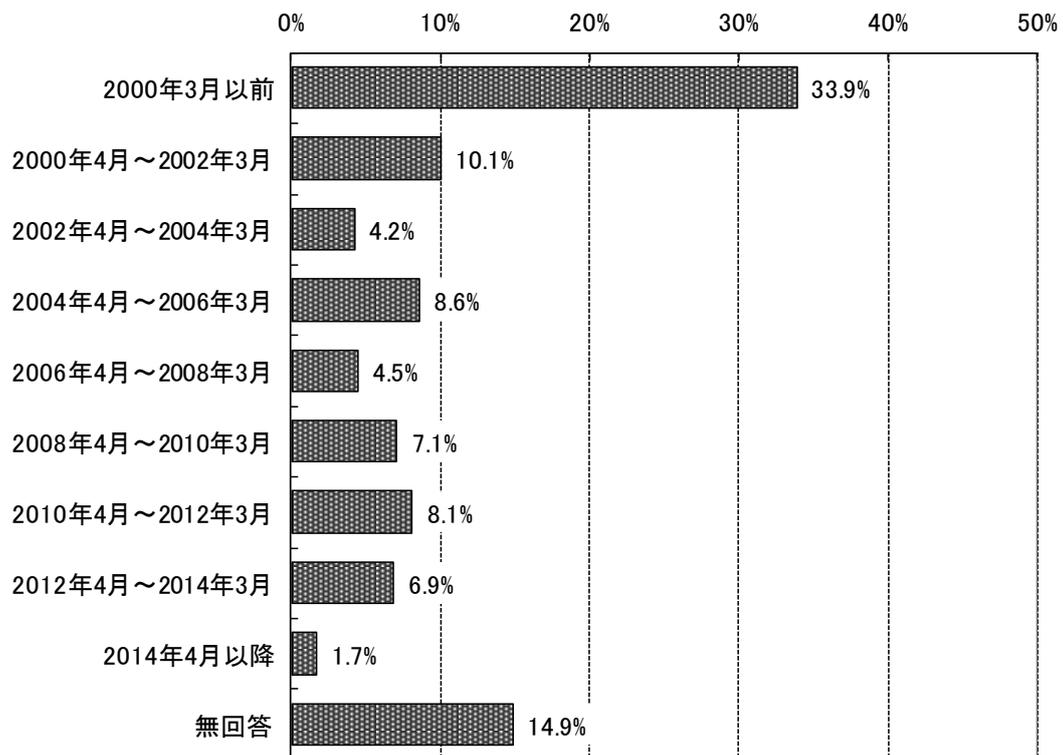
	総数	50% 以上～ 60% 未満	60% 以上～ 70% 未満	70% 以上～ 80% 未満	80% 以上～ 90% 未満	90% 以上	無回答
全体	873 100.0	10 1.1	14 1.6	4 0.5	9 1.0	17 1.9	91 10.4
歯科訪問診療を中心に行っている	26 100.0	2 7.7	1 3.8	1 3.8	2 7.7	10 38.5	6 23.1
外来歯科診療の実施時間を調整し 歯科訪問診療を行っている	282 100.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	30 10.6
昼休み又は外来歯科診療の診療時間 外に歯科訪問診療を行っている	212 100.0	1 0.5	2 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 9.0
複数の歯科医師がいて、外来歯科診 療と歯科訪問診療を同時に行っている	183 100.0	4 2.2	7 3.8	3 1.6	7 3.8	4 2.2	23 12.6
特定の曜日・時間に歯科訪問診療を行 っている	153 100.0	2 1.3	4 2.6	0 0.0	0 0.0	2 1.3	9 5.9
その他	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1

（注）「歯科訪問診療等を行っていない」施設を除いた施設を集計対象とした。

### ⑤ 歯科訪問診療の開始時期

歯科訪問診療の開始時期をみると、「2000年3月以前」が33.9%で最も多かった。次いで「2000年4月～2002年3月」が10.1%、「2004年4月～2006年3月」が8.6%、「2010年4月～2012年3月」が8.1%であった。

図表 26 歯科訪問診療の開始時期（歯科訪問診療等を実施している施設、n=873）



#### (4) 歯科訪問診療等の実施状況等

##### ① 歯科訪問診療等を行った延べ日数（平成 27 年 6 月 1 か月間）

###### 1) 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数

平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数は、平均 10.9 日（標準偏差 15.6、中央値 5.0）であった。

図表 27 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、n=843）

（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
10.9	15.6	5.0

（注）歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数について回答のあった 843 施設を集計対象とした。

平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療の実績があった施設における、歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数は、平均 13.2 日（標準偏差 16.2、中央値 8.0）であった。

図表 28 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、n=698）

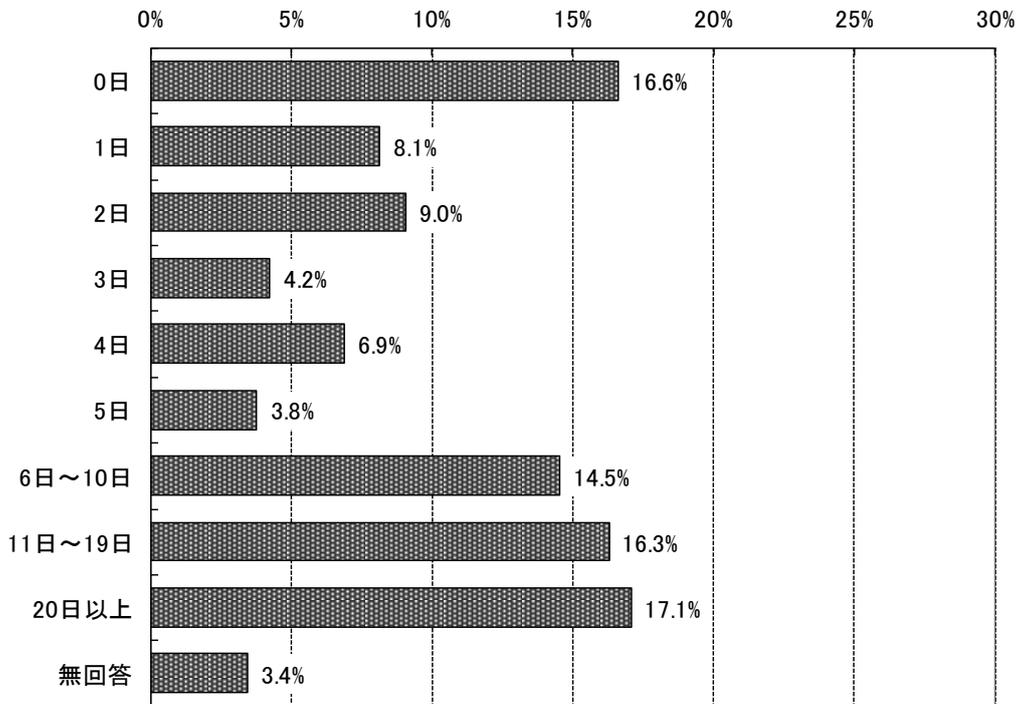
（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
13.2	16.2	8.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数が「0」日であった施設を除いて集計した。

歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数階級別施設分布をみると、「20日以上」が17.1%で最も多かった。一方で、「0日」の施設が16.6%あった。

図表 29 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数階級別施設分布  
(歯科訪問診療等を実施している施設、n=873)



## 2) 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数

平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数は、平均 6.7 日 (標準偏差 15.0、中央値 1.0) であった。

図表 30 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数  
(歯科訪問診療等を実施している施設、n=833)

(単位：日)

平均値	標準偏差	中央値
6.7	15.0	1.0

(注) 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数について回答のあった 833 施設を集計対象とした。

平成27年6月1か月間に歯科医師による居宅療養管理指導の実績があった施設における、歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数は、平均13.2日(標準偏差18.9、中央値7.0)であった。

図表 31 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数  
(歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、n=424)

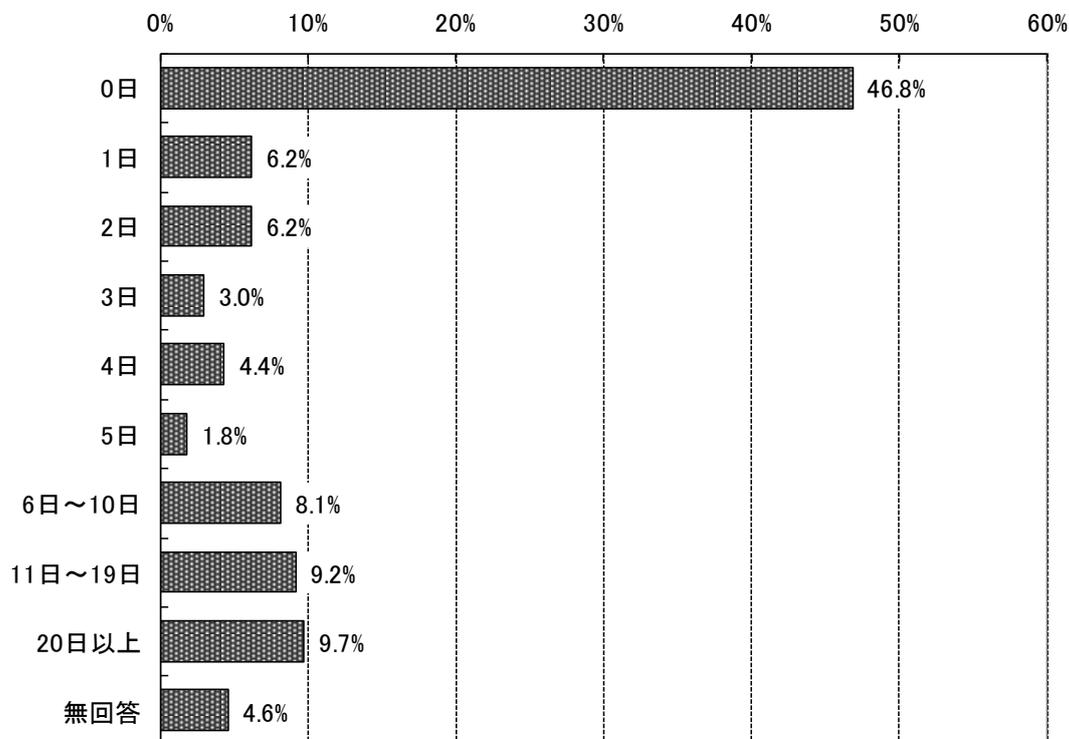
(単位：日)

平均値	標準偏差	中央値
13.2	18.9	7.0

(注) 平成27年6月1か月間に歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数が「0」日であった施設を除いて集計した。

歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数階級別施設分布をみると、「0日」が46.8%で最も多かった。一方、「20日以上」が9.7%あり、これに「11～19日」(9.2%)を合わせると11日以上が約2割を占めた。

図表 32 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数階級別施設分布  
(歯科訪問診療等を実施している施設、n=873)



### 3) 歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数

平成27年6月1か月間に歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数は、平均5.1日（標準偏差14.9、中央値0.0）であった。

図表 33 歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、n=654）

（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
5.1	14.9	0.0

（注）歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数について回答のあった654施設を集計対象とした。

平成27年6月1か月間に歯科衛生士による訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）の実績があった施設における、歯科衛生士が訪問歯科衛生指導を行った延べ日数は、平均12.8日（標準偏差21.3、中央値5.0）であった。

図表 34 歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、n=263）

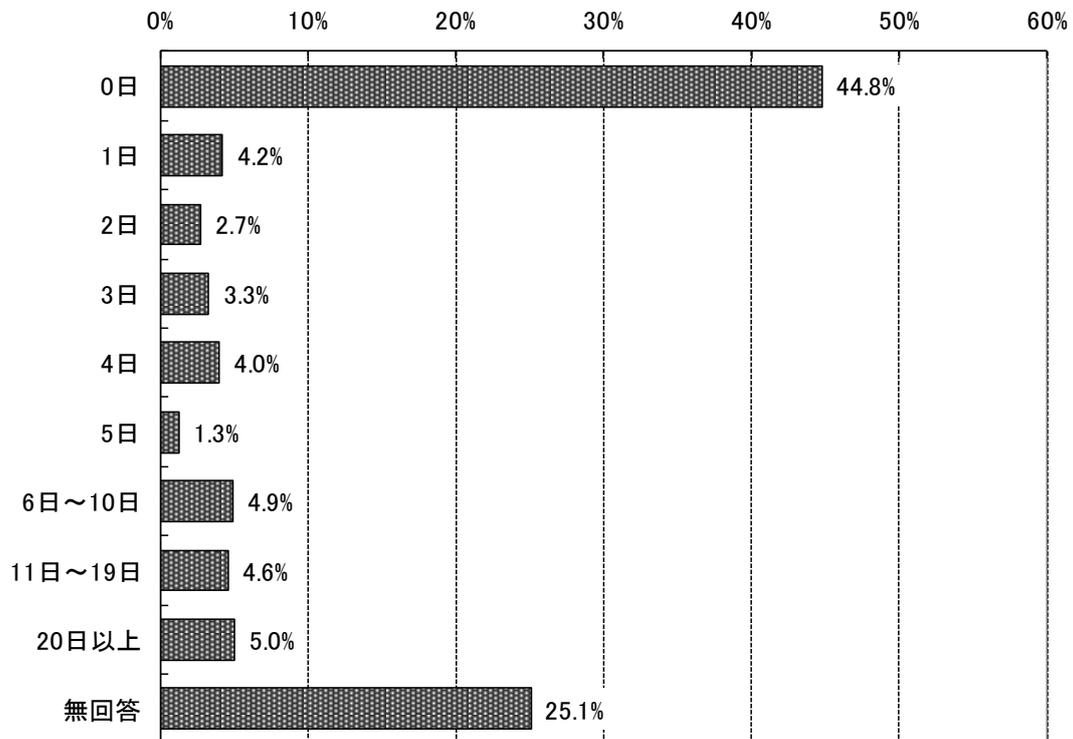
（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
12.8	21.3	5.0

（注）平成27年6月1か月間に歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数が「0」日であった施設を除いて集計した。

歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数階級別施設分布をみると、「0日」が44.8%で最も多かった。一方、「20日以上」が5.0%であった。

図表 35 歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数階級別施設分布（歯科訪問診療等を実施している施設、n=873）



## ②歯科訪問診療等の実績（平成 27 年 6 月 1 か月間）

### 1) 歯科訪問診療の実績

平成 27 年 6 月 1 か月間の歯科訪問診療の実績をみると、全体では「歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物の数」は平均 8.9 か所（標準偏差 22.5、中央値 2.0）、「歯科訪問診療で歯科医師が訪問した 1 か月の訪問回数合計」は平均 26.5 回（標準偏差 77.4、中央値 6.0）であった。「歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数」は平均 37.7 人（標準偏差 102.1、中央値 6.0）で、「歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ患者数」は平均 87.4 人（標準偏差 252.1、中央値 10.0）であった。

次に「歯科訪問診療を中心に行っている施設」についてみると、「歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物の数」は平均 28.7 か所で、「歯科訪問診療で歯科医師が訪問した 1 か月の訪問回数合計」は平均 98.9 回、「歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数」は平均 113.8 人、「歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ患者数」は平均 313.9 人であった。また、「複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている施設」についてみると、「歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物の数」は平均 24.5 か所、「歯科訪問診療で歯科医師が訪問した 1 か月の訪問回数合計」は平均 73.2 回、「歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数」は平均 118.0 人、「歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ患者数」は平均 289.1 人であった。これらの施設では「全体」と比較して歯科訪問診療の患者数、訪問回数等、歯科訪問診療の実績が多かった。

図表 36 歯科訪問診療の実績【全体】

（平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療の実績があった施設、n=822）

	平均値	標準偏差	中央値
a) 歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物の数(か所)	8.9	22.5	2.0
b) 歯科訪問診療で歯科医師が訪問した 1 か月の訪問回数合計(回)	26.5	77.4	6.0
c) 歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数(人)	37.7	102.1	6.0
d) 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ患者数(人)	87.4	252.1	10.0

（注）全ての項目について回答のあった 822 施設を集計対象とした。

図表 37 歯科訪問診療の実績【歯科訪問診療を中心に行っている施設】

（平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療の実績があった施設、n=23）

	平均値	標準偏差	中央値
a) 歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物の数(か所)	28.7	38.4	17.0
b) 歯科訪問診療で歯科医師が訪問した 1 か月の訪問回数合計(回)	98.9	109.1	60.0
c) 歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数(人)	113.8	104.0	74.0
d) 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ患者数(人)	313.9	306.9	240.0

（注）全ての項目について回答のあった 23 施設を集計対象とした。

図表 38 歯科訪問診療の実績

【複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている施設】

(平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療の実績があった施設、n=167)

	平均値	標準偏差	中央値
a) 歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物の数(か所)	24.5	40.7	9.0
b) 歯科訪問診療で歯科医師が訪問した 1 か月の訪問回数合計(回)	73.2	145.3	30.0
c) 歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数(人)	118.0	188.7	50.0
d) 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ患者数(人)	289.1	471.9	104.0

(注) 全ての項目について回答のあった 167 施設を集計対象とした。

## 2) 歯科医師による居宅療養管理指導の実績

平成 27 年 6 月 1 か月間の、歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数は、平均 26.9 人(標準偏差 110.5、中央値 1.0)であった。

歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数が「0」人の施設を除いた場合についてみると、延べ患者数は平均 53.5 人(標準偏差 151.2、中央値 10.0)であった。

図表 39 歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数 (n=831)

(単位：人)

平均値	標準偏差	中央値
26.9	110.5	1.0

(注) 歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数について回答のあった 831 施設を集計対象とした。

図表 40 歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数 (「0」を除く、n=418)

(単位：人)

平均値	標準偏差	中央値
53.5	151.2	10.0

(注) 平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数が「0」人であった施設を除いて集計した。

3) 歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数

平成 27 年 6 月 1 か月間における、歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数は、平均 14.6 人（標準偏差 106.3、中央値 0.0）であった。

歯科衛生士のみで訪問し訪問歯科衛生指導を実施した延べ患者数が「0」人の施設を除いた場合についてみると、延べ患者数は平均 52.0 人（標準偏差 195.8、中央値 10.0）であった。

図表 41 歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数（n=843）

（単位：人）

平均値	標準偏差	中央値
14.6	106.3	0.0

（注）歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数について回答のあった 843 施設を集計対象とした。

図表 42 歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数（「0」を除く、n=237）

（単位：人）

平均値	標準偏差	中央値
52.0	195.8	10.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数が「0」人であった施設を除いて集計した。

4) 訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数

平成 27 年 6 月 1 か月間における、訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数は、平均 1.3 人（標準偏差 8.8、中央値 0.0）であった。

訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数が「0」人の施設を除いた場合についてみると、患者の実人数は平均 10.3 人（標準偏差 22.9、中央値 3.5）であった。

図表 43 訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数（n=818）

（単位：人）

平均値	標準偏差	中央値
1.3	8.8	0.0

（注）訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数について回答のあった 818 施設を集計対象とした。

図表 44 訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数（「0」を除く、n=104）

(単位：人)

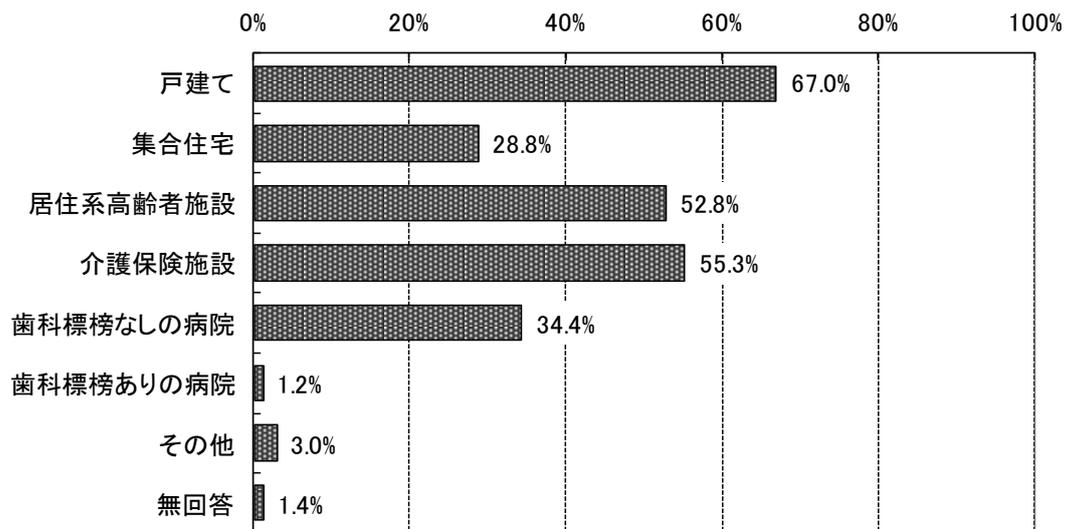
平均値	標準偏差	中央値
10.3	22.9	3.5

(注) 平成 27 年 6 月 1 か月間に訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数が「0」人であった施設を除いて集計した。

### ③ 歯科訪問診療等で訪問した場所

歯科訪問診療等で訪問した場所をみると、「戸建て」が 67.0% で最も多く、次いで「介護保険施設」(55.3%)、「居住系高齢者施設」(52.8%)、「歯科標榜なしの病院」(34.4%)、「集合住宅」(28.8%) であった。

図表 45 歯科訪問診療等で訪問した場所（平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療等の実績があった施設、複数回答、n=733）



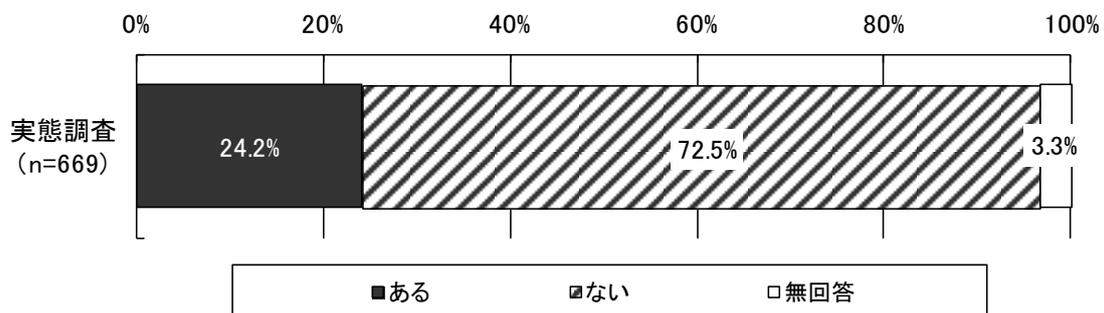
(注) 「その他」の内容として、「障害者支援施設」(12 件)、「労災特別介護施設」(2 件) 等が挙げられた。

④患者側の事情により、治療ができなかった経験の有無（平成 27 年 6 月 1 か月間）

平成 27 年 6 月 1 か月間に、患者側の事情により、治療ができなかった経験があるかを尋ねたところ、「ある」という回答が 24.2%であった。

「ある」と回答した施設にその理由を尋ねたところ、「全身状態の悪化」、「患者の体調の悪化」、「患者の入院」、「認知症による拒否」等の理由が挙げられた。

図表 46 患者側の事情により、治療ができなかった経験の有無  
（平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療等の実績が 1 件以上あった施設）



図表 47 患者側の事情により、治療ができなかった理由  
（患者側の事情により、治療ができなかった経験が「ある」と回答した施設、自由記述式）

- ・発熱、血圧上昇などによる体調不良（同旨含め 57 件）。
- ・全身状態の悪化のため（同旨含め 34 件）。
- ・入院したため（同旨含め 34 件）。
- ・認知症による拒否（同旨含め 34 件）。
- ・患者の拒否（同旨含め 22 件）。
- ・他の介護サービスと重なっていたため（同旨含め 7 件）。
- ・患者が忘れていて不在（同旨含め 7 件）。
- ・死亡、退所・退院などの連絡不備（同旨含め 6 件）。
- ・不穏状態のため（同旨含め 5 件）。
- ・覚醒していない（同旨含め 5 件）。
- ・入浴中だった（同旨含め 2 件）。
- ・他のサービスの後で疲れてしまった。
- ・急に用事ができた。
- ・施設で風邪が流行していた。
- ・他科受診が急に決まり訪問歯科をする時間がとれなかった。／等

⑤1 か月間の算定回数（平成 27 年 6 月 1 か月間）

1) 歯科訪問診療等の算定回数

平成 27 年 6 月 1 か月間の歯科訪問診療等の算定回数をみると、「歯科訪問診療 1」が平均 16.2 回（中央値 3.0）、「歯科訪問診療 2」が平均 23.2 回（中央値 0.0）、「歯科訪問診療 3」が平均 26.2 回（中央値 0.0）で、「歯科訪問診療 3」が最も多かった。

算定回数が「0」回という施設を除くと、「歯科訪問診療 1」が平均 24.7 回（中央値 7.0）、「歯科訪問診療 2」が平均 58.9 回（中央値 18.5）、「歯科訪問診療 3」が平均 127.7 回（中央値 17.0）であった。

また、「歯科訪問診療 2」の算定実績がある 386 施設における、「歯科訪問診療 2」のうち、「同居する同一世帯の複数患者に対する歯科訪問診療の算定回数」は平均 17.2 回（中央値 1.0）であった。同様に「歯科訪問診療 3」の内訳をみると、「歯科訪問診療 3」の算定回数は平均 127.7 回であるが、このうち「20 分未満の歯科訪問診療の算定回数」が平均 95.2 回（中央値 7.0）、「同一建物で 10 人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数」が平均 94.1 回（中央値 0.0）であった。この他、「在宅かかりつけ歯科診療所加算」は平均 24.9 回（中央値 7.5）、「歯科訪問診療補助加算」が平均 90.5 回（中央値 19.0）であった。

図表 48 歯科訪問診療等の算定回数（n=671）

（単位：回）

	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療1	16.2	46.6	3.0
歯科訪問診療2	23.2	89.5	0.0
同居する同一世帯の複数患者に対する歯科訪問診療の算定回数	6.4	39.3	0.0
歯科訪問診療3	26.2	141.0	0.0
a) 20 分未満の歯科訪問診療の算定回数	20.3	121.1	0.0
b) 同一建物で 10 人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数	22.6	135.4	0.0
c) 20 分未満かつ同一建物で 10 人以上の歯科訪問診療の算定回数	16.7	114.9	0.0
在宅かかりつけ歯科診療所加算	3.1	21.0	0.0
歯科訪問診療補助加算	44.9	169.9	1.0

（注）全ての項目について回答のあった 671 施設を集計対象とした。

図表 49 歯科訪問診療等の算定回数（「0」を除く）

（単位：回）

	施設数 (件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療1	633	24.7	55.5	7.0
歯科訪問診療2	386	58.9	121.8	18.5
同居する同一世帯の複数患者に対する歯科訪問診療の算定回数	—	17.2	63.4	1.0
歯科訪問診療3	243	127.7	340.1	17.0
a) 20分未満の歯科訪問診療の算定回数	—	95.2	314.6	7.0
b) 同一建物で10人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数	—	94.1	274.9	0.0
c) 20分未満かつ同一建物で10人以上の歯科訪問診療の算定回数	—	69.8	245.8	0.0
在宅かかりつけ歯科診療所加算	108	24.9	50.7	7.5
歯科訪問診療補助加算	439	90.5	216.4	19.0

(注)・各項目について「0」回という回答を除いて集計した。ただし、歯科訪問診療2と歯科訪問診療3の内数については0も含めて計算した。  
 ・歯科訪問診療3の内数であるc)の算定回数はa)、b)の算定回数と重複している（歯科訪問診療3 = a) + b) - c)となる）。

図表 50 歯科訪問診療2の算定回数（「0」を除く）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療2	386	58.9	121.8	18.5
同居する同一世帯の複数患者に対する歯科訪問診療の算定回数	165	34.0	86.2	8.0

(注) 各項目について「0」回という回答を除いて集計した。

図表 51 歯科訪問診療3の算定回数（「0」を除く）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療3	243	127.7	340.1	17.0
a) 20分未満の歯科訪問診療の算定回数	190	106.6	326.1	9.5
b) 同一建物で10人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数	80	238.1	395.8	52.5
c) 20分未満かつ同一建物で10人以上の歯科訪問診療の算定回数	54	255.8	419.5	46.5

(注)・各項目について「0」回という回答を除いて集計した。  
 ・歯科訪問診療3の内数であるc)の算定回数はa)、b)の算定回数と重複している（歯科訪問診療3 = a) + b) - c)となる）。

## 2) 訪問歯科衛生指導料の算定回数

平成27年6月1か月間の訪問歯科衛生指導料の算定回数をみると、「訪問歯科衛生指導料1 複雑なもの」は平均31.2回（標準偏差128.1、中央値0.0）、「訪問歯科衛生指導料2 簡単なもの」は平均10.7回（標準偏差70.4、中央値0.0）であった。

算定回数が「0」回という施設を除くと、「訪問歯科衛生指導料1 複雑なもの」は平均92.2回（標準偏差203.8、中央値21.0）、「訪問歯科衛生指導料2 簡単なもの」は平均61.7回（標準偏差158.6、中央値18.0）であった。

図表 52 訪問歯科衛生指導料の算定回数 (n=811)

(単位：回)

	平均値	標準偏差	中央値
訪問歯科衛生指導料1 複雑なもの	31.2	128.1	0.0
訪問歯科衛生指導料2 簡単なもの	10.7	70.4	0.0

(注) 全ての項目について回答のあった811施設を集計対象とした。

図表 53 訪問歯科衛生指導料の算定回数 (「0」を除く)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
訪問歯科衛生指導料1 複雑なもの	284	92.2	203.8	21.0
訪問歯科衛生指導料2 簡単なもの	143	61.7	158.6	18.0

(注) 各項目について「0」回という回答を除いて集計した。

## 3) 居宅療養管理指導費（歯科医師）の算定回数

平成27年6月1か月間の居宅療養管理指導費（歯科医師）の算定回数は、平均24.5回（標準偏差84.2、中央値0.0）であった。

居宅療養管理指導費（歯科医師）の算定回数が「0」回という施設を除いた場合についてみると、算定回数は平均54.8回（標準偏差119.3、中央値13.0）であった。

図表 54 居宅療養管理指導費（歯科医師）の算定回数 (n=824)

(単位：回)

平均値	標準偏差	中央値
24.5	84.2	0.0

(注) 平成27年6月1か月間の居宅療養管理指導費（歯科医師）について回答のあった824施設を集計対象とした。

図表 55 居宅療養管理指導費（歯科医師）の算定回数 (「0」を除く、n=368)

(単位：回)

平均値	標準偏差	中央値
54.8	119.3	13.0

(注) 平成27年6月1か月間の居宅療養管理指導費（歯科医師）が「0」回という施設を除いて集計した。

#### 4) 居宅療養管理指導費（歯科衛生士）の算定回数

平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費（歯科衛生士）の算定回数は、平均 33.9 回（標準偏差 130.8、中央値 0.0）であった。

居宅療養管理指導費（歯科衛生士）の算定回数が「0」回という施設を除いた場合についてみると、算定回数は平均 89.0 回（標準偏差 200.3、中央値 18.0）であった。

図表 56 居宅療養管理指導費（歯科衛生士）の算定回数（n=833）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
33.9	130.8	0.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費（歯科衛生士）について回答のあった 833 施設を集計対象とした。

図表 57 居宅療養管理指導費（歯科衛生士）の算定回数（「0」を除く、n=317）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
89.0	200.3	18.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費（歯科衛生士）が「0」回という施設を除いて集計した。

#### 5) 周術期口腔機能管理料（Ⅰ）の算定回数

平成 27 年 6 月 1 か月間の周術期口腔機能管理料（Ⅰ）の算定回数は、平均 0.01 回（標準偏差 0.15、中央値 0.00）であった。

周術期口腔機能管理料（Ⅰ）の算定回数が「0」回という施設を除いた場合についてみると、算定回数は平均 2.0 回（標準偏差 1.7、中央値 1.0）であった。

図表 58 周術期口腔機能管理料（Ⅰ）（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数（n=799）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
0.01	0.15	0.00

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の周術期口腔機能管理料（Ⅰ）について回答のあった 799 施設を集計対象とした。

図表 59 周術期口腔機能管理料（Ⅰ）（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数

（「0」を除く、n=3）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
2.0	1.7	1.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の周術期口腔機能管理料（Ⅰ）が「0」回という施設を除いて集計した。

## 6) 摂食機能療法の算定回数

平成 27 年 6 月 1 か月間の摂食機能療法の算定回数は、平均 2.0 回（標準偏差 11.0、中央値 0.0）であった。

摂食機能療法の算定回数が「0」回という施設を除いた場合についてみると、算定回数は平均 17.0 回（標準偏差 28.1、中央値 6.0）であった。

図表 60 摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数（n=845）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
2.0	11.0	0.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）について回答のあった 845 施設を集計対象とした。

図表 61 摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数（「0」を除く、n=99）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
17.0	28.1	6.0

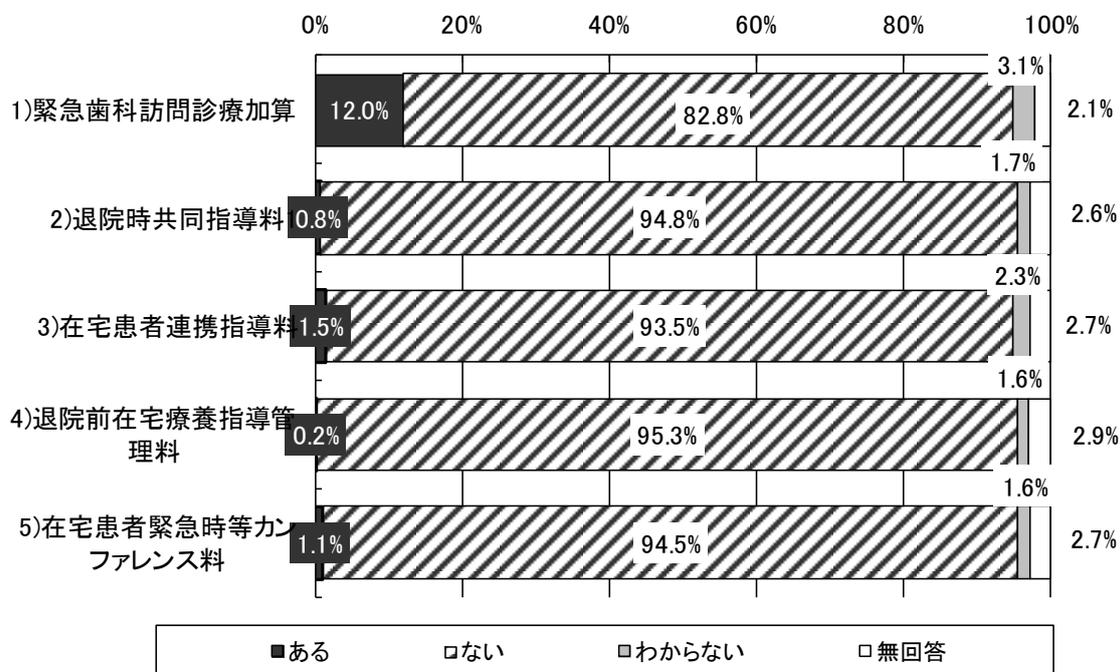
（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）が「0」回という施設を除いて集計した。

### ⑥各診療報酬項目の算定状況等

各診療報酬項目の算定状況等をみると、いずれの項目も「ない」の割合が高く、「退院前在宅療養指導管理料」(95.3%)、「退院時共同指導料」(94.8%)、「在宅患者緊急時等カンファレンス料」(94.5%)、「在宅患者連携指導料」(93.5%)では9割を超えた。「緊急歯科訪問診療加算」は「ある」が12.0%で他の診療報酬項目と比較して高かった。

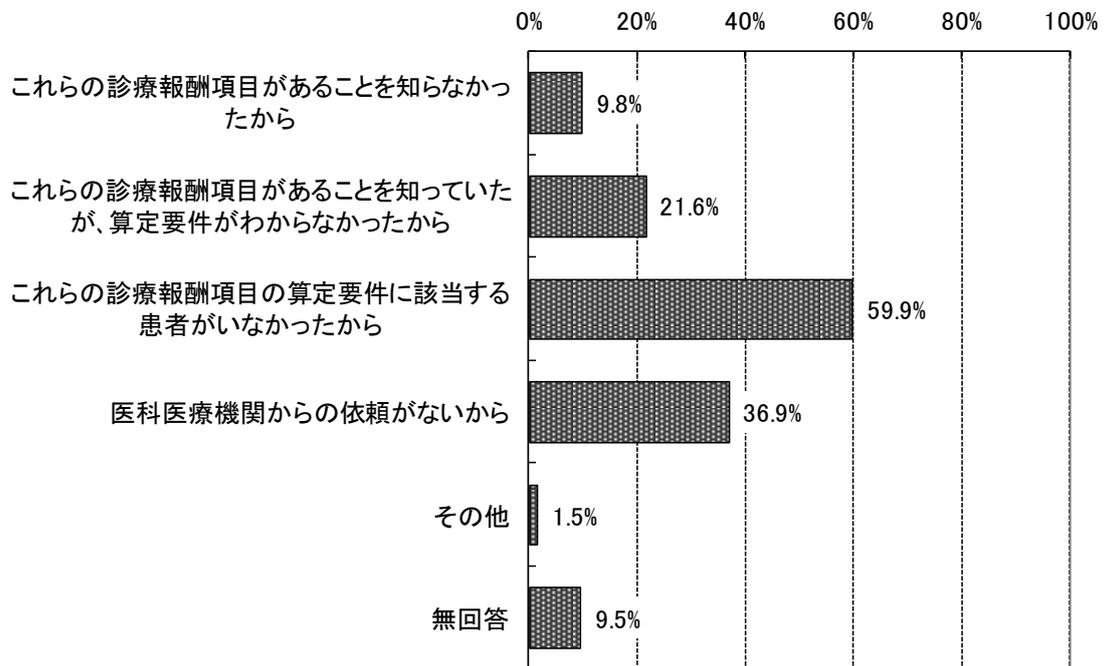
各診療報酬項目の算定実績がない理由をみると、「これらの診療報酬項目の算定要件に該当する患者がいなかったから」が59.9%で最も多く、次いで「医科医療機関からの依頼がないから」(36.9%)、「これらの診療報酬項目があることを知っていたが、算定要件がわからなかったから」(21.6%)、「これらの診療報酬項目があることを知らなかったから」(9.8%)であった。

図表 62 各診療報酬項目の算定状況 (n=873)



図表 63 各診療報酬項目の算定実績がない理由

(1つでも算定が「ない」「わからない」と回答があった施設、複数回答、n=850)

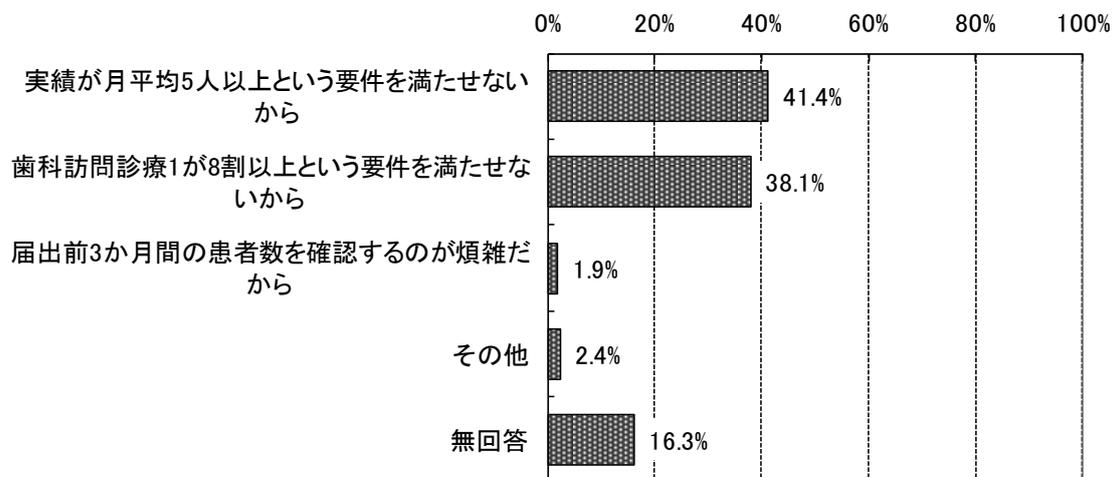


(注)「その他」の内容として、「当院が算定要件を満たしていない」、「施設基準の届出をしていない」、「請求する気になれない。事務手続きを簡単にしてほしい」、「(レセプト審査で) 返戻になる可能性が高く、算定要件も煩雑なため」等が挙げられた。

### ⑦在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出をしていない主な理由

在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出をしていない主な理由をみると、「実績が月平均 5 人以上という要件を満たせないから」が 41.4%で最も多く、次いで「歯科訪問診療 1 が 8 割以上という要件を満たせないから」(38.1%)、「届出前 3 か月間の患者数を確認するのが煩雑だから」(1.9%)であった。

図表 64 在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出をしていない主な理由  
(在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出のない施設、単数回答、n=638)



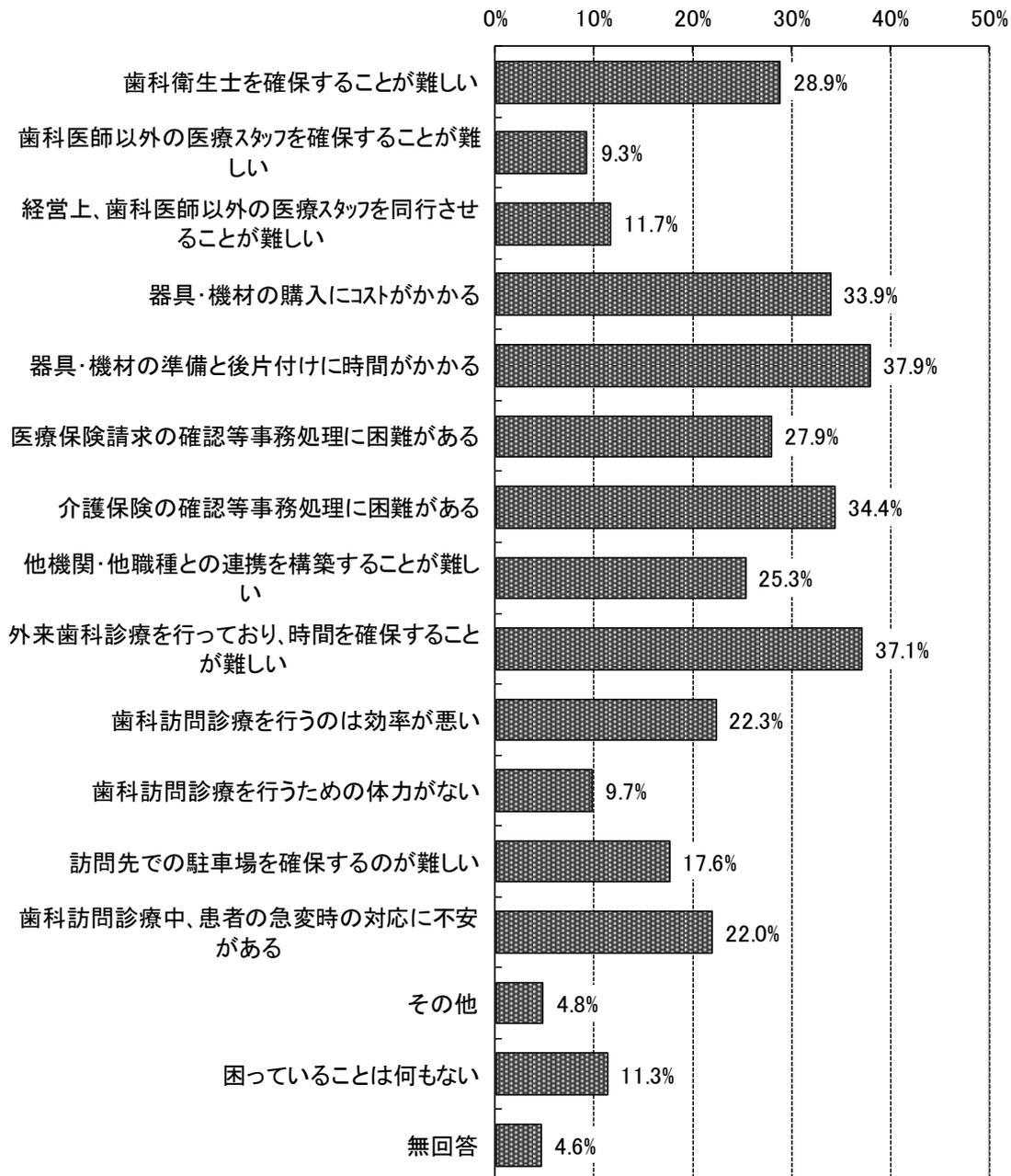
(注)「その他」の内容として、「主に施設を訪問」(同旨含め 2 件)、「加算があることを知らなかった」(同旨含め 2 件)、「届出を出すのを忘れていた」(同旨含め 2 件)、「これから届出を行う予定」、「当院の実績が該当するかどうかをみている」等が挙げられた。

### ⑧歯科訪問診療を行う上で困っていること

歯科訪問診療を行う上で困っていることをみると、「器具・機材の準備と後片付けに時間がかかる」が 37.9%で最も多く、次いで「外来歯科診療を行っており、時間を確保することが難しい」(37.1%)、「介護保険の確認等事務処理に困難がある」(34.4%)、「器具・機材の購入にコストがかかる」(33.9%)、「歯科衛生士を確保することが難しい」(28.9%)であった。

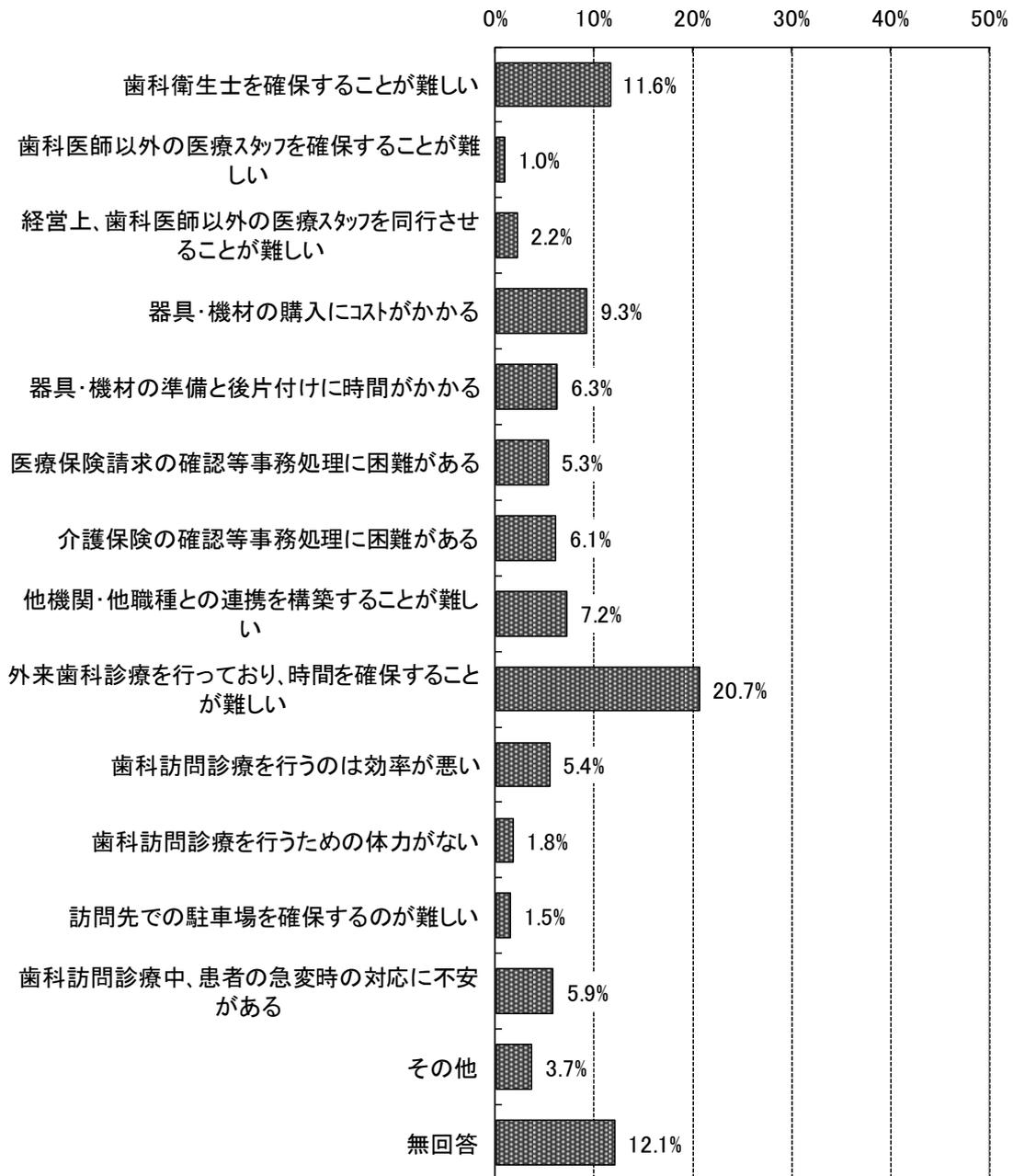
最も困っていることをみると、「外来歯科診療を行っており、時間を確保することが難しい」が 20.7%で最も多く、次いで「歯科衛生士を確保することが難しい」(11.6%)、「器具・機材の購入にコストがかかる」(9.3%)であった。

図表 65 歯科訪問診療を行う上で困っていること  
 (歯科訪問診療等を実施している施設、複数回答、n=873)



(注) 「その他」の内容として、「書類や事務処理が煩雑」(同旨含め 9 件)、「依頼が少ない」(同旨含め 8 件)、「採算が合わない」(同旨含め 6 件)、「診療時間の縛りが厳しい」(同旨含め 4 件)、「家族の無理解」(同旨含め 3 件)「認知症の患者への対応困難」(同旨含め 3 件)、「院内と違って治療の環境が悪い」(同旨含め 2 件)、「カルテの持ち歩きが不安」等が挙げられた。

図表 66 歯科訪問診療を行う上で最も困っていること  
 (歯科訪問診療等を実施している施設、単数回答、n=734)



(注) 歯科訪問診療等を実施している 873 施設のうち、「困っていることは何もない」と回答した 99 施設と無回答であった 40 施設を除いている。

(5) 歯科訪問診療における他の医療機関等との連携状況等

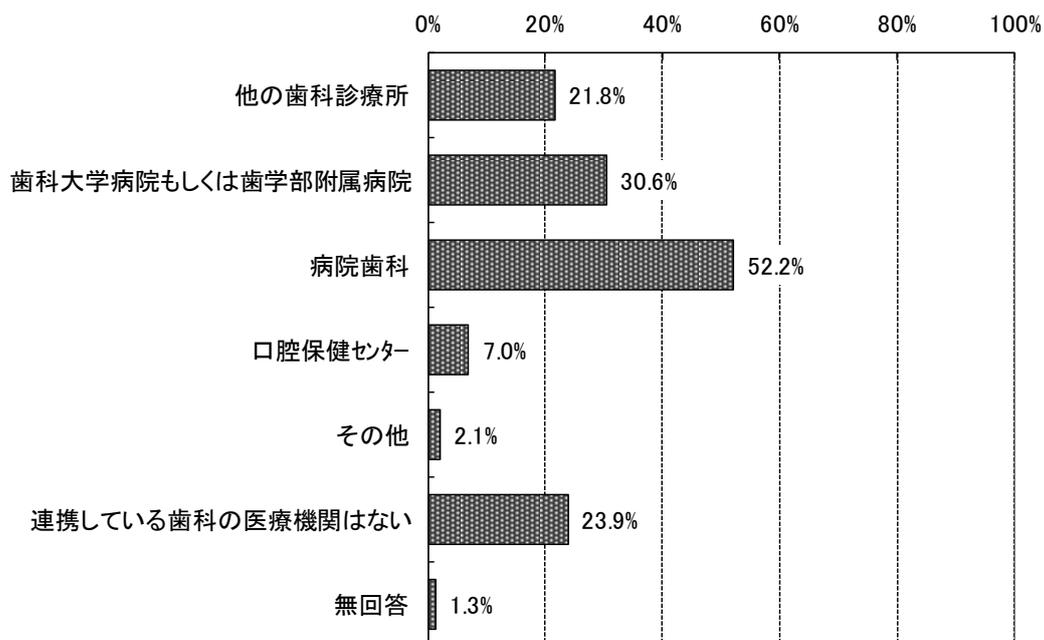
① 歯科の医療機関との連携状況等

1) 連携している歯科の医療機関

連携している歯科の医療機関をみると、「病院歯科」が52.2%で最も多く、次いで「歯科大学病院もしくは歯学部附属病院」(30.6%)、「他の歯科診療所」(21.8%)、「口腔保健センター」(7.0%)であった。また、「連携している歯科の医療機関はない」という施設が23.9%であった。

各連携がある施設について、連携している歯科の医療機関数をみると、「他の歯科診療所」が平均1.8か所、「歯科大学病院もしくは歯学部附属病院」が平均2.0か所、「病院歯科」が平均1.7か所、「口腔保健センター」が平均2.6か所であった。

図表 67 連携している歯科の医療機関  
(歯科訪問診療等を実施している施設、複数回答、n=873)



図表 68 連携している歯科の医療機関数 (各連携がある施設)

(単位：か所)

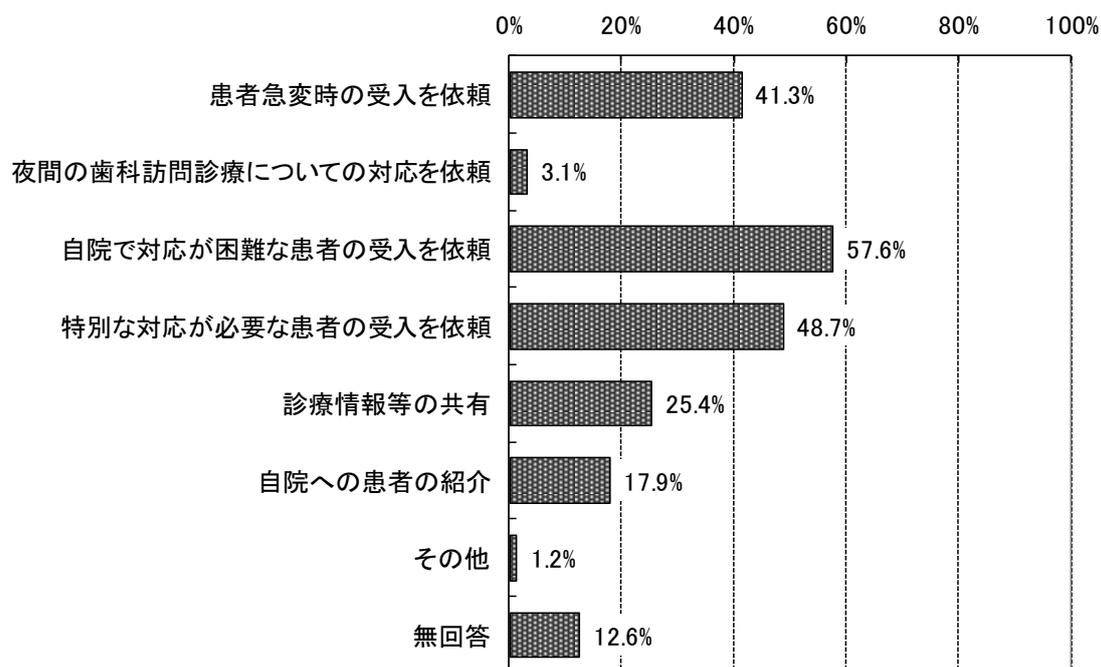
	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
1)他の歯科診療所	186	1.8	3.0	1.0
2)歯科大学病院もしくは歯学部附属病院	262	2.0	12.3	1.0
3)病院歯科	448	1.7	4.7	1.0
4)口腔保健センター	61	2.6	12.7	1.0
5)その他	16	1.4	0.5	1.0

(注) 施設種別ごとに連携施設数について回答のあった施設を集計対象とした。

## 2) 歯科の医療機関との連携内容

歯科の医療機関との連携内容をみると、「自院で対応が困難な患者の受入を依頼」が57.6%で最も多く、次いで「特別な対応が必要な患者の受入を依頼」(48.7%)、「患者急変時の受入を依頼」(41.3%)、「診療情報等の共有」(25.4%)、「自院への患者の紹介」(17.9%)であった。

図表 69 歯科の医療機関との連携内容  
(歯科の医療機関との連携がある施設、複数回答、n=653)



(注)・歯科の医療機関と連携があると回答した653施設を集計対象とした。

- ・「その他」の内容として、「摂食機能障害の患者の機能評価」(同旨含め2件)、「入院を依頼」、「歯科健診の実施」等が挙げられた。

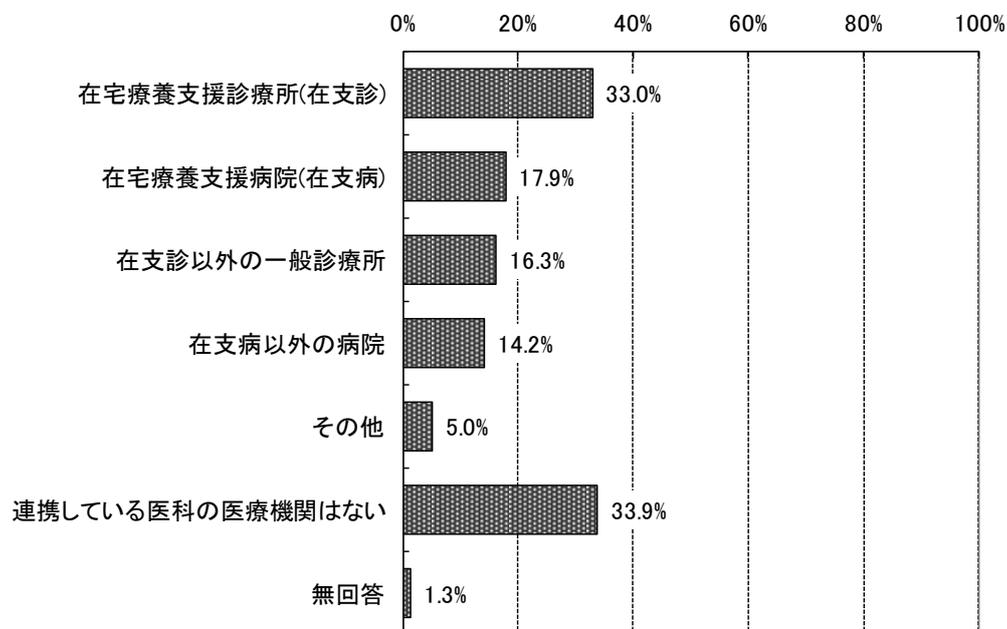
## ②医科の医療機関との連携状況等

### 1) 連携している医科の医療機関

連携している医科の医療機関をみると、「在宅療養支援診療所（在支診）」が33.0%で最も多く、次いで「在宅療養支援病院（在支病）」（17.9%）、「在支診以外の一般診療所」（16.3%）、「在支病以外の病院」（14.2%）であった。また、「連携している医科の医療機関はない」という施設が33.9%であった。

各連携がある施設について、連携している医科の医療機関数をみると、「在宅療養支援診療所」が平均1.4か所、「在宅療養支援病院」が平均1.3か所、「在支診以外の一般診療所」が平均1.4か所、「在支病以外の病院」が平均1.5か所であった。

図表 70 連携している医科の医療機関  
(歯科訪問診療等を実施している施設、複数回答、n=873)



(注) 「その他」の内容として、「歯科、口腔外科のある病院」(同旨含め23件)等が挙げられた。

図表 71 連携している医科の医療機関数 (各連携がある施設)

(単位：か所)

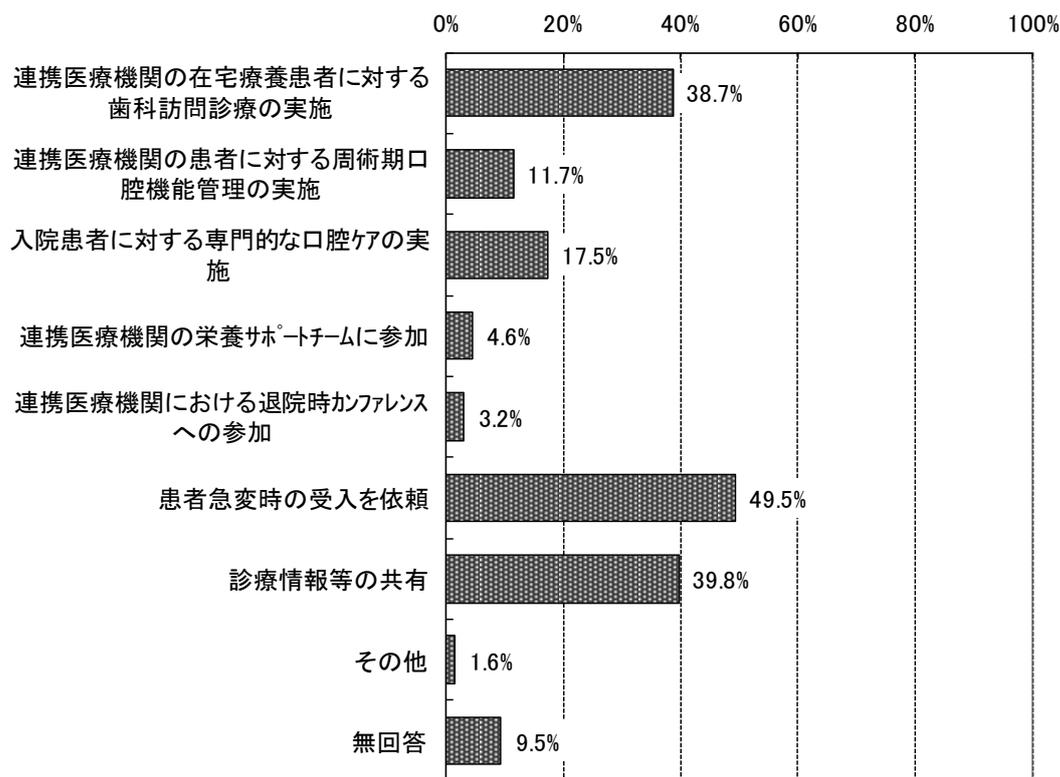
	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
1)在宅療養支援診療所	282	1.4	1.1	1.0
2)在宅療養支援病院	152	1.3	0.9	1.0
3)在支診以外の一般診療所	137	1.4	1.5	1.0
4)在支病以外の病院	122	1.5	1.2	1.0
5)その他	36	1.5	0.9	1.0

(注) 施設種別ごとに連携施設数について回答のあった施設を集計対象とした。

## 2) 医科の医療機関との連携内容

医科の医療機関との連携内容をみると、「患者急変時の受入を依頼」が49.5%で最も多く、次いで「診療情報等の共有」(39.8%)、「連携医療機関の在宅療養患者に対する歯科訪問診療の実施」(38.7%)、「入院患者に対する専門的な口腔ケアの実施」(17.5%)、「連携医療機関の患者に対する周術期口腔機能管理の実施」(11.7%)であった。

図表 72 医科の医療機関との連携内容  
(医科の医療機関との連携がある施設、複数回答、n=566)



(注)・医科の医療機関と連携があると回答した 566 施設を集計対象とした。

- ・「その他」の内容として、「口腔外科依頼」(2件)、「入院患者への歯科治療」、「感染対策会議に出席」、「誤飲等の対応」等が挙げられた。

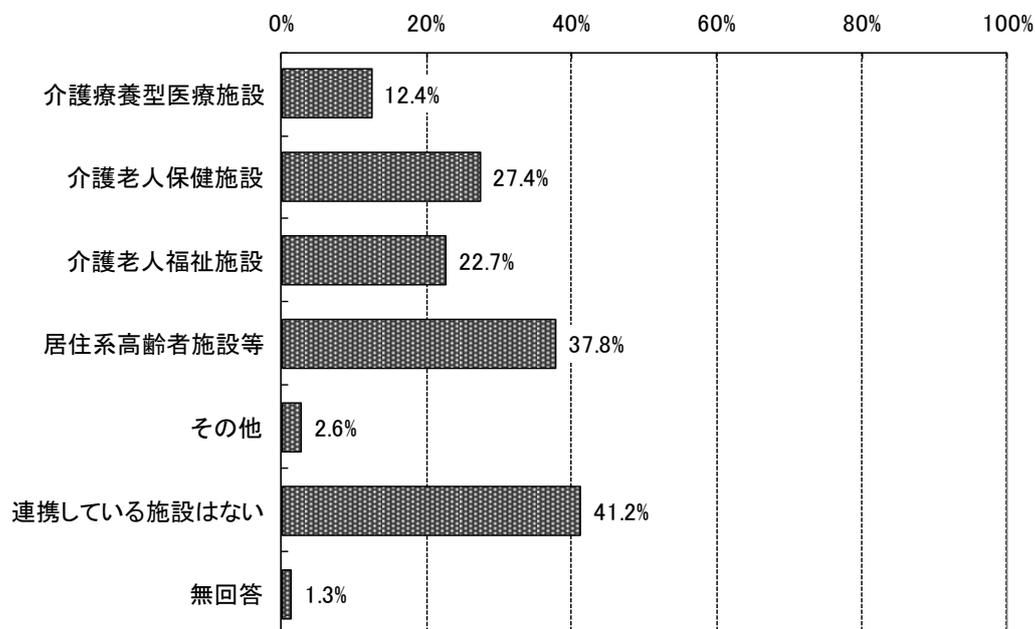
### ③介護保険施設・居住系高齢者施設等との連携状況等

#### 1) 連携している介護保険施設・居住系高齢者施設等

連携している介護保険施設・居住系高齢者施設等をみると、「居住系高齢者施設等」が37.8%で最も多く、次いで「介護老人保健施設」(27.4%)、「介護老人福祉施設」(22.7%)、「介護療養型医療施設」(12.4%)であった。また、「連携している施設はない」という施設が41.2%であった。

各連携がある施設について、連携している介護保険施設・居住系高齢者施設等の数をみると、「介護療養型医療施設」が平均1.7か所、「介護老人保健施設」が平均1.6か所、「介護老人福祉施設」が平均2.0か所、「居住系高齢者施設等」が平均3.5か所であった。

図表 73 連携している介護保険施設・居住系高齢者施設等  
(歯科訪問診療等を実施している施設、複数回答、n=873)



(注) 「その他」の内容として、「障害者支援施設」(5件)、「障害者入所施設」(2件)、「労災特別介護施設」(2件)等が挙げられた。

図表 74 連携している介護保険施設・居住系高齢者施設等の数 (各連携がある施設)  
(単位：か所)

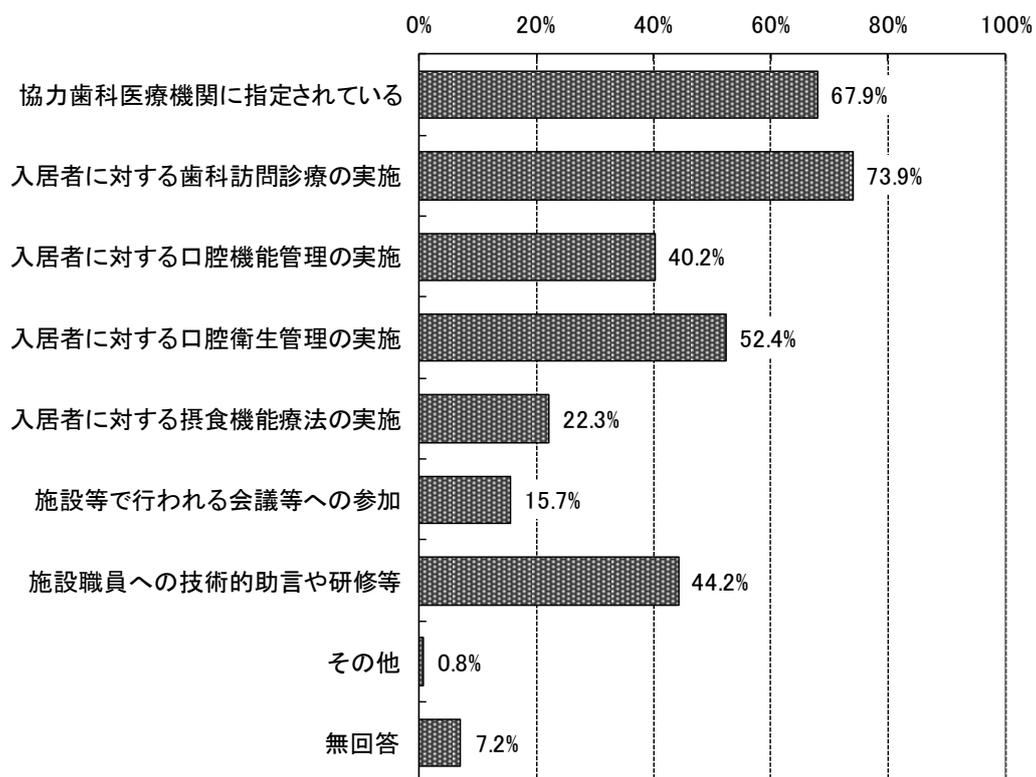
	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
1)介護療養型医療施設	105	1.7	1.6	1.0
2)介護老人保健施設	236	1.6	1.3	1.0
3)介護老人福祉施設	191	2.0	2.1	1.0
4)居住系高齢者施設等	320	3.5	6.3	2.0
5)その他	16	1.9	1.5	2.0

(注) 施設種別ごとに連携施設数について回答のあった施設を集計対象とした。

## 2) 介護保険施設・居住系高齢者施設等との連携内容

介護保険施設・居住系高齢者施設等との連携内容をみると、「入居者に対する歯科訪問診療の実施」が73.9%で最も多く、次いで「協力歯科医療機関に指定されている」(67.9%)、「入居者に対する口腔衛生管理の実施」(52.4%)、「施設職員への技術的助言や研修等」(44.2%)、「入居者に対する口腔機能管理の実施」(40.2%)であった。

図表 75 介護保険施設・居住系高齢者施設等との連携内容  
(介護保険施設・居住系高齢者施設等との連携がある施設、複数回答、n=502)

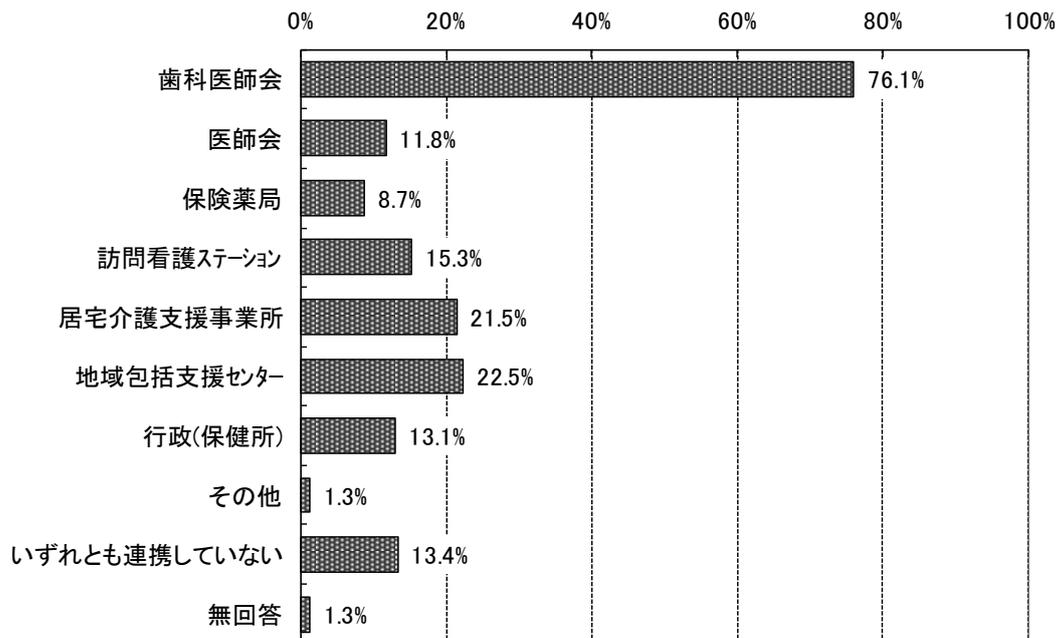


(注) 介護保険施設・居住系高齢者施設等と連携があると回答した502施設を集計対象とした。

#### ④連携している機関等

連携している機関等をみると、「歯科医師会」が76.1%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」(22.5%)、「居宅介護支援事業所」(21.5%)、「訪問看護ステーション」(15.3%)、「行政(保健所)」(13.1%)であった。また、「いずれとも連携していない」という施設が13.4%であった。

図表 76 連携している機関等（歯科訪問診療等を実施している施設、複数回答、n=873）



(注)「その他」の内容として、「保険医協会」(2件)、「在宅歯科連携室」、「歯科衛生士会」、「警察」等が挙げられた。

## ⑤他施設と連携する際に困っていること

歯科訪問診療において、他施設と連携する際に困っていることを自由記述式で記載していただいた内容のうち、主な意見をとりまとめた。

図表 77 他施設と連携する際に困っていること（自由記述式）

### ○口腔ケアの重要性の認識が低い（同旨含め 16 件）

- ・経口による食事がいかに体力を維持するか、口腔の汚れに対する認知度など、認識度の違いにより連携がうまくいかない。
- ・地域の医科や介護職員に口腔機能の重要性が理解されない。当歯科医院のかかりつけ患者が入院又は介護が必要になった時に、かかりつけ歯科医院があることが、医療・介護スタッフに伝わらない。
- ・介護職員全員に訪問診療を含む口腔ケアの重要性が理解されていない。食事・排泄等のケアに時間がとられ口の中まで目が届かないという意見もある。
- ・歯科衛生士が配置されていない施設では、口腔ケア等について説明しても、積極的に行動してくれない。義歯の着脱ができないなど困っている。 / 等

### ○医療との連携がうまくいっていない（同旨含め 15 件）

- ・医学的な知識がないため、医師との連携が自分には難しい。
- ・医科と歯科では訪問診療の診療報酬点数があまりにも差があり、話が通じない。
- ・退院時など患者の情報がない。在宅や施設で問題が生じてからの依頼となり、口腔機能回復などの点で手遅れの患者が多くなっている。
- ・医師へ全科の状況の照会を行っても、十分な返事が来ない。患者または家族が医科の主治医より自身の病状について文書等で説明を受けていないため、原疾患の把握ができない。
- ・在宅患者については、家族が原疾患の状況等を理解することが難しいため、訪問診療を行っている医師と連携を図るべきだが、なかなか情報共有は難しい。多職種と連携を図るための規格化された様式の文書などがあるともう少しスムーズになるのではないだろうか。 / 等

### ○時間がとりにくい（同旨含め 13 件）

- ・担当者会議などに出席する場合、時間の都合がつけにくい。
- ・他施設職種との会議の時間が合わない。診療予約が入っているため、急に言われても出席できない。
- ・退院時等の会議に出る時間がない（通常の歯科診療を予約制で行っているため、会議に出たくとも難しい）。 / 等

○診療報酬で評価が十分でない（同旨含め 10 件）

- ・特養や老健との連携では加算が全て介護施設にしか入らず、歯科は現状持ち出しになってしまう。
- ・介護老人保健施設の請求内容によって、歯科衛生士を 3 人も連れて行っているのに、訪問歯科衛生指導の請求ができない。
- ・外来診療時間外に訪問診療を実施しているので歯科衛生士等を同行させることが難しい。したがって器具の用意に時間がかかり治療実施中の時間が 20 分を満たさない時の診療報酬が極端に少なくなる。
- ・主治医の医科医療機関と何回も情報提供し合っているのに、1 回しか診療報酬が算定できない。
- ・同一施設で複数の患者の診療を行う時の評価が低すぎる。特に 2~3 人の患者を診るケースが多いが、1 人を診る時よりも評価が低い。
- ・訪問診療における点数では全く採算が合わないののでできれば行きたくない。しかし患者の求めがあれば対応しているのが現状。 / 等

○連携の方法がわからない（同旨含め 9 件）

- ・どうすればよいかわからない。頼まれることもない。
- ・どこに連携していいかわからない。
- ・他施設の連絡する窓口、担当者がよくわからない。 / 等

○ケアマネジャーとの連携がうまくいっていない（同旨含め 6 件）

- ・ケアマネジャーとの連携が取りにくく、介護保険を利用した口腔ケアができない。
- ・ケアマネジャーの知識不足。 / 等

○その他

- ・外来と訪問を同時に行うことができないので、書類を作る時間がとられる。
- ・提供書類が毎月、毎回になる為、量が多い。
- ・スタッフ不足。
- ・設備資金不足。
- ・施設においては患者ひとりに関わっているスタッフの数が多く、患者の状態を把握することが難しい場合がある。また、こちらの指導・指示をスタッフ全員に同等に伝えることも極めて困難。
- ・施設に協力歯科医がいて、訪問診療を拒否される。
- ・サ高住の場合、誰に何をお願いすればいいのか困るケースがある。外部のケアマネジャーは関わりがうすく、施設の場合、計画サービス以外は行えない。 / 等

## (6) 調査日における歯科訪問診療等

※調査日：平成27年6月1日～6月30日の間で1日の歯科訪問診療等の実績が最も多かった日

### ①歯科訪問診療等を行った職員数

歯科訪問診療等を行った職員数をみると、「歯科医師」が平均1.05人（標準偏差1.21、中央値1.00）、「歯科衛生士」が平均1.15人（標準偏差1.74、中央値1.00）、「その他の職員」が平均0.35人（標準偏差0.82、中央値0.00）で、職員数合計は平均2.55人（標準偏差3.14、中央値2.00）であった。

図表 78 歯科訪問診療等を行った職員数 (n=583)

(単位：人)

	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.05	1.21	1.00
歯科衛生士	1.15	1.74	1.00
その他の職員	0.35	0.82	0.00
合計	2.55	3.14	2.00

(注) 歯科訪問診療等を行った職員数と患者数について全て回答した583施設を集計対象とした。

### ②歯科訪問診療等を行った患者数

調査日1日に歯科訪問診療等を行った患者数をみると、「歯科医師が1人で訪問した」患者数は平均1.1人（標準偏差3.2、中央値0.0）で、「歯科衛生士が帯同した」患者数が平均7.0人（標準偏差18.1、中央値1.0）、「歯科衛生士以外の職員が帯同した」患者数が平均1.1人（標準偏差5.6、中央値0.0）、「歯科衛生士のみが訪問した」患者数が平均0.7人（標準偏差5.2、中央値0.0）であった。

また、同一建物内の当日の患者数をみると、合計で平均7.8人（標準偏差19.9、中央値2.0）であった。このうち、「歯科衛生士が帯同したもの」が平均5.7人（標準偏差16.9、中央値0.0）で最も多かった。

図表 79 歯科訪問診療等を行った患者数 (n=583)

(単位：人)

	歯科訪問診療等を行った患者数			うち、同一建物内の当日の患者数		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師が1人で訪問したもの	1.1	3.2	0.0	0.7	2.6	0.0
歯科衛生士が帯同したもの	7.0	18.1	1.0	5.7	16.9	0.0
歯科衛生士以外の職員が帯同したもの	1.1	5.6	0.0	0.7	4.2	0.0
歯科衛生士のみが訪問したもの	0.7	5.2	0.0	0.5	4.7	0.0
合計	9.8	22.1	3.0	7.8	19.9	2.0

(注)・歯科訪問診療等を行った職員数と患者数について全て回答した 583 施設を集計対象とした。

- ・「歯科衛生士のみが訪問したもの」とは、歯科医師の指示のもとに歯科衛生士のみ（もしくは歯科衛生士と歯科医師以外の職種）が訪問したものを指す。

### ③歯科訪問診療等の診療等合計時間

調査日 1 日の歯科訪問診療等の診療等合計時間をみると、「歯科衛生士が帯同したもの 歯科医師」が平均 177.6 分で最も長く、次いで「歯科衛生士が帯同したもの 歯科衛生士」（平均 155.0 分）、「歯科衛生士のみが訪問したもの」（平均 150.7 分）、「歯科衛生士以外の職員が帯同したもの」（平均 126.4 分）、「歯科医師が1人で訪問したもの」（平均 107.1 分）であった。

図表 80 歯科訪問診療等の診療等合計時間

(単位：分)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師が1人で訪問したもの	150	107.1	104.3	68.0
歯科衛生士が帯同したもの 歯科医師	305	177.6	237.9	100.0
歯科衛生士が帯同したもの 歯科衛生士	297	155.0	350.4	30.0
歯科衛生士以外の職員が帯同したもの	66	126.4	147.2	82.0
歯科衛生士のみが訪問したもの	49	150.7	330.2	60.0

(注)・歯科訪問診療等の診療等合計時間について回答のあった施設を集計対象とした。

- ・「歯科医師が1人で訪問したもの」、「歯科衛生士が帯同したもの 歯科医師」、「歯科衛生士以外の職員が帯同したもの」とは歯科医師の診療時間を指す。
- ・「歯科衛生士が帯同したもの 歯科衛生士」とは歯科衛生士の指導時間を指す。
- ・「歯科衛生士のみが訪問したもの」とは、歯科医師の指示のもとに歯科衛生士のみ（もしくは歯科衛生士と歯科医師以外の職種）が訪問したもので、歯科衛生士の指導時間を指す。

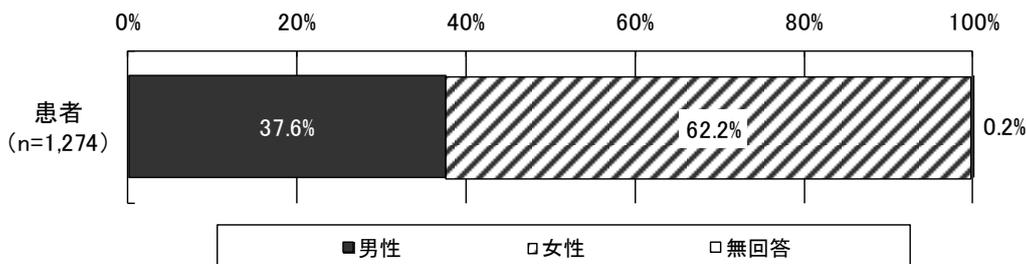
(7) 調査日に歯科訪問診療等を行った患者の状況等

①患者の基本属性等

1) 性別

患者の性別をみると、「男性」が37.6%、「女性」が62.2%であった。

図表 81 性別



2) 年齢

年齢をみると、平均81.4歳（標準偏差11.2、中央値84.0）であった。

年齢階級別患者分布をみると、「80～84歳」、「85～89歳」がいずれも21.2%で最も多く、次いで「90～94歳」（17.6%）、「65～74歳」（12.2%）、「75～79歳」（10.8%）であった。

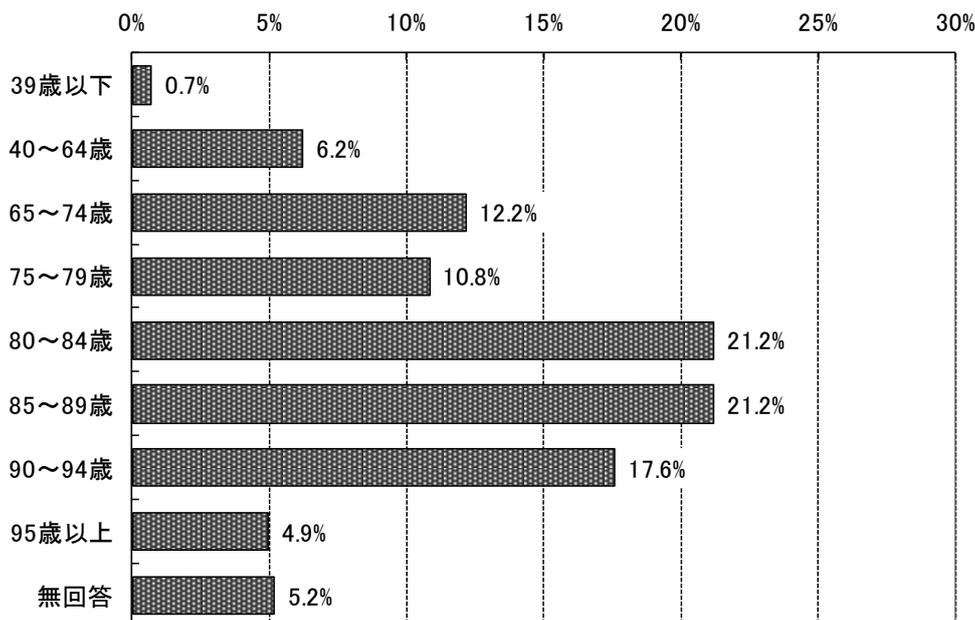
図表 82 年齢 (n=1,208)

(単位：歳)

平均値	標準偏差	中央値
81.4	11.2	84.0

(注) 年齢について回答のあった1,208人を集計対象とした。

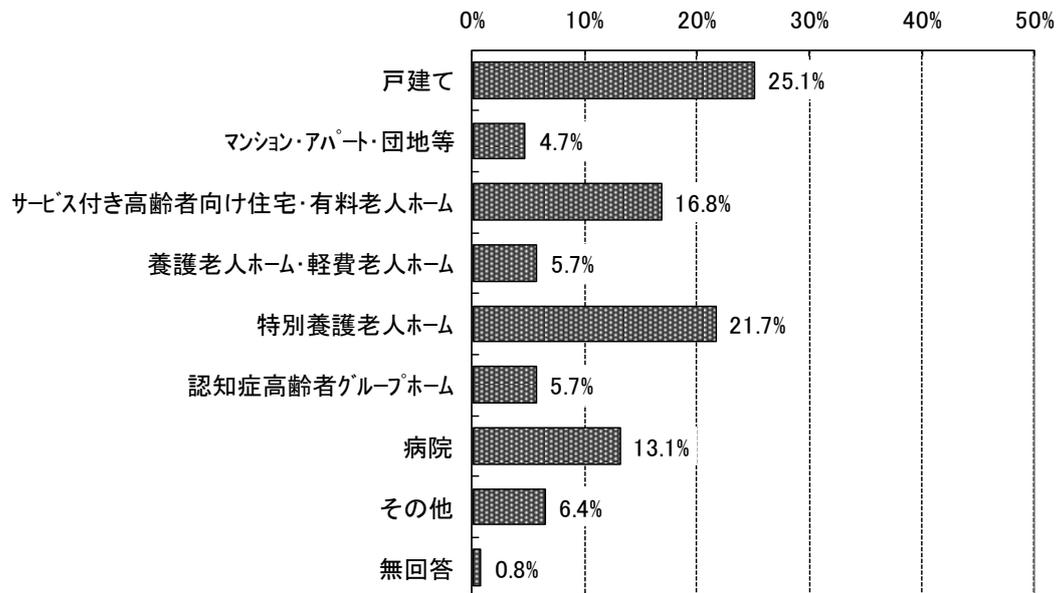
図表 83 年齢階級別患者分布 (単数回答、n=1,274)



### 3) 居住場所

居住場所をみると、「戸建て」が25.1%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」(21.7%)、「サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム」(16.8%)、「病院」(13.1%)であった。

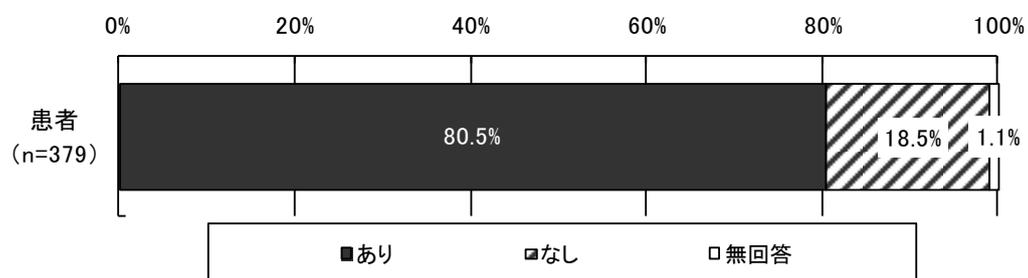
図表 84 居住場所（単数回答、n=1,274）



### 4) 同居家族の有無

戸建て、マンション・アパート・団地等の患者について同居家族の有無をみると、「あり」が80.5%、「なし」が18.5%であった。

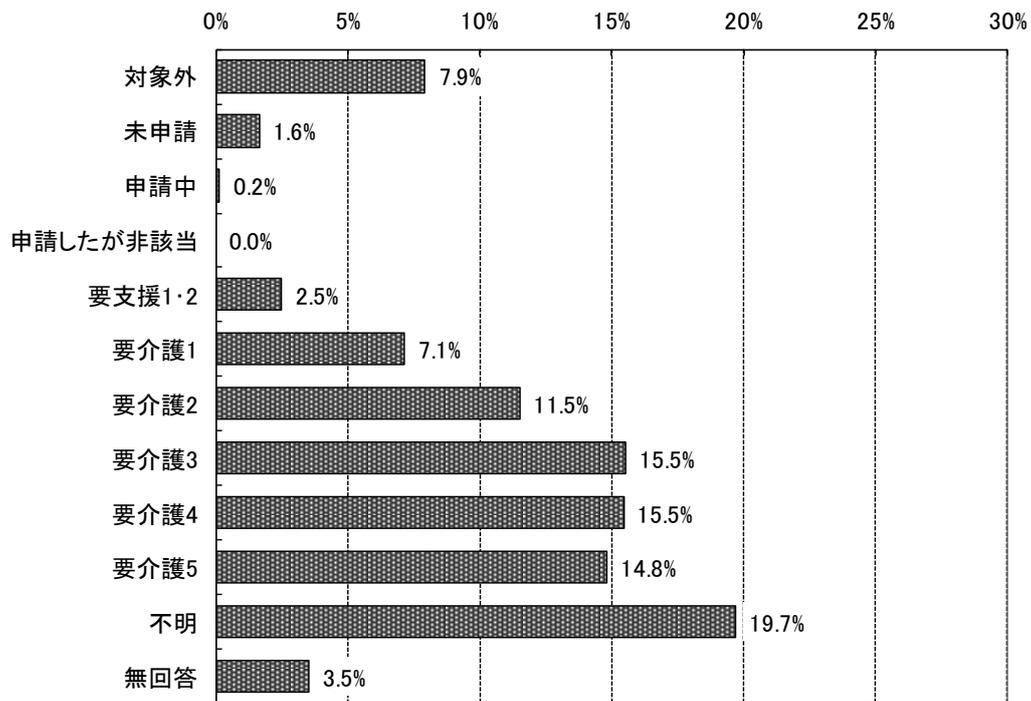
図表 85 同居家族の有無（戸建て、マンション・アパート・団地等の患者のみ）



## 5) 要介護度

要介護度をみると、「不明」が19.7%で最も多く、次いで「要介護3」、「要介護4」（いずれも15.5%）、「要介護5」（14.8%）、「要介護2」（11.5%）、「対象外」（7.9%）、「要介護1」（7.1%）であった。

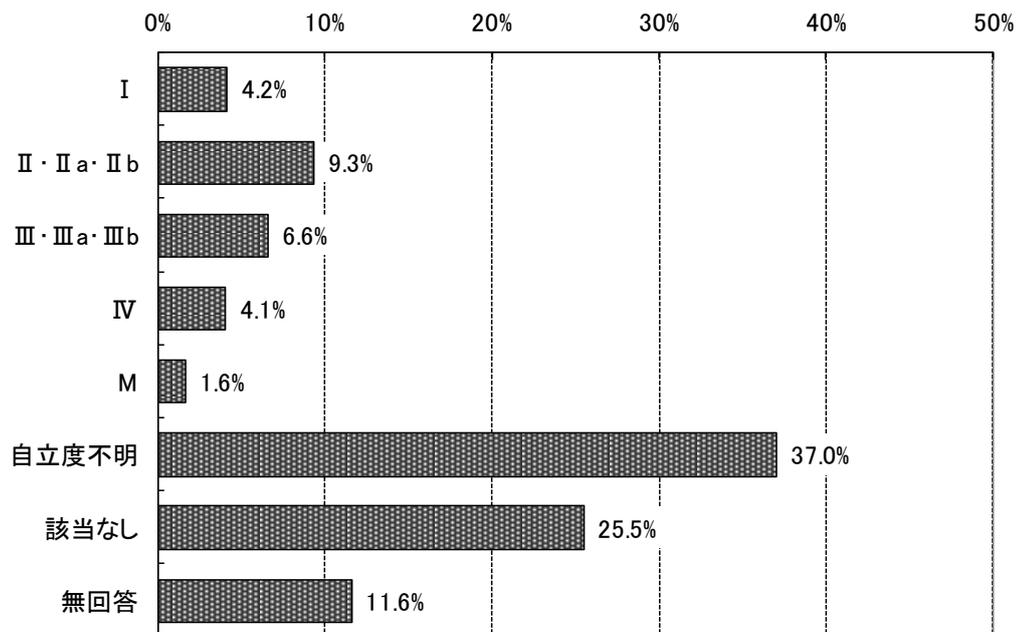
図表 86 要介護度（単数回答、n=1,274）



## 6) 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度をみると、「自立度不明」が37.0%で最も多く、次いで「該当なし」(25.5%)、「Ⅱ・Ⅱa・Ⅱb」(9.3%)、「Ⅲ・Ⅲa・Ⅲb」(6.6%)、「Ⅰ」(4.2%)、「Ⅳ」(4.1%)であった。「M」が1.6%であった。

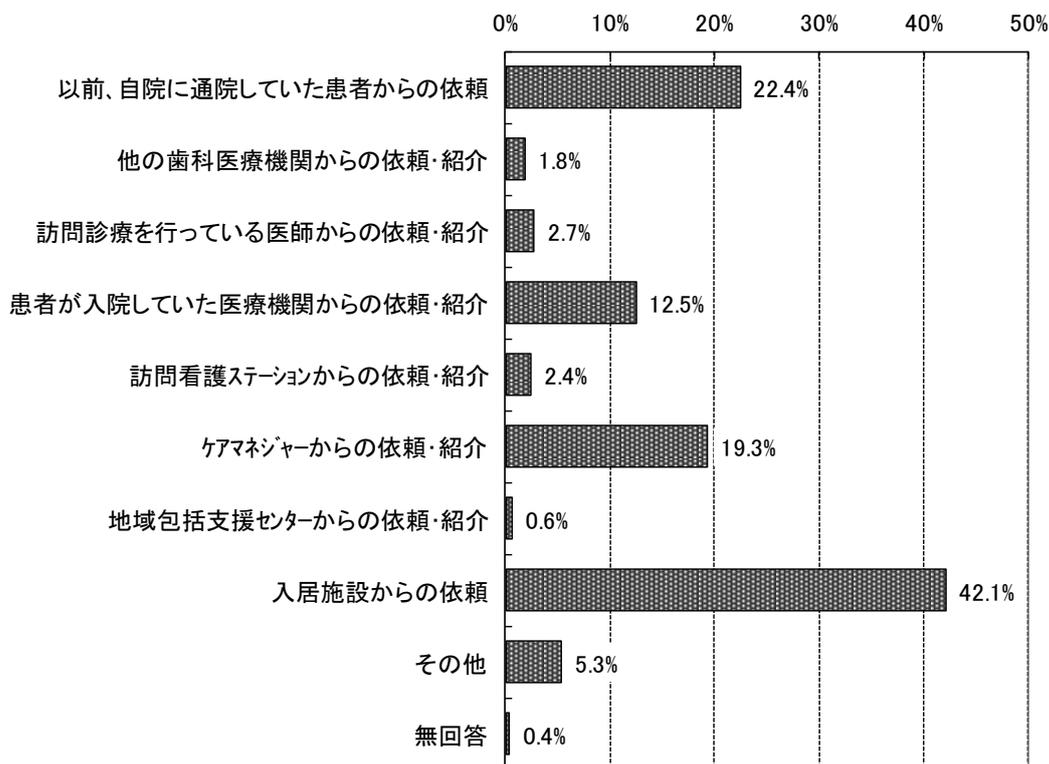
図表 87 認知症高齢者の日常生活自立度 (単数回答、n=1,274)



## ② 歯科訪問診療を行ったきっかけ

歯科訪問診療を行ったきっかけをみると、「入居施設からの依頼」が42.1%で最も多く、次いで「以前、自院に通院していた患者からの依頼」(22.4%)、「ケアマネジャーからの依頼・紹介」(19.3%)、「患者が入院していた医療機関からの依頼・紹介」(12.5%)であった。

図表 88 歯科訪問診療を行ったきっかけ (複数回答、n=1,274)



## ③ 調査日の診療内容等

### 1) 調査日における同一建物内の患者数

調査日における同一建物内の患者数は、平均 4.0 人 (標準偏差 8.4、中央値 1.0) であった。

図表 89 調査日における同一建物内の患者数 (n=1,186)

(単位：人)

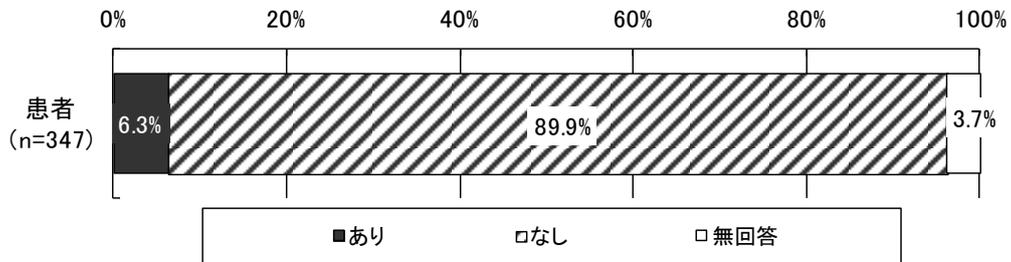
平均値	標準偏差	中央値
4.0	8.4	1.0

(注) 調査日における同一建物内の患者数について回答のあった 1,186 人を集計対象とした。

## 2) 同居家族に対する歯科訪問診療の有無

同居家族のある患者について同居家族に対する歯科訪問診療の有無をみると、「あり」が6.3%であり、「なし」が89.9%であった。

図表 90 同居家族に対する歯科訪問診療の有無（同居家族のある患者）

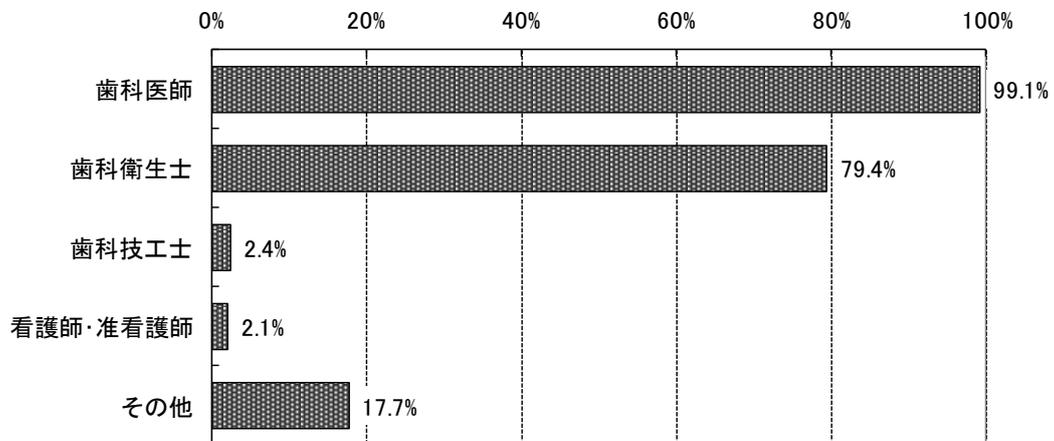


## 3) 調査日の診療体制

調査日の診療体制をみると、「歯科医師」が99.1%、「歯科衛生士」が79.4%、「歯科技工士」が2.4%、「看護師・准看護師」が2.1%であった。

調査日に診療に当たった職員数をみると、歯科医師、歯科衛生士は平均1.0人であった。

図表 91 調査日の診療体制（複数回答、n=1,274）



図表 92 調査日に診療に当たった職員数（n=1,274）

（単位：人）

	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.0	0.2	1.0
歯科衛生士	1.0	0.7	1.0
歯科技工士	0.0	0.2	0.0
看護師・准看護師	0.0	0.1	0.0
その他	0.2	0.5	0.0

#### 4) 調査日の診療内容

調査日の診療内容をみると、「義歯調整」が 41.1%で最も多く、次いで「口腔衛生指導」(39.6%)、「歯周治療」(36.1%)、「義歯製作」(13.7%)、「義歯修理」(12.0%)であった。

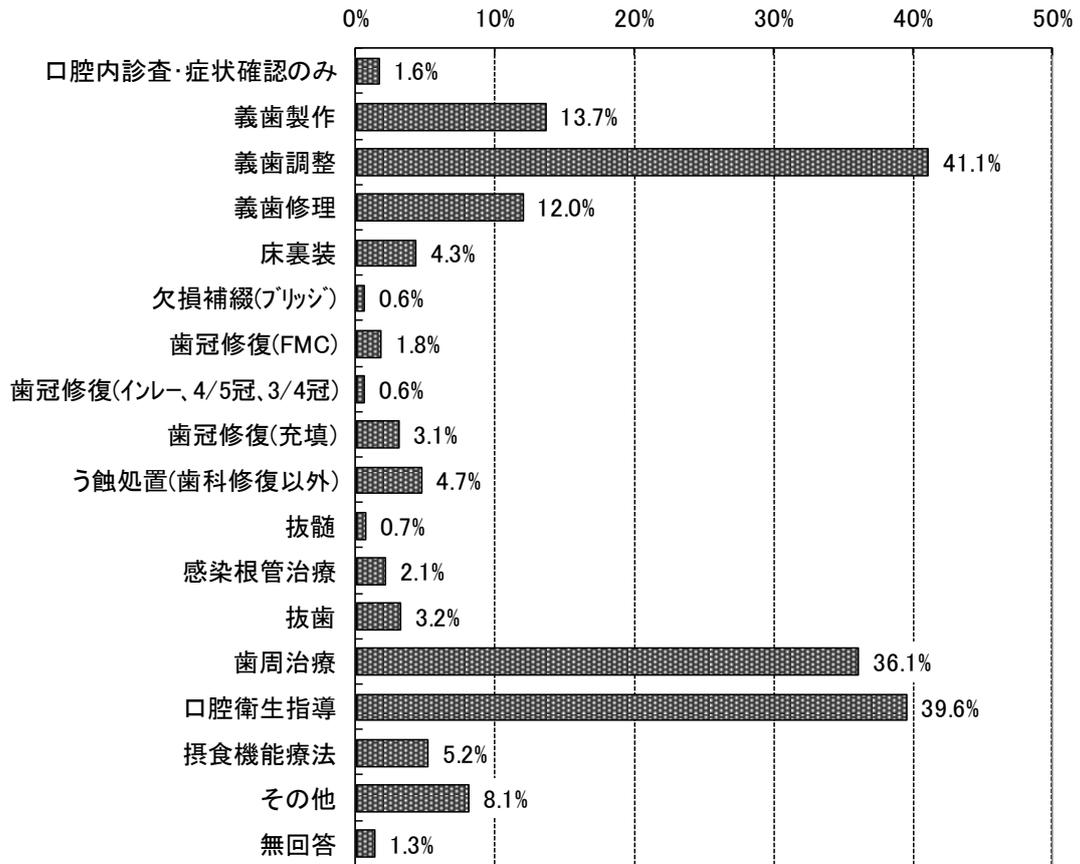
診療報酬算定項目別にみると、歯科訪問診療 1 算定患者では「義歯調整」が 43.1%で最も多く、次いで「口腔衛生指導」(35.6%)、「歯周治療」(34.4%)であった。歯科訪問診療 2 算定患者では「義歯調整」が 40.4%で最も多く、次いで「口腔衛生指導」(38.6%)、「歯周治療」(37.3%)であった。歯科訪問診療 3 算定患者では「口腔衛生指導」が 49.5%で最も多く、次いで「歯周治療」(44.9%)、「義歯調整」(40.3%)であった。

患者の居住場所別にみると、「戸建て」の患者では「義歯調整」と「口腔衛生指導」が 42.2%で最も多く、次いで「歯周治療」が 37.8%であった。「サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム」、「養護老人ホーム・軽費老人ホーム」の患者では「義歯調整」(それぞれ 50.0%、45.2%)が最も多く、次いで「口腔衛生指導」(それぞれ 40.2%、43.8%)、「歯周治療」(それぞれ 33.6%、39.7%)であった。「特別養護老人ホーム」の患者では「口腔衛生指導」が 39.1%で最も多く、次いで「義歯調整」(38.8%)、「歯周治療」(35.9%)であった。「認知症高齢者グループホーム」の患者では「義歯調整」が 52.8%で最も多く、次いで「口腔衛生指導」(38.9%)、「歯周治療」(37.5%)であった。「病院」の患者では「口腔衛生指導」が 33.5%で最も多く、次いで「義歯調整」(32.9%)、「歯周治療」(32.3%)であった。

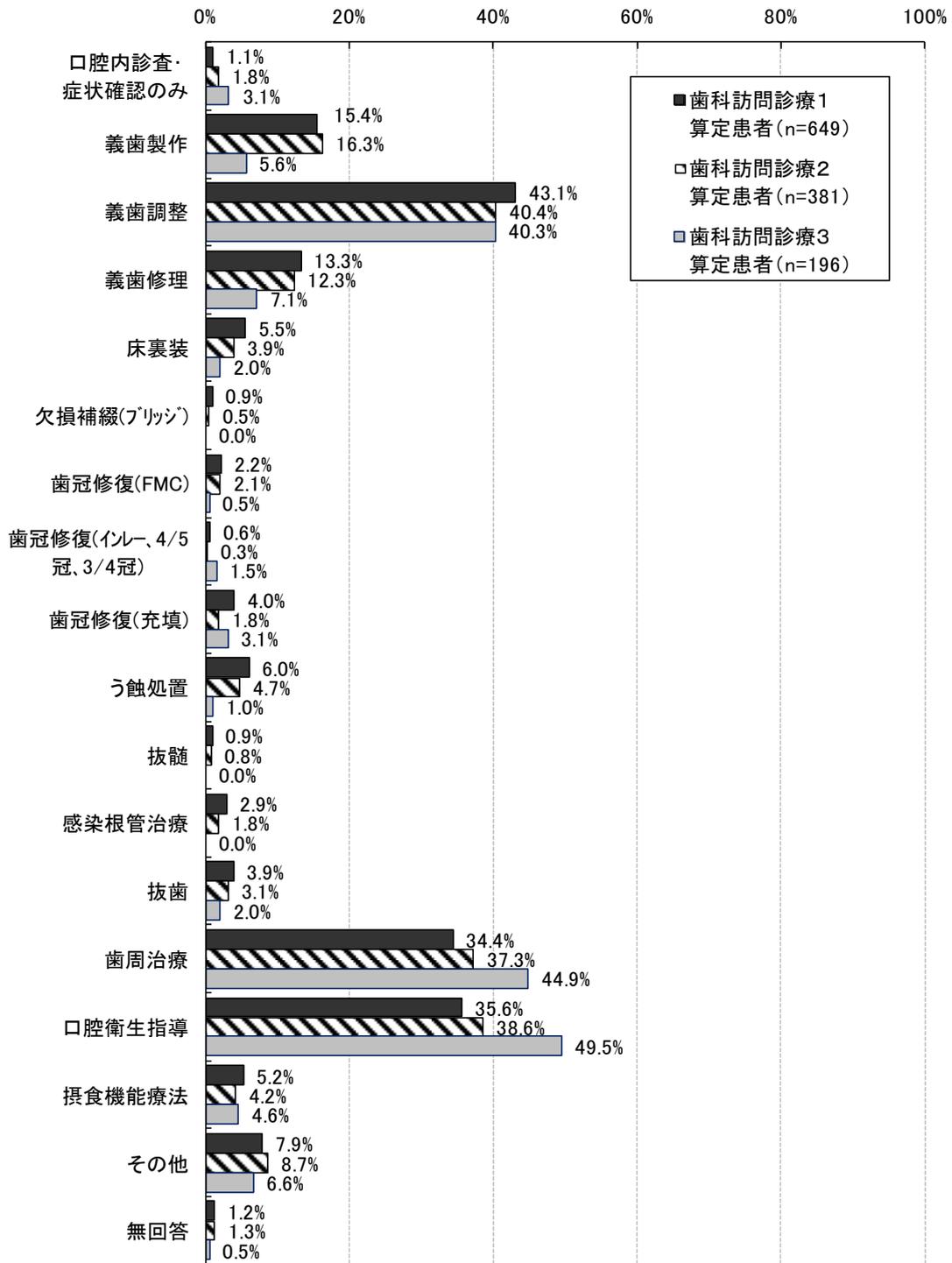
要介護度別にみると、「要介護 5」の患者では「口腔衛生指導」が 49.2%で最も多く、次いで「歯周治療」(43.9%)、「義歯調整」(28.0%)であった。

認知症高齢者の日常生活自立度別にみると、「Ⅲ・Ⅲa・Ⅲb」の患者では「口腔衛生指導」が 54.8%で最も多く、次いで「歯周治療」が 41.7%、「義歯調整」が 39.3%であった。「Ⅳ」の患者では「歯周治療」が 51.9%で最も多く、次いで「口腔衛生指導」(42.3%)、「義歯調整」(32.7%)であった。「M」の患者では「歯周治療」、「口腔衛生指導」がいずれも 52.4%で最も多かった。「Ⅳ」、「M」の患者では他の患者と比較して「摂食機能療法」を実施している患者の割合が高かった。

図表 93 調査日の診療内容（複数回答、n=1,274）



図表 94 調査日の診療内容（診療報酬算定項目別、複数回答）



図表 95 調査日の診療内容（患者の居住場所別、複数回答）

（単位：上段「人」、下段「％」）

	総数	口腔内 診査・ 症状確 認のみ	義歯 製作	義歯 調整	義歯 修理	床裏装	欠損 補綴 (ブリッ ジ)	歯冠 修復 (FMC)	歯冠修 復(イン レ-、4/5 冠、3/4 冠)	歯冠 修復 (充填)
全体	1,274 100.0	21 1.6	174 13.7	524 41.1	153 12.0	55 4.3	8 0.6	23 1.8	8 0.6	39 3.1
戸建て	320 100.0	6 1.9	43 13.4	135 42.2	32 10.0	14 4.4	3 0.9	9 2.8	4 1.3	15 4.7
マンション・アパート・団地等	60 100.0	0 0.0	11 18.3	21 35.0	9 15.0	1 1.7	1 1.7	2 3.3	0 0.0	2 3.3
サービス付き高齢者向け 住宅・有料老人ホーム	214 100.0	4 1.9	24 11.2	107 50.0	25 11.7	10 4.7	1 0.5	2 0.9	1 0.5	8 3.7
養護老人ホーム・軽費老 人ホーム	73 100.0	1 1.4	12 16.4	33 45.2	13 17.8	2 2.7	0 0.0	2 2.7	0 0.0	3 4.1
特別養護老人ホーム	276 100.0	2 0.7	32 11.6	107 38.8	35 12.7	12 4.3	1 0.4	2 0.7	1 0.4	7 2.5
認知症高齢者グループ ホーム	72 100.0	1 1.4	9 12.5	38 52.8	8 11.1	4 5.6	0 0.0	2 2.8	0 0.0	1 1.4
病院	167 100.0	5 3.0	30 18.0	55 32.9	17 10.2	8 4.8	1 0.6	2 1.2	1 0.6	3 1.8
その他	82 100.0	2 2.4	12 14.6	25 30.5	10 12.2	3 3.7	1 1.2	2 2.4	1 1.2	0 0.0

	総数	う蝕 処置	抜髄	感染根 管治療	抜歯	歯周 治療	口腔衛 生指導	摂食機 能療法	その他	無回答
全体	1,274 100.0	60 4.7	9 0.7	27 2.1	41 3.2	460 36.1	504 39.6	66 5.2	103 8.1	17 1.3
戸建て	320 100.0	23 7.2	3 0.9	10 3.1	5 1.6	121 37.8	135 42.2	18 5.6	22 6.9	4 1.3
マンション・アパート・団地等	60 100.0	4 6.7	1 1.7	3 5.0	2 3.3	26 43.3	25 41.7	7 11.7	6 10.0	0 0.0
サービス付き高齢者向け 住宅・有料老人ホーム	214 100.0	9 4.2	2 0.9	7 3.3	8 3.7	72 33.6	86 40.2	1 0.5	17 7.9	4 1.9
養護老人ホーム・軽費老 人ホーム	73 100.0	5 6.8	1 1.4	2 2.7	1 1.4	29 39.7	32 43.8	2 2.7	3 4.1	1 1.4
特別養護老人ホーム	276 100.0	10 3.6	0 0.0	2 0.7	11 4.0	99 35.9	108 39.1	19 6.9	21 7.6	6 2.2
認知症高齢者グループ ホーム	72 100.0	3 4.2	0 0.0	1 1.4	3 4.2	27 37.5	28 38.9	5 6.9	5 6.9	0 0.0
病院	167 100.0	6 3.6	1 0.6	1 0.6	8 4.8	54 32.3	56 33.5	11 6.6	22 13.2	2 1.2
その他	82 100.0	0 0.0	1 1.2	1 1.2	2 2.4	32 39.0	32 39.0	2 2.4	5 6.1	0 0.0

図表 96 調査日の診療内容（要介護度別、複数回答）

（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	口腔内 診査・症 状確認 のみ	義歯 製作	義歯 調整	義歯 修理	床裏装	欠損補 綴(ブリッ ジ)	歯冠修 復(FMC)	歯冠修 復(イン ー、4/5 冠、3/4 冠)	歯冠修 復(充填)
全体	1274 100.0	21 1.6	174 13.7	524 41.1	153 12.0	55 4.3	8 0.6	23 1.8	8 0.6	39 3.1
対象外	101 100.0	3 3.0	12 11.9	28 27.7	7 6.9	5 5.0	0 0.0	2 2.0	2 2.0	3 3.0
未申請	21 100.0	1 4.8	5 23.8	9 42.9	1 4.8	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0
申請中	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
申請したが非該 当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
要支援 1・2	32 100.0	0 0.0	8 25.0	15 46.9	8 25.0	2 6.3	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
要介護 1	91 100.0	1 1.1	9 9.9	50 54.9	7 7.7	2 2.2	2 2.2	2 2.2	0 0.0	2 2.2
要介護 2	147 100.0	1 0.7	27 18.4	70 47.6	27 18.4	9 6.1	0 0.0	1 0.7	0 0.0	4 2.7
要介護 3	198 100.0	3 1.5	23 11.6	90 45.5	32 16.2	9 4.5	1 0.5	5 2.5	2 1.0	8 4.0
要介護 4	197 100.0	3 1.5	25 12.7	88 44.7	21 10.7	7 3.6	1 0.5	4 2.0	3 1.5	12 6.1
要介護 5	189 100.0	5 2.6	12 6.3	53 28.0	12 6.3	1 0.5	0 0.0	1 0.5	0 0.0	4 2.1
不明	251 100.0	3 1.2	42 16.7	99 39.4	29 11.6	18 7.2	2 0.8	5 2.0	1 0.4	5 2.0

図表 97 調査日の診療内容（要介護度別、複数回答、つづき）

（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	う蝕処置	抜髄	感染根管治療	抜歯	歯周治療	口腔衛生指導	摂食機能療法	その他	無回答
全体	1274 100.0	60 4.7	9 0.7	27 2.1	41 3.2	460 36.1	504 39.6	66 5.2	103 8.1	17 1.3
対象外	101 100.0	5 5.0	1 1.0	3 3.0	2 2.0	46 45.5	35 34.7	6 5.9	12 11.9	0 0.0
未申請	21 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 47.6	9 42.9	2 9.5	5 23.8	0 0.0
申請中	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
申請したが非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
要支援 1・2	32 100.0	3 9.4	0 0.0	0 0.0	2 6.3	6 18.8	10 31.3	0 0.0	4 12.5	0 0.0
要介護 1	91 100.0	2 2.2	1 1.1	4 4.4	7 7.7	35 38.5	42 46.2	4 4.4	5 5.5	1 1.1
要介護 2	147 100.0	3 2.0	3 2.0	3 2.0	5 3.4	47 32.0	46 31.3	0 0.0	10 6.8	2 1.4
要介護 3	198 100.0	12 6.1	3 1.5	4 2.0	6 3.0	79 39.9	84 42.4	10 5.1	6 3.0	5 2.5
要介護 4	197 100.0	12 6.1	0 0.0	7 3.6	4 2.0	64 32.5	93 47.2	20 10.2	12 6.1	0 0.0
要介護 5	189 100.0	15 7.9	1 0.5	4 2.1	7 3.7	83 43.9	93 49.2	13 6.9	23 12.2	4 2.1
不明	251 100.0	6 2.4	0 0.0	2 0.8	6 2.4	82 32.7	76 30.3	10 4.0	21 8.4	4 1.6

図表 98 調査日の診療内容（認知症高齢者の日常生活自立度別、複数回答）

（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	口腔内 診査・ 症状確 認のみ	義歯 製作	義歯 調整	義歯 修理	床裏装	欠損 補綴 (ブリッジ)	歯冠 修復 (FMC)	歯冠修 復(イン -、4/5 冠、3/4 冠)	歯冠 修復 (充填)
全体	1,274 100.0	21 1.6	174 13.7	524 41.1	153 12.0	55 4.3	8 0.6	23 1.8	8 0.6	39 3.1
I	53 100.0	2 3.8	10 18.9	25 47.2	8 15.1	4 7.5	0 0.0	1 1.9	1 1.9	3 5.7
II・IIa・IIb	119 100.0	2 1.7	14 11.8	44 37.0	13 10.9	6 5.0	1 0.8	4 3.4	0 0.0	5 4.2
III・IIIa・IIIb	84 100.0	1 1.2	12 14.3	33 39.3	12 14.3	4 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.6
IV	52 100.0	0 0.0	3 5.8	17 32.7	5 9.6	2 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.8
M	21 100.0	2 9.5	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自立度不明	472 100.0	4 0.8	68 14.4	213 45.1	59 12.5	19 4.0	2 0.4	8 1.7	1 0.2	10 2.1
該当なし	325 100.0	7 2.2	49 15.1	131 40.3	36 11.1	15 4.6	4 1.2	8 2.5	6 1.8	13 4.0

	総数	う蝕 処置	抜髄	感染根 管治療	抜歯	歯周 治療	口腔衛 生指導	摂食機 能療法	その他	無回答
全体	1,274 100.0	60 4.7	9 0.7	27 2.1	41 3.2	460 36.1	504 39.6	66 5.2	103 8.1	17 1.3
I	53 100.0	2 3.8	0 0.0	2 3.8	3 5.7	10 18.9	20 37.7	3 5.7	2 3.8	0 0.0
II・IIa・IIb	119 100.0	8 6.7	1 0.8	2 1.7	3 2.5	50 42.0	48 40.3	9 7.6	6 5.0	2 1.7
III・IIIa・IIIb	84 100.0	6 7.1	1 1.2	3 3.6	3 3.6	35 41.7	46 54.8	5 6.0	4 4.8	3 3.6
IV	52 100.0	3 5.8	0 0.0	0 0.0	1 1.9	27 51.9	22 42.3	6 11.5	4 7.7	0 0.0
M	21 100.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 52.4	11 52.4	3 14.3	3 14.3	0 0.0
自立度不明	472 100.0	9 1.9	1 0.2	11 2.3	11 2.3	160 33.9	188 39.8	15 3.2	43 9.1	4 0.8
該当なし	325 100.0	26 8.0	6 1.8	8 2.5	15 4.6	115 35.4	117 36.0	20 6.2	29 8.9	2 0.6

## 5) 診療に要した時間

診療に要した時間は、平均 35.5 分（標準偏差 22.9、中央値 30.0）であった。また、機器の準備・後片付けの時間を除く診療時間は、平均 28.6 分（標準偏差 20.4、中央値 24.0）であった。

診療に要した時間別の患者分布をみると、「20 分～30 分未満」が 33.0%で最も多く、次いで「30 分～40 分未満」（25.3%）、「40 分～50 分未満」（14.0%）であった。

歯科訪問診療体制別に診療時間別患者分布（機器の準備・後片付け時間を含まない）をみると、「歯科訪問診療を中心に行っている施設の患者」では「20 分～29 分」が 31.3%で最も多く、次いで「10 分～19 分」（20.8%）、「30 分～39 分」（16.7%）であった。「複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている施設の患者」では「20 分～29 分」が 42.0%で最も多く、次いで「10 分～19 分」（17.5%）、「30 分～39 分」（12.1%）であった。

要介護度別に診療時間（機器の準備・後片付け時間を含まない）をみると、「対象外」の患者と比較して「要介護 1」以上の患者では、平均値・中央値ともに診療時間が長かった。

認知症高齢者の日常生活自立度別に診療時間（機器の準備・後片付け時間を含まない）をみると、「Ⅲ・Ⅲa・Ⅲb」の患者では平均 27.0 分（標準偏差 28.7、中央値 21.0）、「Ⅳ」の患者では平均 30.9 分（標準偏差 23.1、中央値 23.0）、「M」の患者では平均 33.2 分（標準偏差 35.6、中央値 26.5）となっており、認知症が重い患者ほど診療時間が長くなる傾向がみられた。

調査日の診療内容別に診療時間（機器の準備・後片付け時間を含まない）をみると、「義歯調整」では平均 22.3 分（標準偏差 9.4、中央値 22.0）、「口腔衛生指導」では平均 24.4 分（標準偏差 14.0、中央値 21.0）、「歯周治療」では平均 21.1 分（標準偏差 10.7、中央値 20.0）であった。患者数は少ないが、「感染根管治療」、「摂食機能療法」、「歯冠修復（FMC）」、「床裏装」では診療時間の平均が 30 分を超えており、比較的長かった。

診療に要した時間のうち機器の準備・後片付けの時間は、平均 6.9 分（標準偏差 5.7、中央値 5.0）であった。

図表 99 診療に要した時間 (n=1, 243)

(単位：分)

平均値	標準偏差	中央値
35.5	22.9	30.0

(注)・調査日の診療に要した時間について回答のあった 1,243 人を集計対象とした。  
・機器の準備・後片付けの時間が含まれる。

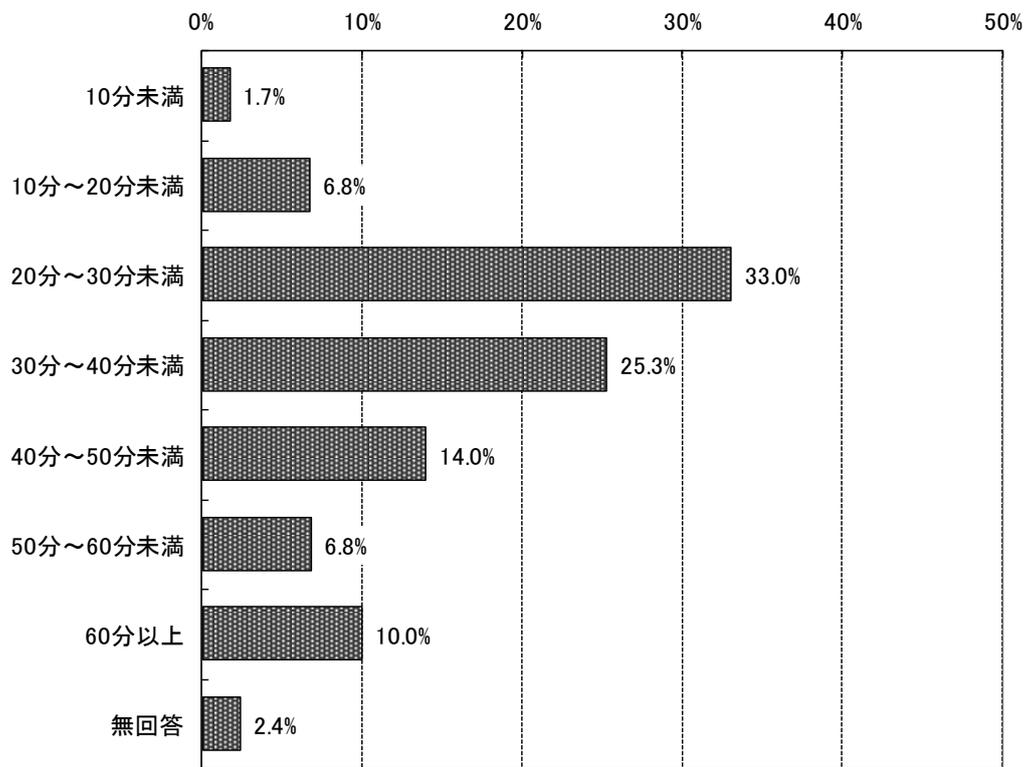
図表 100 診療時間 (n=1, 146)

(単位：分)

平均値	標準偏差	中央値
28.6	20.4	24.0

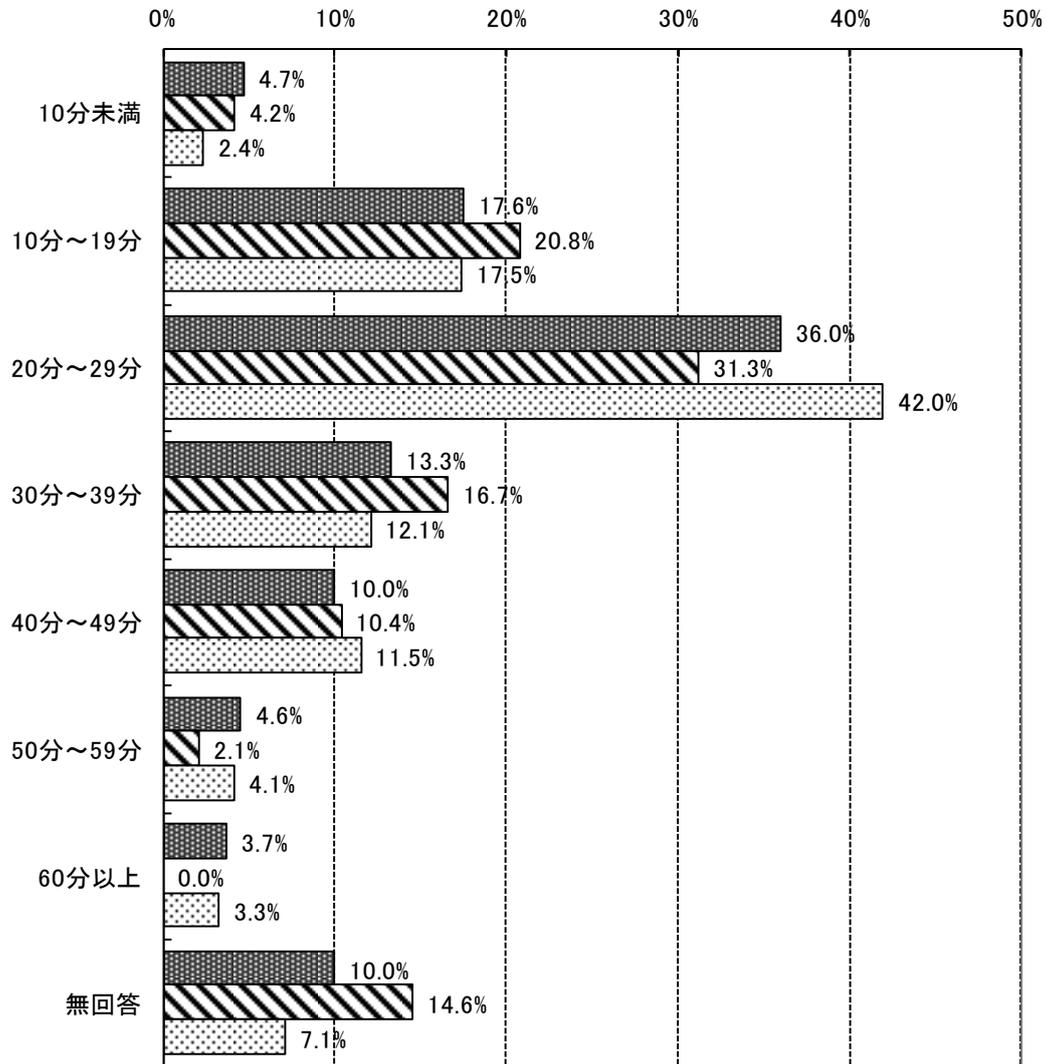
(注)・調査日の診療に要した時間、機器の準備・後片付けの時間の両方について回答のあった 1,146 人を集計対象とした。  
・機器の準備・後片付けの時間は含まない。

図表 101 診療に要した時間別患者分布 (n=1,274)



(注) 機器の準備・後片付けの時間が含まれる。

図表 102 診療時間別患者分布（歯科訪問診療体制別）



■ 全体 (n=1,274)

□ 歯科訪問診療を中心に行っている施設の患者 (n=48)

□ 複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている施設の患者 (n=338)

(注) 機器の準備・後片付けの時間は含まない。

図表 103 診療に要した時間（要介護度別）

（単位：分）

	患者数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,243	35.5	22.9	30.0
対象外	99	29.0	13.6	26.0
未申請	21	40.2	16.9	35.0
申請中	2	32.5	3.5	32.5
申請したが非該当	0	-	-	-
要支援 1・2	32	49.2	41.8	32.5
要介護 1	90	33.4	16.6	28.5
要介護 2	143	39.0	20.1	35.0
要介護 3	193	35.7	21.2	30.0
要介護 4	193	36.5	23.5	30.0
要介護 5	184	36.1	20.9	30.0
不明	245	32.4	21.0	29.0

(注)・調査日の診療に要した時間について回答のあった 1,243 人を集計対象とした。

・機器の準備・後片付けの時間が含まれる。

図表 104 診療時間（要介護度別）

（単位：分）

	患者数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,146	28.6	20.4	24.0
対象外	94	23.3	11.9	22.0
未申請	20	31.7	14.0	27.5
申請中	2	27.5	3.5	27.5
申請したが非該当	0	-	-	-
要支援 1・2	28	33.9	29.0	24.0
要介護 1	82	28.0	15.7	23.5
要介護 2	129	30.7	15.5	25.0
要介護 3	171	29.5	18.7	25.0
要介護 4	178	30.6	21.8	24.5
要介護 5	172	28.2	19.3	24.0
不明	231	26.0	19.4	22.0

(注)・調査日の診療に要した時間、機器の準備・後片付けの時間の両方について回答のあった 1,146 人を集計対象とした。

・機器の準備・後片付けの時間は含まない。

図表 105 診療に要した時間（認知症高齢者の日常生活自立度別）

（単位：分）

	患者数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,243	35.5	22.9	30.0
I	52	38.2	19.5	31.0
Ⅱ・Ⅱa・Ⅱb	117	32.6	16.8	30.0
Ⅲ・Ⅲa・Ⅲb	81	32.3	28.9	26.0
Ⅳ	51	37.6	26.3	30.0
M	21	37.5	35.0	30.0
自立度不明	458	35.1	21.0	30.0
該当なし	319	38.4	22.0	32.0

(注)・調査日の診療に要した時間について回答のあった1,243人を集計対象とした。  
 ・機器の準備・後片付けの時間が含まれる。

図表 106 診療時間（認知症高齢者の日常生活自立度別）

（単位：分）

	患者数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,146	28.6	20.4	24.0
I	45	32.7	18.4	26.0
Ⅱ・Ⅱa・Ⅱb	106	25.6	14.1	23.0
Ⅲ・Ⅲa・Ⅲb	73	27.0	28.7	21.0
Ⅳ	48	30.9	23.1	23.0
M	20	33.2	35.6	26.5
自立度不明	436	28.2	18.1	24.0
該当なし	297	30.5	17.4	25.0

(注)・調査日の診療に要した時間、機器の準備・後片付けの時間の両方について回答のあった1,146人を集計対象とした。  
 ・機器の準備・後片付けの時間は含まない。

図表 107 診療に要した時間（調査日の診療内容別）

（単位：分）

	患者数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,243	35.5	22.9	30.0
口腔内診査・症状確認のみ	21	22.4	10.9	22.0
義歯製作	168	42.2	34.5	30.0
義歯調整	510	36.8	27.0	30.0
義歯修理	148	46.6	39.6	35.0
床裏装	55	51.5	36.9	41.0
欠損補綴(ブリッジ)	8	45.6	32.5	37.5
歯冠修復(FMC)	23	44.0	22.9	35.0
歯冠修復(インレー、4/5 冠、3/4 冠)	7	40.9	34.5	28.0
歯冠修復(充填)	39	38.8	18.9	33.0
う蝕処置	57	38.4	16.0	35.0
抜髄	9	50.3	32.1	33.0
感染根管治療	24	50.7	38.8	35.0
抜歯	40	45.9	35.5	32.5
歯周治療	448	34.9	21.0	30.0
口腔衛生指導	495	38.1	27.0	30.0
摂食機能療法	65	43.0	26.2	35.0
その他	103	34.1	15.8	30.0

(注)・調査日の診療に要した時間について回答のあった 1,243 人を集計対象とした。

- ・機器の準備・後片付けの時間が含まれる。
- ・各診療内容を実施した患者の診療に要した時間であり、1 人の患者に複数の診療内容を実施している場合もあることに留意する必要がある。

図表 108 診療時間（調査日の診療内容別）

（単位：分）

	患者数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,146	28.6	20.4	24.0
口腔内診査・症状確認のみ	19	17.4	11.0	20.0
義歯製作	66	28.2	20.5	23.5
義歯調整	130	22.3	9.4	22.0
義歯修理	45	28.9	12.6	27.0
床裏装	18	31.1	12.0	25.0
欠損補綴(ブリッジ)	2	20.5	0.7	20.5
歯冠修復(FMC)	9	30.0	20.8	24.0
歯冠修復(インレー、4/5冠、3/4冠)	4	23.3	6.2	24.0
歯冠修復(充填)	10	22.9	10.2	22.0
う蝕処置	8	21.0	12.5	20.0
抜髄	4	29.5	13.8	24.0
感染根管治療	6	33.0	12.2	27.5
抜歯	12	20.8	9.7	20.0
歯周治療	79	21.1	10.7	20.0
口腔衛生指導	57	24.4	14.0	21.0
摂食機能療法	4	32.0	2.9	32.5
その他	27	20.8	13.5	18.0

(注)・調査日の診療に要した時間、機器の準備・後片付けの時間の両方について回答のあった 1,146 人を集計対象とした。

- ・機器の準備・後片付けの時間は含まない。
- ・各診療内容を実施した患者の診療に要した時間であり、1 人の患者に複数の診療内容を実施している場合もあることに留意する必要がある。

図表 109 診療に要した時間のうち機器の準備・後片付けの時間 (n=1, 150)

（単位：分）

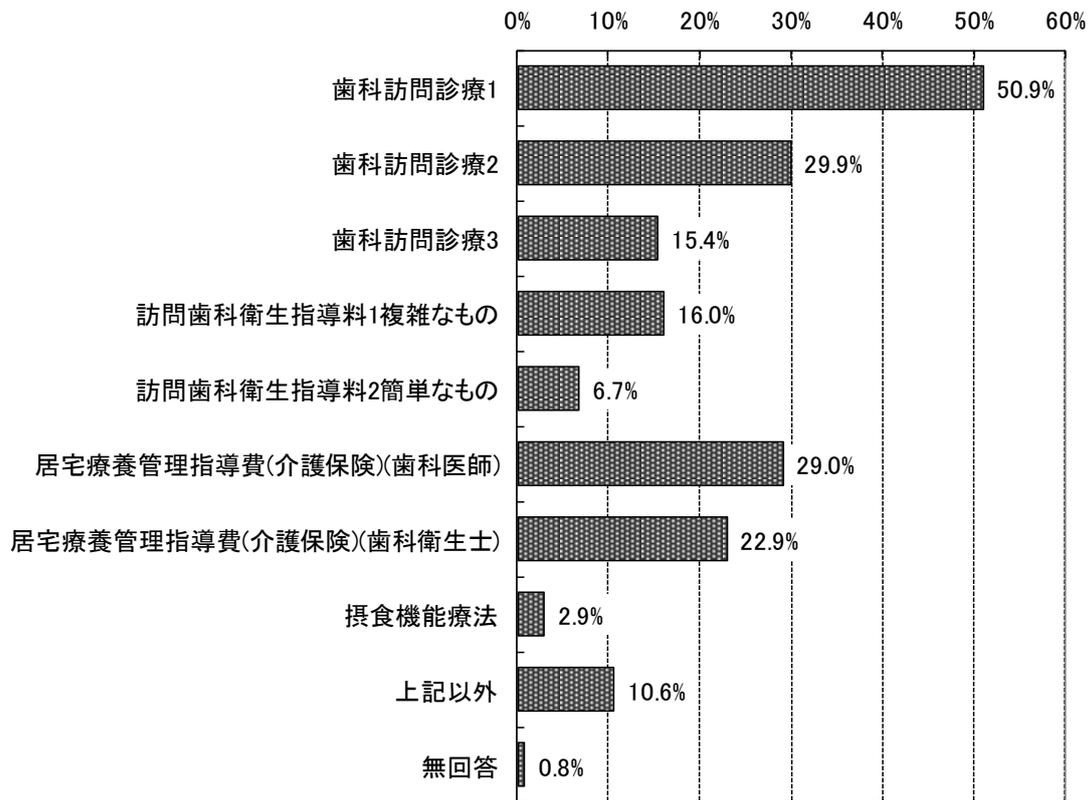
平均値	標準偏差	中央値
6.9	5.7	5.0

(注) 機器の準備・後片付けの時間について回答のあった 1,150 人を集計対象とした。

## 6) 算定した診療報酬等

算定した診療報酬等をみると、「歯科訪問診療 1」が 50.9%で最も多く、次いで「歯科訪問診療 2」が 29.9%、「居宅療養管理指導費（介護保険）（歯科医師）」が 29.0%、「居宅療養管理指導費（介護保険）（歯科衛生士）」が 22.9%であった。

図表 110 算定した診療報酬等（複数回答、n=1,274）



#### ④1 か月間の歯科訪問診療の頻度

1 か月間の歯科訪問診療の頻度は、平均 2.4 回（標準偏差 1.4、中央値 2.0）であった。

1 か月間の歯科訪問診療回数別患者分布をみると、「1 回」が 33.8%で最も多く、次いで「2 回」が 24.4%、「4 回」が 20.8%、「3 回」が 13.9%であった。

図表 111 1 か月間の歯科訪問診療の頻度 (n=1, 249)

(単位：回)

平均値	標準偏差	中央値
2.4	1.4	2.0

(注)平成27年6月1か月間の歯科訪問診療の回数について回答のあった1,249人を集計対象とした。

図表 112 1 か月間の歯科訪問診療回数別患者分布

	患者数(人)	構成割合
1 回	431	33.8%
2 回	311	24.4%
3 回	177	13.9%
4 回	265	20.8%
5 回	47	3.7%
6 回	8	0.6%
7 回	5	0.4%
8 回	1	0.1%
9 回	2	0.2%
10 回	1	0.1%
11 回	0	0.0%
12 回	1	0.1%
無回答	25	2.0%
全体	1,274	100.0%

### 3. 意向調査

#### 【調査対象等】

調査対象：全国の歯科診療所（ただし「実態調査」の対象施設を除く）の中から無作為抽出した 1,500 施設

回答数：845 施設

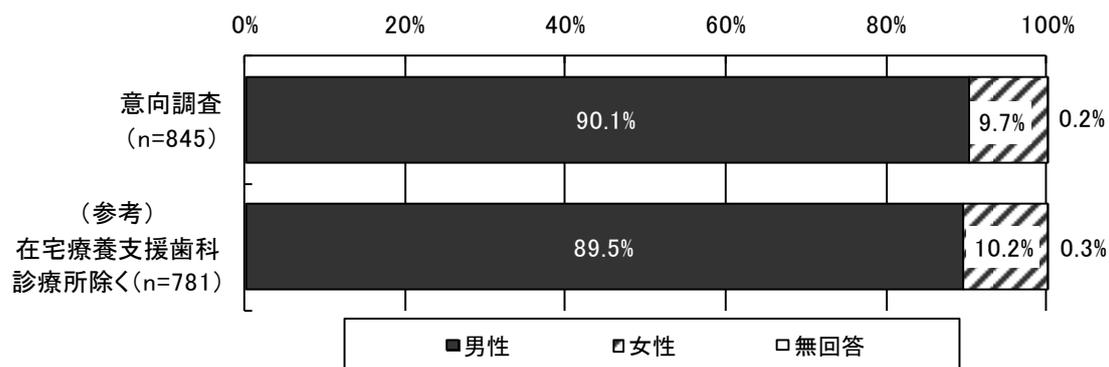
回答者：管理者

#### (1) 管理者の基本属性

##### ①性別

管理者の性別をみると、「男性」が 90.1%、「女性」が 9.7%であった。

図表 113 性別



##### ②年齢

年齢をみると、平均 55.2 歳（標準偏差 10.7、中央値 55.0）であった。

図表 114 年齢

(単位：歳)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
意向調査	840	55.2	10.7	55.0
(参考) 在宅療養支援歯科診療所除く	776	55.2	10.7	55.0

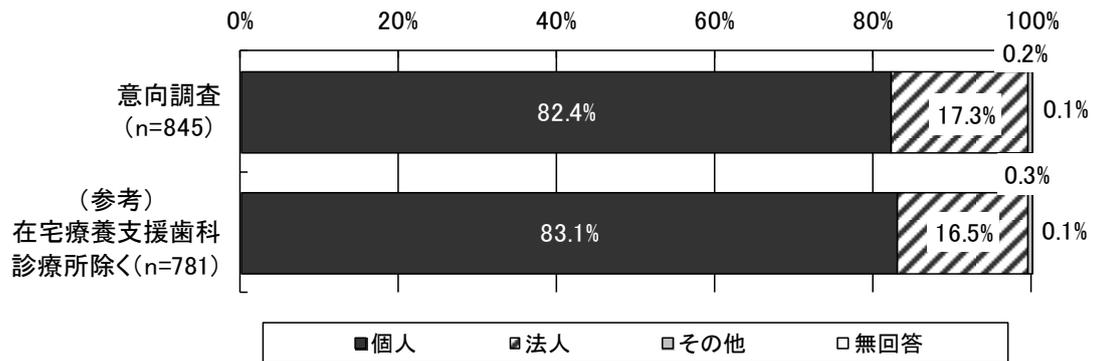
(注) 年齢について回答のあった施設を集計対象とした。

## (2) 施設の概要

### ①開設主体

開設主体をみると、「個人」が82.4%、「法人」が17.3%であった。

図表 115 開設主体

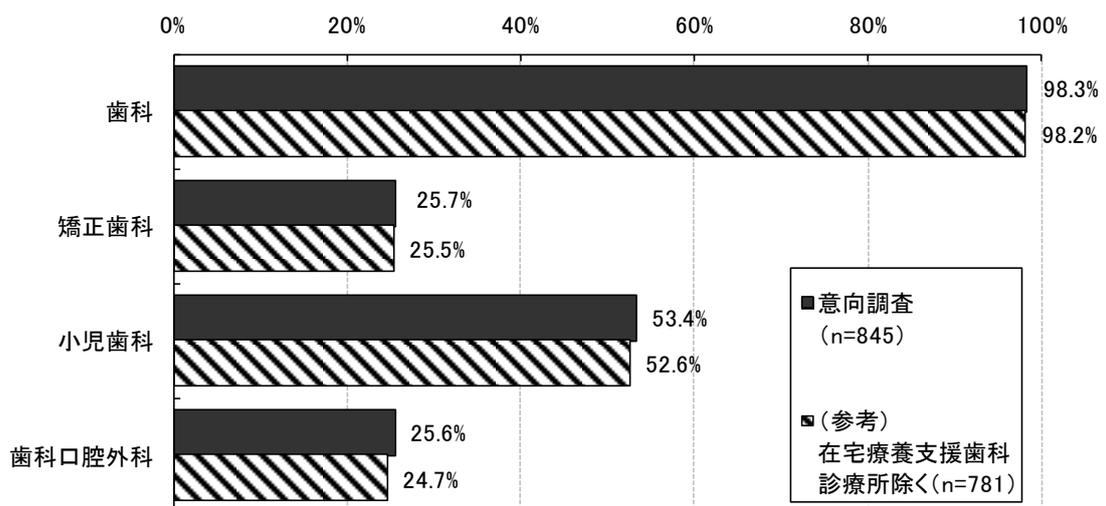


(注)「その他」の内容として、「市営」が挙げられた。

### ②標榜診療科

標榜診療科をみると、「歯科」が98.3%、「矯正歯科」が25.7%、「小児歯科」が53.4%、「歯科口腔外科」が25.6%であった。

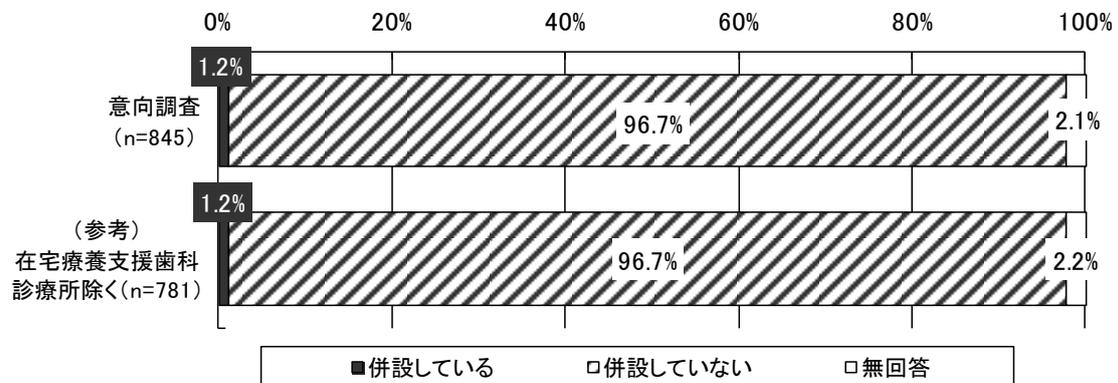
図表 116 標榜診療科 (複数回答)



### ③医科の医療機関の併設状況

医科の医療機関の併設状況を見ると、「併設している」が1.2%、「併設していない」が96.7%であった。

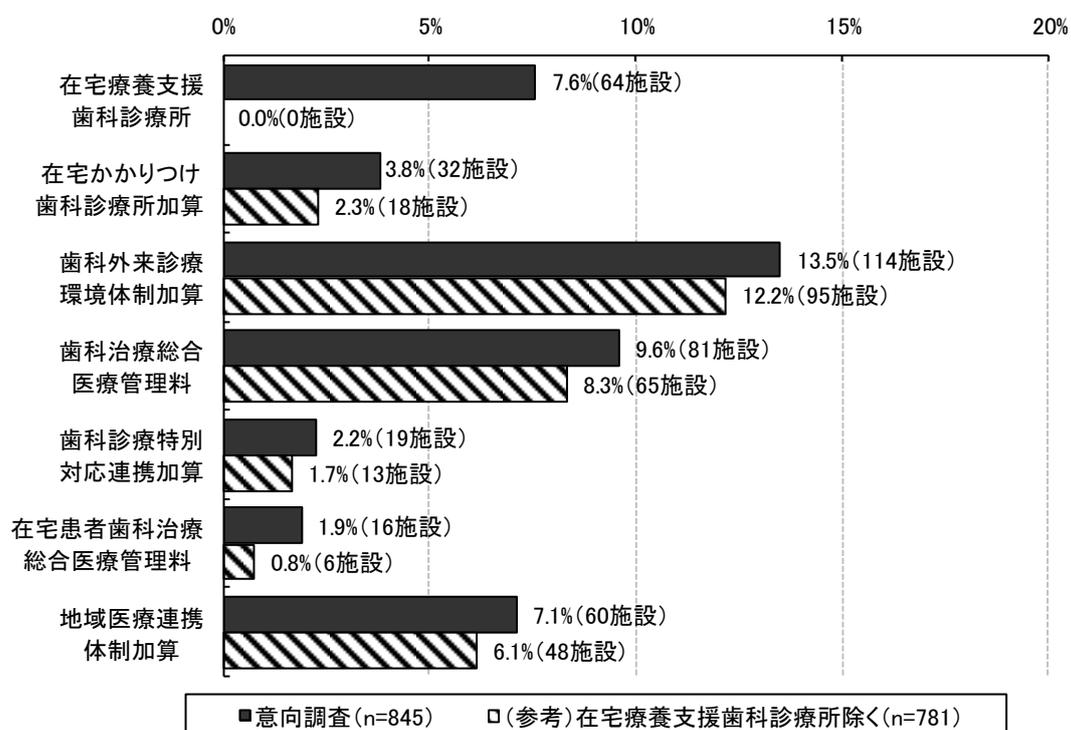
図表 117 医科の医療機関の併設状況



### ④施設基準の届出状況

施設基準の届出状況を見ると、「歯科外来診療環境体制加算」が13.5%（114施設）で最も多く、次いで「歯科治療総合医療管理料」（9.6%、81施設）、「在宅療養支援歯科診療所」（7.6%、64施設）、「地域医療連携体制加算」（7.1%、60施設）であった。

図表 118 施設基準の届出状況（複数回答）



### ⑤職員数

1施設あたりの職員数をみると、「歯科医師」は常勤が平均1.25人（標準偏差0.61、中央値1.00）で、非常勤が平均0.34人（標準偏差0.94、中央値0.00）であり、「歯科衛生士」は常勤が平均1.22人（標準偏差1.44、中央値1.00）、非常勤が平均0.55人（標準偏差1.07、中央値0.00）であった。「歯科技工士」は常勤が平均0.13人（標準偏差0.40、中央値0.00）、非常勤が平均0.01人（標準偏差0.11、中央値0.00）であった。「管理栄養士・栄養士」は常勤が平均0.00人（標準偏差0.03、中央値0.00）、非常勤が平均0.00人（標準偏差0.00、中央値0.00）、「言語聴覚士」は常勤が平均0.00人（標準偏差0.00、中央値0.00）、非常勤が平均0.00人（標準偏差0.03、中央値0.00）であり、「その他」の職員は常勤が平均1.29人（標準偏差1.38、中央値1.00）、非常勤が平均0.55人（標準偏差1.13、中央値0.00）であった。1施設あたりの職員数合計は常勤が平均3.91人（標準偏差2.55、中央値3.00）、非常勤が平均1.45人（標準偏差2.24、中央値1.00）であった。

図表 119 1施設あたりの職員数 (n=834)

(単位：人)

	常勤			非常勤		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.25	0.61	1.00	0.34	0.94	0.00
歯科衛生士	1.22	1.44	1.00	0.55	1.07	0.00
歯科技工士	0.13	0.40	0.00	0.01	0.11	0.00
管理栄養士・栄養士	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00
言語聴覚士	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00
その他	1.29	1.38	1.00	0.55	1.13	0.00
合計	3.91	2.55	3.00	1.45	2.24	1.00

(注) 常勤・非常勤ともに職員数について回答のあった834施設を集計対象とした。

図表 120 1施設あたりの職員数 (在宅療養支援歯科診療所除く、n=770)

(単位：人)

	常勤			非常勤		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.24	0.61	1.00	0.32	0.90	0.00
歯科衛生士	1.17	1.43	1.00	0.51	1.04	0.00
歯科技工士	0.13	0.39	0.00	0.01	0.12	0.00
管理栄養士・栄養士	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00
言語聴覚士	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	1.29	1.39	1.00	0.54	1.13	0.00
合計	3.83	2.55	3.00	1.39	2.21	0.80

(注) 常勤・非常勤ともに職員数について回答のあった770施設を集計対象とした。

### ⑥医療機器等の保有台数

医療機器等の保有台数をみると、「歯科ユニット」は平均 3.4 台（標準偏差 1.4、中央値 3.0）、「ポータブル歯科治療用ユニット」が平均 0.1 台（標準偏差 0.4、中央値 0.0）、「ポータブルエンジン（携帯用マイクロモーター）」が平均 0.6 台（標準偏差 0.6、中央値 1.0）、「ポータブル歯科用 X 線装置」が平均 0.1 台（標準偏差 0.3、中央値 0.0）であった。

図表 121 医療機器の保有台数

(単位：台)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科ユニット	824	3.4	1.4	3.0
ポータブル歯科治療用ユニット	604	0.1	0.4	0.0
ポータブルエンジン(携帯用マイクロモーター)	676	0.6	0.6	1.0
ポータブル歯科用 X 線装置	594	0.1	0.3	0.0

(注) 各医療機器について回答のあった施設を集計対象とした。

各医療機器を保有している施設についてその保有台数をみると、「歯科ユニット」は平均 3.4 台（標準偏差 1.4、中央値 3.0）、「ポータブル歯科治療用ユニット」が平均 1.2 台（標準偏差 0.5、中央値 1.0）、「ポータブルエンジン（携帯用マイクロモーター）」が平均 1.1 台（標準偏差 0.4、中央値 1.0）、「ポータブル歯科用 X 線装置」が平均 1.1 台（標準偏差 0.3、中央値 1.0）であった。

図表 122 医療機器の保有台数（各機器を保有している施設）

(単位：台)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科ユニット	809	3.4	1.4	3.0
ポータブル歯科治療用ユニット	73	1.2	0.5	1.0
ポータブルエンジン(携帯用マイクロモーター)	387	1.1	0.4	1.0
ポータブル歯科用 X 線装置	53	1.1	0.3	1.0

(注) 各医療機器を保有している施設に限定して集計した（「0」を除く）。

図表 123 医療機器の保有台数（在宅療養支援歯科診療所除く）

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科ユニット	760	3.3	1.4	3.0
ポータブル歯科治療用ユニット	548	0.1	0.4	0.0
ポータブルエンジン(携帯用マイクロモーター)	615	0.6	0.6	1.0
ポータブル歯科用X線装置	540	0.1	0.3	0.0

（注）各医療機器について回答のあった施設を集計対象とした。

図表 124 医療機器の保有台数(各機器を保有している施設、在宅療養支援歯科診療所除く)

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科ユニット	745	3.4	1.4	3.0
ポータブル歯科治療用ユニット	50	1.2	0.5	1.0
ポータブルエンジン(携帯用マイクロモーター)	335	1.1	0.3	1.0
ポータブル歯科用X線装置	38	1.1	0.3	1.0

（注）各医療機器を保有している施設に限定して集計した（「0」を除く）。

歯科訪問診療の実施状況別に歯科ユニットの保有台数をみると、「歯科訪問診療を実施している施設」では平均 3.4 台（標準偏差 1.3、中央値 3.0）、「歯科訪問診療を実施していない施設」では平均 3.3 台（標準偏差 1.5、中央値 3.0）であった。

図表 125 歯科ユニット（歯科訪問診療の実施状況別）

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	824	3.4	1.4	3.0
歯科訪問診療を実施している施設	275	3.4	1.3	3.0
歯科訪問診療を実施していない施設	549	3.3	1.5	3.0

（注）歯科ユニット台数について回答のあった施設を集計対象とした。

図表 126 歯科ユニット（歯科訪問診療の実施状況別、在宅療養支援歯科診療所除く）

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	760	3.3	1.4	3.0
歯科訪問診療を実施している施設	219	3.4	1.3	3.0
歯科訪問診療を実施していない施設	541	3.3	1.5	3.0

（注）歯科ユニット台数について回答のあった施設を集計対象とした。

歯科訪問診療の実施状況別にポータブル歯科治療用ユニットの保有台数をみると、「歯科訪問診療を実施している施設」では平均 0.3 台（標準偏差 0.5、中央値 0.0）、「歯科訪問診療を実施していない施設」では平均 0.0 台（標準偏差 0.3、中央値 0.0）であった。

図表 127 ポータブル歯科治療用ユニット（歯科訪問診療の実施状況別）

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	604	0.1	0.4	0.0
歯科訪問診療を実施している施設	210	0.3	0.5	0.0
歯科訪問診療を実施していない施設	394	0.0	0.3	0.0

（注）ポータブル歯科治療ユニットについて回答のあった施設を集計対象とした。

図表 128 ポータブル歯科治療用ユニット

（歯科訪問診療の実施状況別、在宅療養支援歯科診療所除く）

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	548	0.1	0.4	0.0
歯科訪問診療を実施している施設	160	0.3	0.5	0.0
歯科訪問診療を実施していない施設	388	0.0	0.3	0.0

（注）ポータブル歯科治療ユニットについて回答のあった施設を集計対象とした。

歯科訪問診療の実施状況別にポータブルエンジン（携帯用マイクロモーター）の保有台数をみると、「歯科訪問診療を実施している施設」では平均 1.1 台（標準偏差 0.5、中央値 1.0）、「歯科訪問診療を実施していない施設」では平均 0.4 台（標準偏差 0.5、中央値 0.0）であった。

図表 129 ポータブルエンジン（携帯用マイクロモーター）（歯科訪問診療の実施状況別）

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	676	0.6	0.6	1.0
歯科訪問診療を実施している施設	255	1.1	0.5	1.0
歯科訪問診療を実施していない施設	421	0.4	0.5	0.0

（注）ポータブルエンジン（携帯用マイクロモーター）について回答のあった施設を集計対象とした。

図表 130 ポータブルエンジン（携帯用マイクロモーター）  
（歯科訪問診療の実施状況別、在宅療養支援歯科診療所除く）

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	615	0.6	0.6	1.0
歯科訪問診療を実施している施設	202	1.0	0.4	1.0
歯科訪問診療を実施していない施設	413	0.4	0.5	0.0

（注）ポータブルエンジン（携帯用マイクロモーター）について回答のあった施設を集計対象とした。

歯科訪問診療の実施状況別にポータブル歯科用X線装置の保有台数をみると、「歯科訪問診療を実施している施設」では平均 0.2 台（標準偏差 0.4、中央値 0.0）、「歯科訪問診療を実施していない施設」では平均 0.0 台（標準偏差 0.2、中央値 0.0）であった。

図表 131 ポータブル歯科用X線装置（歯科訪問診療の実施状況別）

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	594	0.1	0.3	0.0
歯科訪問診療を実施している施設	199	0.2	0.4	0.0
歯科訪問診療を実施していない施設	395	0.0	0.2	0.0

（注）ポータブル歯科用X線装置について回答のあった施設を集計対象とした。

図表 132 ポータブル歯科用X線装置

（歯科訪問診療の実施状況別、在宅療養支援歯科診療所除く）

（単位：台）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	540	0.1	0.3	0.0
歯科訪問診療を実施している施設	151	0.1	0.4	0.0
歯科訪問診療を実施していない施設	389	0.0	0.2	0.0

（注）ポータブル歯科用X線装置について回答のあった施設を集計対象とした。

⑦1 か月間の歯科外来患者総数（延べ人数）

1 か月間の歯科外来患者総数（延べ人数）をみると、平成 25 年 6 月は平均 402.6 人（標準偏差 301.3、中央値 350.0）で、平成 27 年 6 月が平均 425.1 人（標準偏差 320.8、中央値 365.0）であった。

図表 133 1 か月間の歯科外来患者総数（延べ人数）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
平成 25 年 6 月	684	402.6	301.3	350.0
平成 27 年 6 月	728	425.1	320.8	365.0

（注）歯科外来患者総数について回答のあった施設を集計対象とした。

図表 134 1 か月間の歯科外来患者総数（延べ人数、在宅療養支援歯科診療所除く）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
平成 25 年 6 月	626	395.4	300.3	334.5
平成 27 年 6 月	669	416.3	317.7	357.0

（注）歯科外来患者総数について回答のあった施設を集計対象とした。

平成 25 年 6 月、平成 27 年 6 月ともに回答のあった 679 施設について 1 か月間の歯科外来患者総数（延べ人数）をみると、平成 25 年 6 月は平均 405.4 人（標準偏差 300.7、中央値 350.0）で、平成 27 年 6 月は平均 431.4 人（標準偏差 322.8、中央値 373.0）と増加した。

図表 135 1 か月間の歯科外来患者総数（延べ人数）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
平成 25 年 6 月	679	405.4	300.7	350.0
平成 27 年 6 月	679	431.4	322.8	373.0

（注）歯科外来患者総数について平成 25 年 6 月と平成 27 年 6 月ともに回答のあった施設を集計対象とした。

図表 136 1 か月間の歯科外来患者総数（延べ人数、在宅療養支援歯科診療所除く）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
平成 25 年 6 月	621	398.4	299.6	340.0
平成 27 年 6 月	621	423.2	320.1	363.0

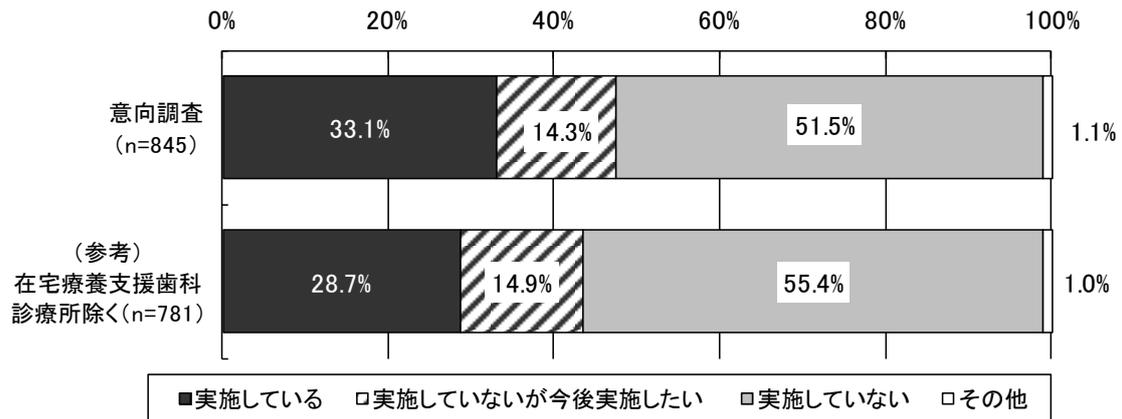
（注）歯科外来患者総数について平成 25 年 6 月と平成 27 年 6 月ともに回答のあった施設を集計対象とした。

### (3) 歯科訪問診療の実施状況等

#### ① 歯科訪問診療の実施状況

歯科訪問診療の実施状況を見ると、「実施している」が33.1%、「実施していないが今後実施したい」が14.3%、「実施していない」が51.5%であった。

図表 137 歯科訪問診療の実施状況



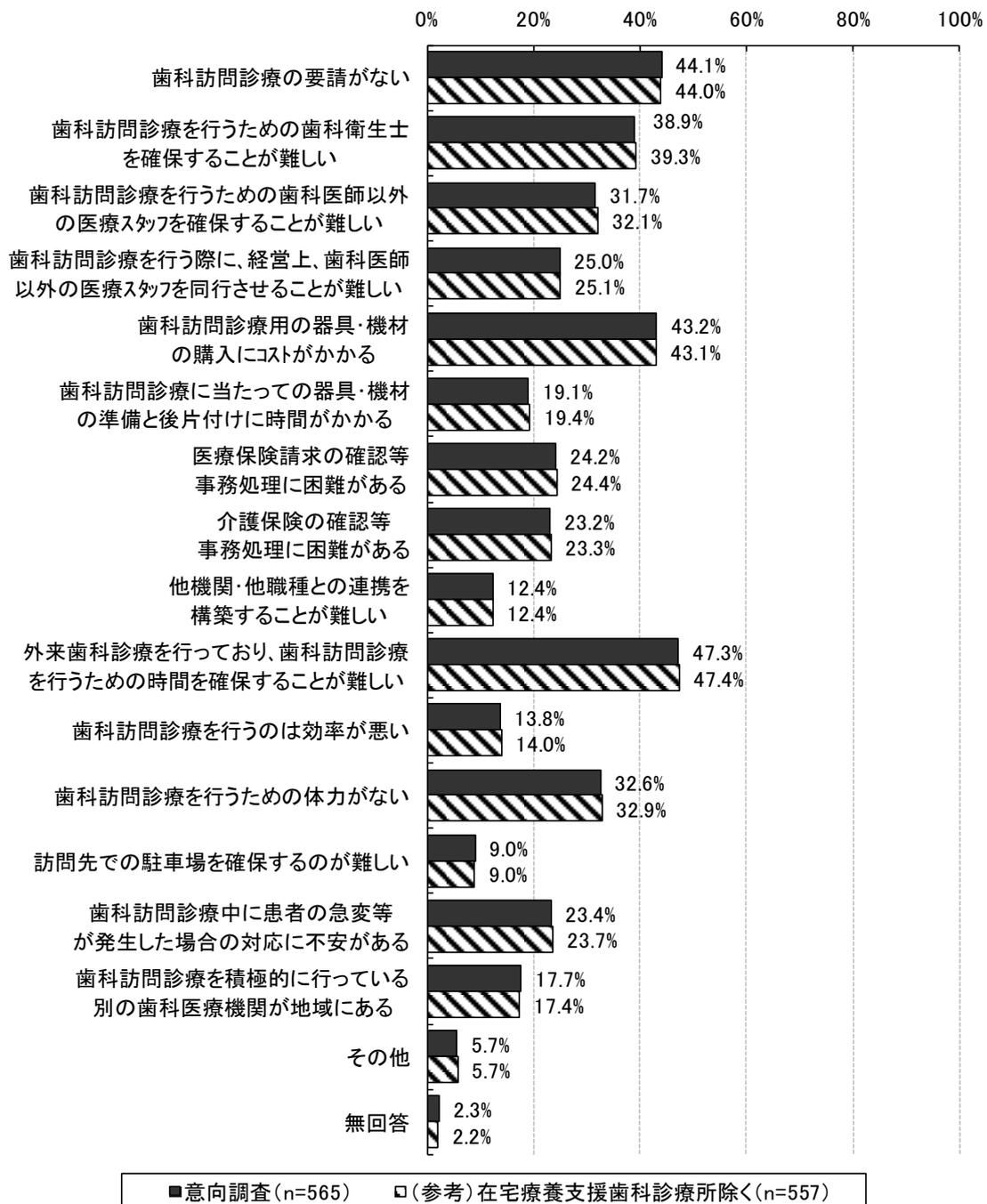
(注) 「その他」の内容として、「依頼があった時のみ(実施)」(同旨含め4件)、「実施していたが現在は依頼がない」(同旨含め3件)、「市の訪問診療事業への協力」等が挙げられた。

#### ② 歯科訪問診療を実施していない理由

歯科訪問診療を実施していない理由をみると、「外来歯科診療を行っており、歯科訪問診療を行うための時間を確保することが難しい」が47.3%で最も多く、次いで「歯科訪問診療の要請がない」(44.1%)、「歯科訪問診療用の器具・機材の購入にコストがかかる」(43.2%)、「歯科訪問診療を行うための歯科衛生士を確保することが難しい」(38.9%)、「歯科訪問診療を行うための体力がない」(32.6%)、「歯科訪問診療を行うための歯科医師以外の医療スタッフを確保することが難しい」(31.7%)であった。

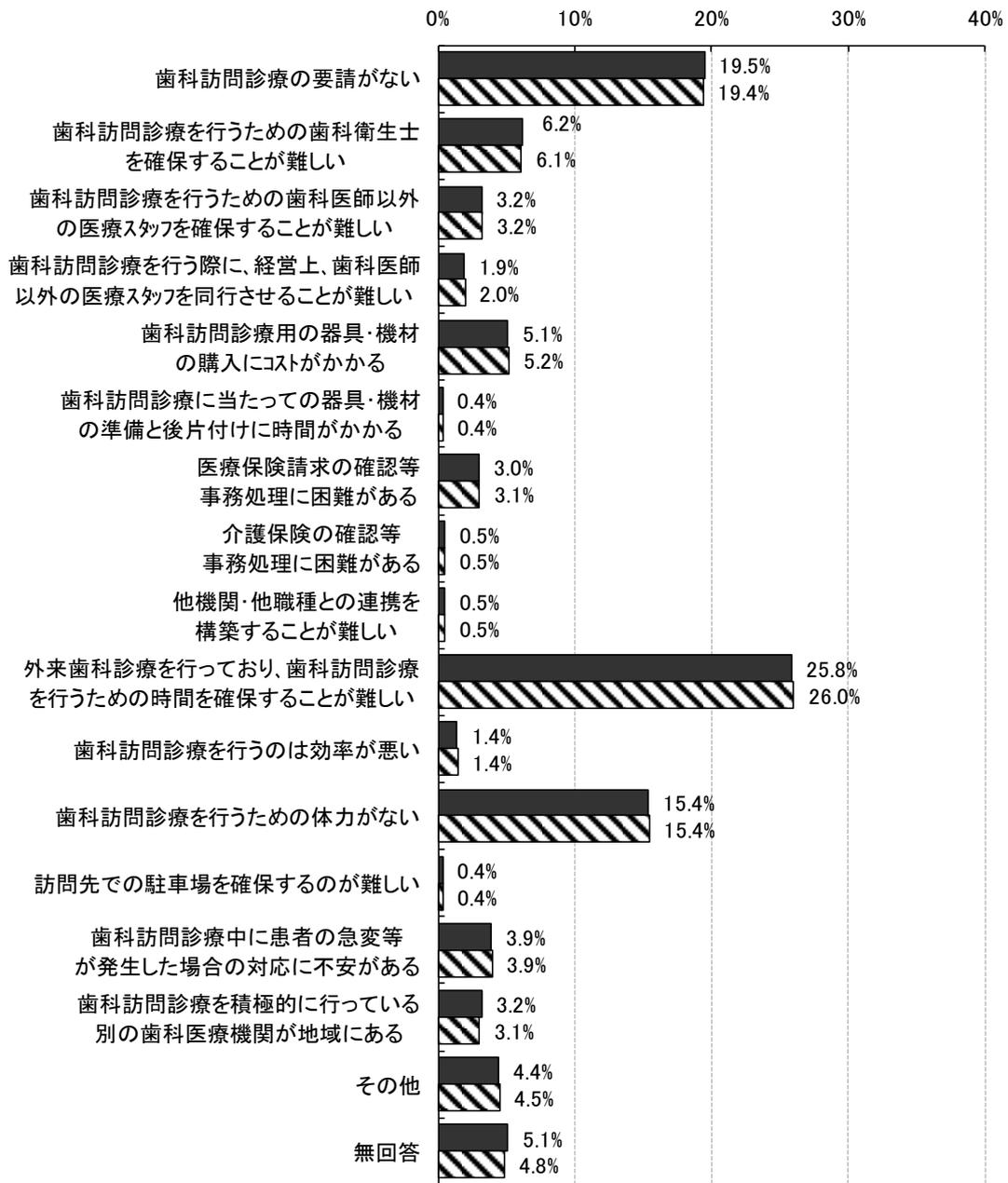
歯科訪問診療を実施していない最大の理由をみると、「外来歯科診療を行っており、歯科訪問診療を行うための時間を確保することが難しい」が25.8%で最も多く、次いで「歯科訪問診療の要請がない」(19.5%)、「歯科訪問診療を行うための体力がない」(15.4%)であった。

図表 138 歯科訪問診療を実施していない理由  
 (歯科訪問診療を実施していない施設、複数回答)



(注) 「その他」の内容として、「矯正歯科だから」(同旨含め 8 件)、「開業したてだから」(同旨含め 2 件)、「高齢のため」(同旨含め 2 件)、「運転免許がない」(同旨含め 2 件)、「小児歯科専門のため」、「体調が悪いため」、「要望があれば実施する」等が挙げられた。

図表 139 歯科訪問診療を実施していない最大の理由  
 (歯科訪問診療を実施していない施設、単数回答)

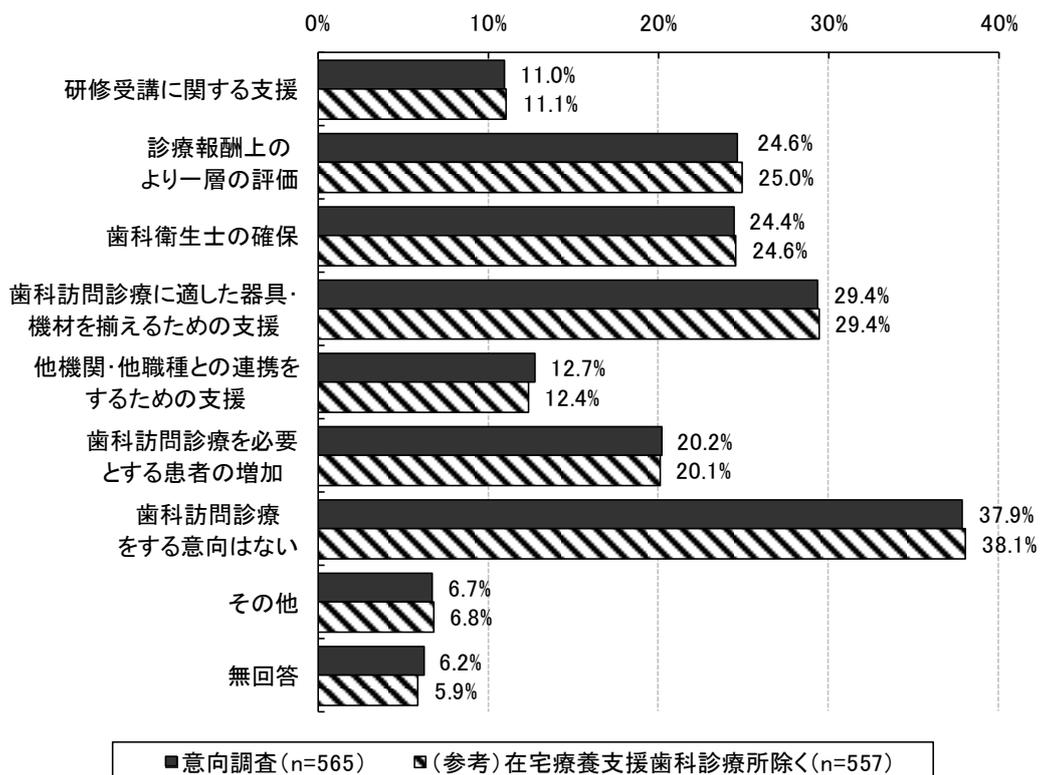


■ 意向調査 (n=565)    □ (参考) 在宅療養支援歯科診療所除く (n=557)

### ③ 歯科訪問診療を実施する上で望まれる支援等

歯科訪問診療を実施する上で望まれる支援等をみると、「歯科訪問診療に適した器具・機材を揃えるための支援」が 29.4%で最も多く、次いで「診療報酬上のより一層の評価」(24.6%)、「歯科衛生士の確保」(24.4%)、「歯科訪問診療を必要とする患者の増加」(20.2%)であった。また、「歯科訪問診療をする意向はない」が 37.9%であった。

図表 140 歯科訪問診療の実施する上で望まれる支援等  
(歯科訪問診療を実施していない施設、複数回答)



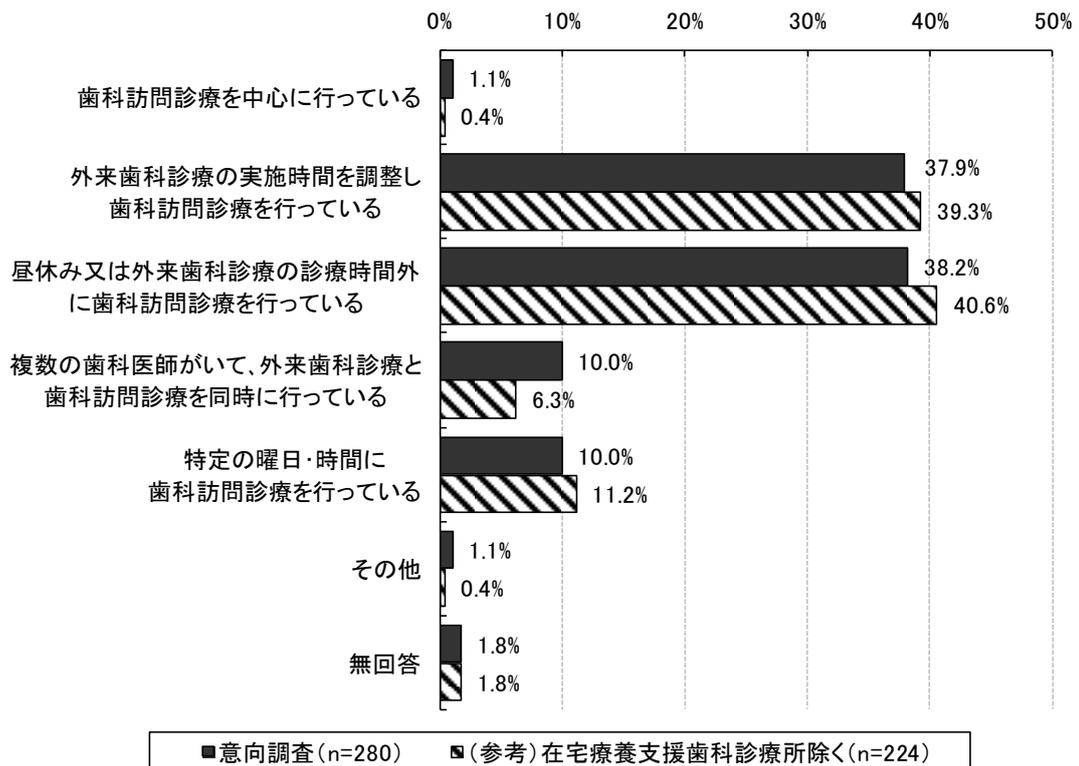
(注) 「その他」の内容として、「外来が減少し、時間がとれれば」(同旨含め 4 件)、「事務手続きの簡略化」(同旨含め 2 件)等が挙げられた。

#### (4) 歯科訪問診療の実施体制

##### ① 歯科訪問診療の実施体制

歯科訪問診療を実施している施設について歯科訪問診療の実施体制をみると、「昼休み又は外来歯科診療の診療時間外に歯科訪問診療を行っている」が38.2%で最も多く、次いで「外来歯科診療の実施時間を調整し歯科訪問診療を行っている」が37.9%であった。

図表 141 歯科訪問診療の実施体制（歯科訪問診療を実施している施設、単数回答）



(注) 「その他」の内容として、「要請のあった時」(同旨含め3件)、「休診日」(同旨含め2件)等が挙げられた。

## ②歯科訪問診療等を実施している職員数

歯科訪問診療等を実施している職員数をみると、「歯科医師」は常勤が平均 0.20 人（標準偏差 0.44、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.02 人（標準偏差 0.19、中央値 0.00）、「歯科衛生士」は常勤が平均 0.16 人（標準偏差 0.56、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.07 人（標準偏差 0.40、中央値 0.00）であった。「歯科技工士」、「管理栄養士・栄養士」、「言語聴覚士」の常勤・非常勤職員は平均値・中央値ともに 0.00 人であった。

図表 142 歯科訪問診療等を実施している職員数（平成 27 年 6 月、n=834）

（単位：人）

	常勤			非常勤		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	0.20	0.44	0.00	0.02	0.19	0.00
歯科衛生士	0.16	0.56	0.00	0.07	0.40	0.00
歯科技工士	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00
管理栄養士・栄養士	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
言語聴覚士	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00
その他	0.08	0.37	0.00	0.01	0.14	0.00
合計	0.44	1.11	0.00	0.11	0.54	0.00

（注）・「歯科訪問診療等」とは、歯科医師による歯科訪問診療の他、歯科衛生士の訪問による口腔衛生指導なども含む（以下、同様）。

・平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療等を実施した職員数であるため、当月に歯科訪問診療等の実績がない場合、ここでの職員数は「0」となる。

図表 143 歯科訪問診療等を実施している職員数  
（平成 27 年 6 月、在宅療養支援歯科診療所除く、n=770）

（単位：人）

	常勤			非常勤		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	0.16	0.39	0.00	0.01	0.09	0.00
歯科衛生士	0.10	0.45	0.00	0.04	0.32	0.00
歯科技工士	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00
管理栄養士・栄養士	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
言語聴覚士	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.07	0.34	0.00	0.01	0.13	0.00
合計	0.33	0.92	0.00	0.06	0.40	0.00

（注）・「歯科訪問診療等」とは、歯科医師による歯科訪問診療の他、歯科衛生士の訪問による口腔衛生指導なども含む（以下、同様）。

・平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療等を実施した職員数であるため、当月に歯科訪問診療等の実績がない場合、ここでの職員数は「0」となる。

歯科訪問診療等を実施している職員数について、職員数合計が「0」であった施設を除いた集計で見ると、「歯科医師」は常勤が平均 1.05 人（標準偏差 0.33、中央値 1.00）、非常勤が平均 0.13 人（標準偏差 0.42、中央値 0.00）で、「歯科衛生士」は常勤が平均 0.81 人（標準偏差 1.06、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.36 人（標準偏差 0.84、中央値 0.00）であった。「歯科技工士」は常勤が平均 0.01 人（標準偏差 0.08、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.00、中央値 0.00）で、「管理栄養士・栄養士」は常勤・非常勤ともに平均 0.00 人（標準偏差 0.00、中央値 0.00）、「言語聴覚士」は常勤が平均 0.00 人（標準偏差 0.00、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.01 人（標準偏差 0.08、中央値 0.00）であった。「その他」の職員は常勤が平均 0.40 人（標準偏差 0.77、中央値 0.00）、非常勤が平均 0.07 人（標準偏差 0.32、中央値 0.00）であった。歯科訪問診療等を実施している職員数の合計は常勤が平均 2.27 人（標準偏差 1.49、中央値 2.00）、非常勤が平均 0.57 人（標準偏差 1.13、中央値 0.00）であった。

図表 144 歯科訪問診療等を実施している職員数（「0」を除く、n=161）

（単位：人）

	常勤			非常勤		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.05	0.33	1.00	0.13	0.42	0.00
歯科衛生士	0.81	1.06	0.00	0.36	0.84	0.00
歯科技工士	0.01	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00
管理栄養士・栄養士	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
言語聴覚士	0.00	0.00	0.00	0.01	0.08	0.00
その他	0.40	0.77	0.00	0.07	0.32	0.00
合計	2.27	1.49	2.00	0.57	1.13	0.00

（注）「歯科訪問診療等」とは、歯科医師による歯科訪問診療の他、歯科衛生士の訪問による口腔衛生指導なども含む（以下、同様）。

・平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療等を実施した職員数合計が「0」であった施設を除いて集計した。

図表 145 歯科訪問診療等を実施している職員数  
(「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く、n=123)

(単位：人)

	常勤			非常勤		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	1.02	0.25	1.00	0.06	0.22	0.00
歯科衛生士	0.63	0.97	0.00	0.25	0.77	0.00
歯科技工士	0.01	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00
管理栄養士・栄養士	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
言語聴覚士	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.41	0.76	0.00	0.07	0.32	0.00
合計	2.07	1.31	2.00	0.38	0.93	0.00

(注)・「歯科訪問診療等」とは、歯科医師による歯科訪問診療の他、歯科衛生士の訪問による口腔衛生指導なども含む(以下、同様)。  
・平成27年6月1か月間に歯科訪問診療等を実施した職員数合計が「0」であった施設を除いて集計した。

### ③1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数(延べ人数)

1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数(延べ人数)をみると、平成25年6月は平均4.4人(標準偏差25.6、中央値0.0)で、平成27年6月が平均5.3人(標準偏差30.0、中央値0.0)であった。

図表 146 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数(延べ人数)

(単位：人)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
平成25年6月	739	4.4	25.6	0.0
平成27年6月	823	5.3	30.0	0.0

(注) 歯科訪問診療等の患者総数について回答のあった施設を集計対象とした。

図表 147 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数(延べ人数、在宅療養支援歯科診療所除く)

(単位：人)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
平成25年6月	682	2.5	18.4	0.0
平成27年6月	764	2.9	19.7	0.0

(注) 歯科訪問診療等の患者総数について回答のあった施設を集計対象とした。

平成 25 年 6 月、平成 27 年 6 月ともに回答のあった 738 施設について 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）をみると、平成 25 年 6 月は平均 4.4 人（標準偏差 25.7、中央値 0.0）で、平成 27 年 6 月は平均 5.5 人（標準偏差 31.4、中央値 0.0）で患者総数は増加した。

図表 148 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
平成 25 年 6 月	738	4.4	25.7	0.0
平成 27 年 6 月	738	5.5	31.4	0.0

（注）歯科訪問診療等の患者総数について平成 25 年 6 月と平成 27 年 6 月ともに回答のあった施設を集計対象とした。

図表 149 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数、在宅療養支援歯科診療所除く）

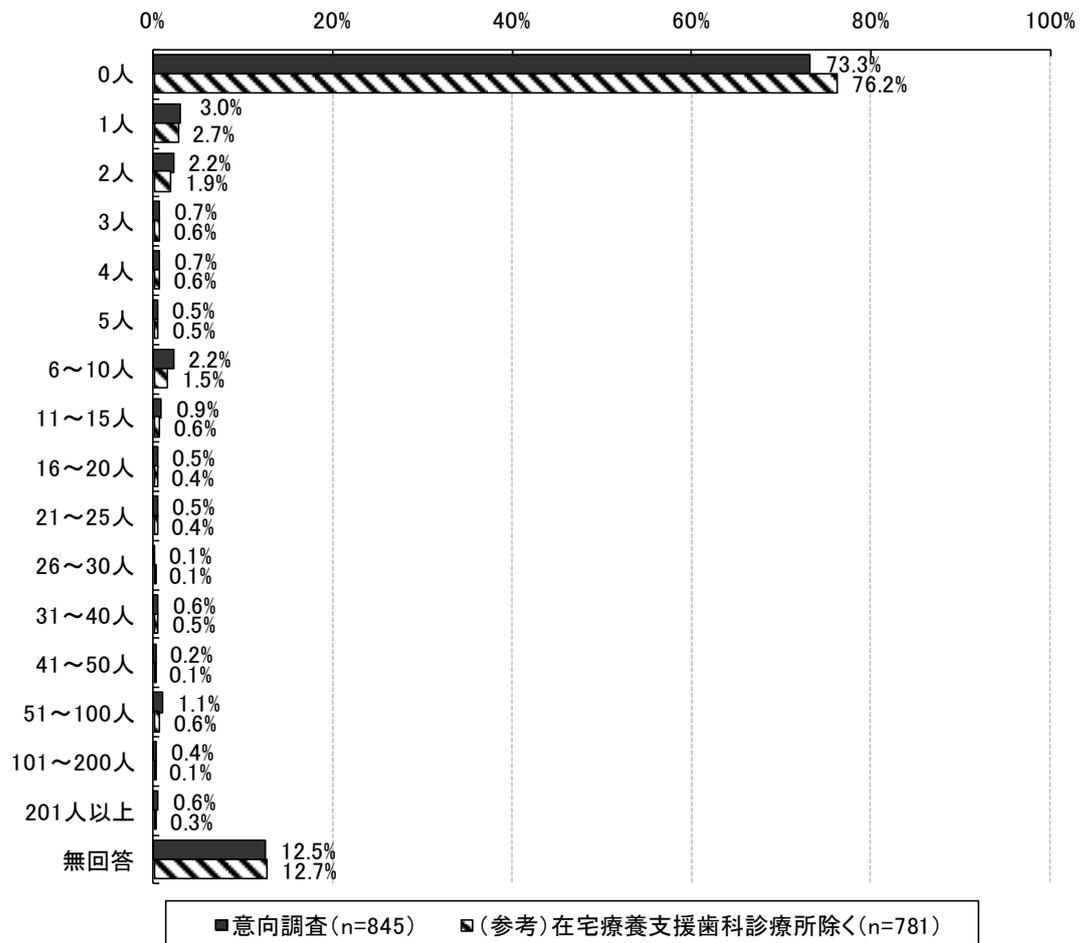
（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
平成 25 年 6 月	681	2.5	18.4	0.0
平成 27 年 6 月	681	2.8	20.4	0.0

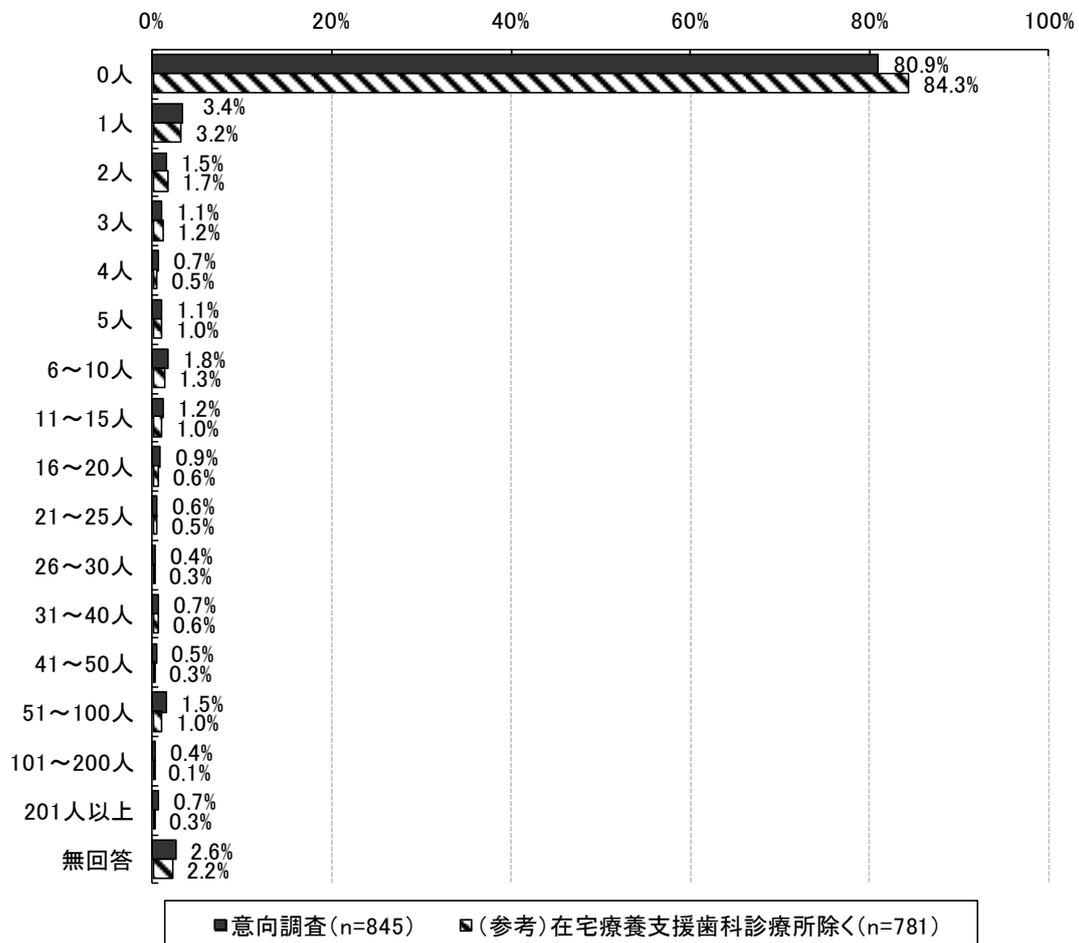
（注）歯科訪問診療等の患者総数について平成 25 年 6 月と平成 27 年 6 月ともに回答のあった施設を集計対象とした。

1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）階級別施設分布をみると、平成 27 年 6 月は「0 人」が 80.9%で最も多く、次いで「1 人」（3.4%）、「6～10 人」（1.8%）であった。

図表 150 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）階級別施設分布  
（平成 25 年 6 月）



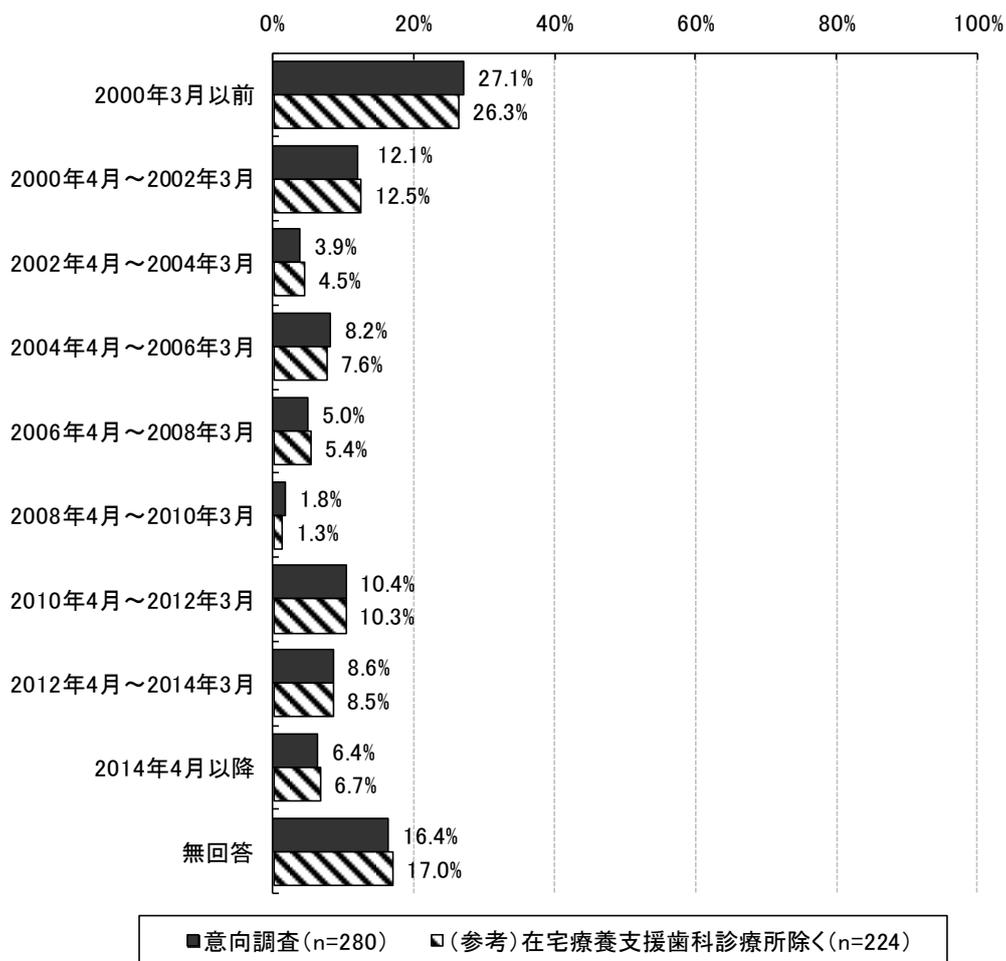
図表 151 1 か月間の歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数）階級別施設分布  
 （平成 27 年 6 月）



#### ④ 歯科訪問診療の開始時期

歯科訪問診療の開始時期をみると、「2000年3月以前」が27.1%で最も多く、次いで「2000年4月～2002年3月」が12.1%、「2010年4月～2012年3月」が10.4%、「2012年4月～2014年3月」が8.6%、「2004年4月～2006年3月」が8.2%であった。

図表 152 歯科訪問診療の開始時期（歯科訪問診療等を実施している施設）



⑤歯科訪問診療等を行った延べ日数（平成27年6月1か月間）

1) 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数

歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数をみると、平均4.4日（標準偏差8.3、中央値1.0）であった。

図表 153 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、n=277）

（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
4.4	8.3	1.0

（注）歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数について回答のあった277施設を集計対象とした。

図表 154 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、在宅療養支援歯科診療所除く、n=222）

（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
3.4	6.9	1.0

（注）歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数について回答のあった222施設を集計対象とした。

平成27年6月1か月間に歯科訪問診療等の実績があった施設における、歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数をみると、平均7.9日（標準偏差9.8、中央値4.0）であった。

図表 155 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、n=154）

（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
7.9	9.8	4.0

（注）平成27年6月1か月間に歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数が「0」日であった施設を除いて集計した。

図表 156 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く、n=118）

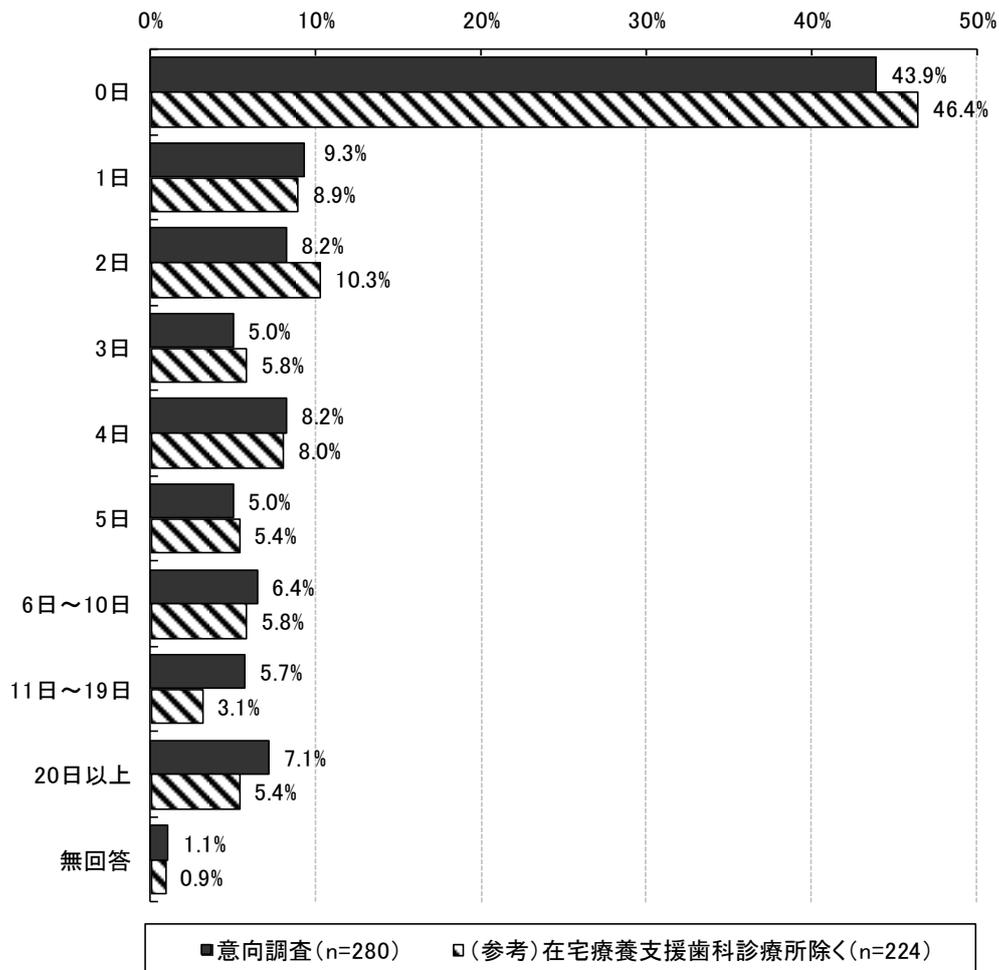
（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
6.4	8.3	4.0

（注）平成27年6月1か月間に歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数が「0」日であった施設を除いて集計した。

歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数階級別施設分布をみると、「0日」が43.9%で最も多く、次いで「1日」(9.3%)、「2日」、「4日」(いずれも8.2%)、「20日以上」(7.1%)であった。

図表 157 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数階級別施設分布  
(歯科訪問診療等を実施している施設)



## 2) 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数

歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数は、平均 2.1 日（標準偏差 6.9、中央値 0.0）であった。

図表 158 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、n=275）

（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
2.1	6.9	0.0

（注）歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数について回答のあった 275 施設を集計対象とした。

図表 159 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、在宅療養支援歯科診療所除く、n=220）

（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
1.1	4.9	0.0

（注）歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数について回答のあった 220 施設を集計対象とした。

平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師による居宅療養管理指導の実績があった施設における、歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数は、平均 9.6 日（標準偏差 12.3、中央値 4.0）であった。

図表 160 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、n=60）

（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
9.6	12.3	4.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数が「0」日であった施設を除いて集計した。

図表 161 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く、n=32）

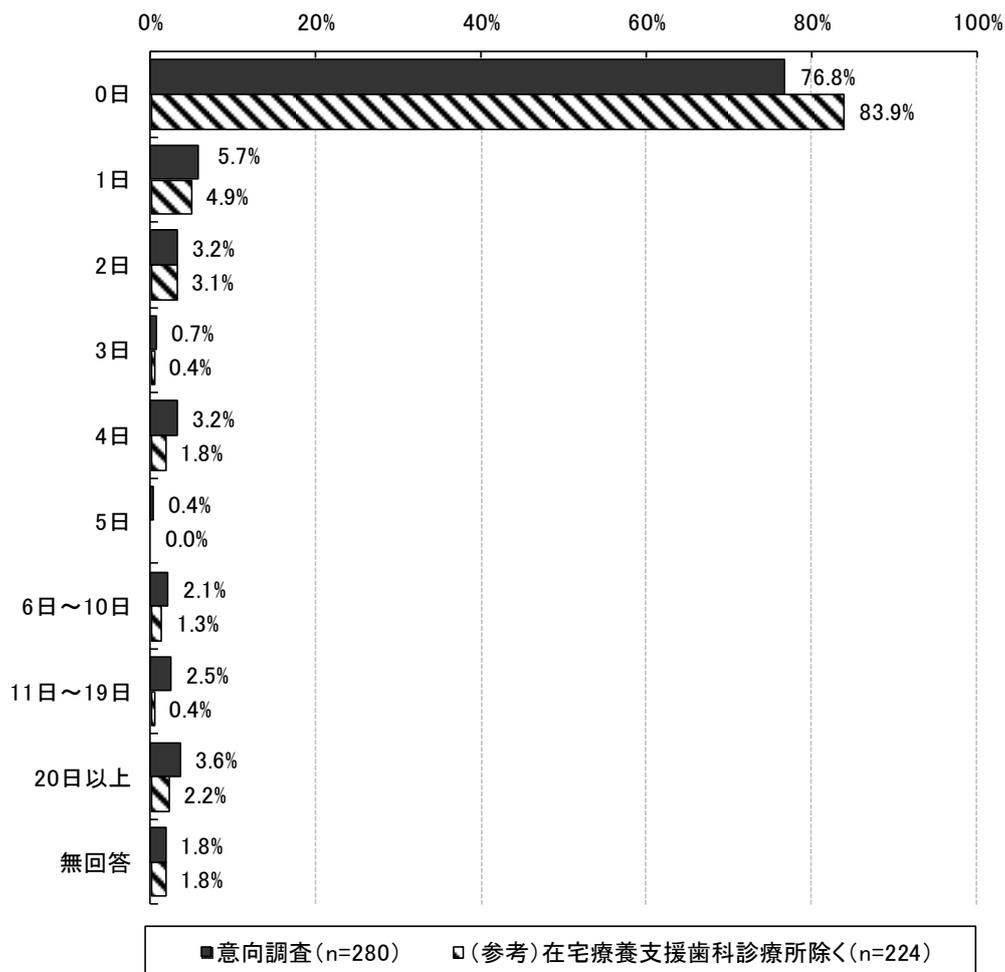
（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
7.3	10.9	2.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数が「0」日であった施設を除いて集計した。

歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数階級別施設分布をみると、「0日」が76.8%で最も多く、次いで「1日」(5.7%)、「20日以上」(3.6%)、「2日」、「4日」(いずれも3.2%)であった。

図表 162 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数階級別施設分布  
(歯科訪問診療等を実施している施設)



3) 歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数

歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数は、平均1.2日（標準偏差7.8、中央値0.0）であった。

図表 163 歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、n=251）

（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
1.2	7.8	0.0

（注）歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数について回答のあった251施設を集計対象とした。

図表 164 歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、在宅療養支援歯科診療所除く、n=209）

（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
0.9	7.4	0.0

（注）歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数について回答のあった209施設を集計対象とした。

平成27年6月1か月間に歯科衛生士による訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）の実績があった施設における、歯科衛生士が訪問歯科衛生指導を行った延べ日数は、平均10.1日（標準偏差20.7、中央値4.0）であった。

図表 165 歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、n=30）

（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
10.1	20.7	4.0

（注）平成27年6月1か月間に歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数が「0」日であった施設を除いて集計した。

図表 166 歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数  
（歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く、n=20）

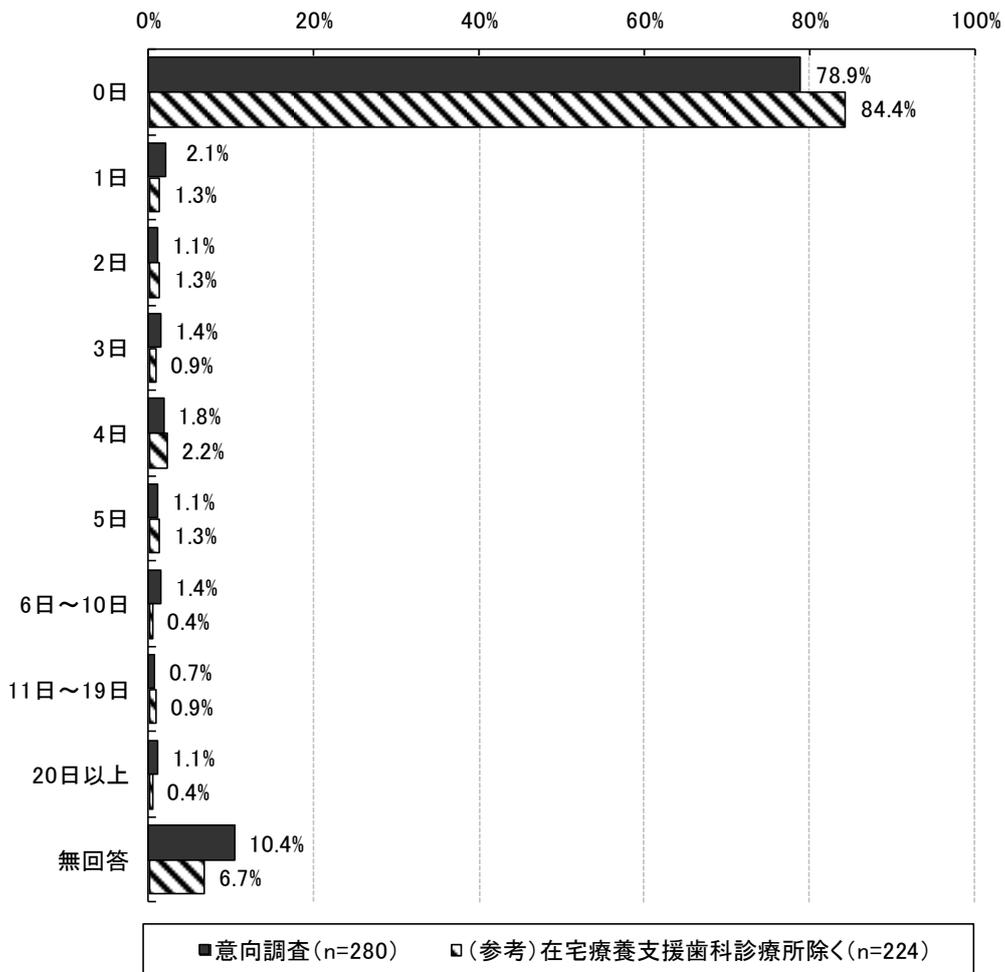
（単位：日）

平均値	標準偏差	中央値
9.6	22.8	4.0

（注）平成27年6月1か月間に歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数が「0」日であった施設を除いて集計した。

歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数階級別施設分布をみると、「0日」が78.9%で最も多く、次いで「1日」（2.1%）、「4日」（1.8%）であった。

図表 167 歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を行った延べ日数階級別施設分布（歯科訪問診療等を実施している施設）



⑥ 歯科訪問診療等の実績（平成 27 年 6 月 1 か月間）

1) 歯科訪問診療の実績

平成 27 年 6 月 1 か月間の歯科訪問診療の実績をみると、「歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物の数」は平均 2.0 か所（標準偏差 7.1、中央値 1.0）、「歯科訪問診療で歯科医師が訪問した 1 か月の訪問回数合計」は平均 6.2 回（標準偏差 22.7、中央値 1.0）、「歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数」は平均 6.8 人（標準偏差 26.1、中央値 1.0）、「歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ患者数」は平均 14.4 人（標準偏差 55.7、中央値 1.0）であった。

図表 168 歯科訪問診療の実績

（平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療の実績があった施設、n=254）

	平均値	標準偏差	中央値
a) 歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物の数(か所)	2.0	7.1	1.0
b) 歯科訪問診療で歯科医師が訪問した 1 か月の訪問回数合計(回)	6.2	22.7	1.0
c) 歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数(人)	6.8	26.1	1.0
d) 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ患者数(人)	14.4	55.7	1.0

（注）全ての項目について回答のあった 254 施設を集計対象とした。

図表 169 歯科訪問診療の実績

（平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科訪問診療の実績があった施設、在宅療養支援歯科診療所除く、n=211）

	平均値	標準偏差	中央値
a) 歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物の数(か所)	1.2	2.4	1.0
b) 歯科訪問診療で歯科医師が訪問した 1 か月の訪問回数合計(回)	3.4	9.1	1.0
c) 歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数(人)	3.3	7.3	1.0
d) 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ患者数(人)	7.6	26.2	1.0

（注）全ての項目について回答のあった 211 施設を集計対象とした。

2) 歯科医師による居宅療養管理指導の実績

平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数は、平均 3.4 人（標準偏差 20.9、中央値 0.0）であった。

歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数が「0」人であった施設を除いた場合についてみると、延べ患者数は平均 19.8 人（標準偏差 47.8、中央値 3.0）であった。

図表 170 歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数  
(歯科訪問診療等を実施している施設、n=254)

(単位：人)

平均値	標準偏差	中央値
3.4	20.9	0.0

(注) 歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数について回答のあった 254 施設を集計対象とした。

図表 171 歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数  
(歯科訪問診療等を実施している施設、在宅療養支援歯科診療所除く、n=211)

(単位：人)

平均値	標準偏差	中央値
0.8	4.5	0.0

(注) 歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数について回答のあった 211 施設を集計対象とした。

図表 172 歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数  
(歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、n=43)

(単位：人)

平均値	標準偏差	中央値
19.8	47.8	3.0

(注) 平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数が「0」人であった施設を除いて集計した。

図表 173 歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数  
(歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く、n=25)

(単位：人)

平均値	標準偏差	中央値
7.2	11.4	2.0

(注) 平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師による居宅療養管理指導を行った延べ患者数が「0」人であった施設を除いて集計した。

### 3) 歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数

平成 27 年 6 月 1 か月間に、歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数は、平均 0.3 人（標準偏差 1.3、中央値 0.0）であった。

歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数が「0」人であった施設を除いた場合についてみると、延べ患者数は平均 3.8 人（標準偏差 3.4、中央値 3.0）であった。

図表 174 歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数（歯科訪問診療等を実施している施設、n=254）

（単位：人）

平均値	標準偏差	中央値
0.3	1.3	0.0

（注）歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数について回答のあった 254 施設を集計対象とした。

図表 175 歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数（歯科訪問診療等を実施している施設、在宅療養支援歯科診療所除く、n=211）

（単位：人）

平均値	標準偏差	中央値
0.2	1.2	0.0

（注）歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数について回答のあった 211 施設を集計対象とした。

図表 176 歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数（歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、n=17）

（単位：人）

平均値	標準偏差	中央値
3.8	3.4	3.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数が「0」人であった施設を除いて集計した。

図表 177 歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数（歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く、n=12）

（単位：人）

平均値	標準偏差	中央値
3.8	3.3	2.5

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間に歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数が「0」人であった施設を除いて集計した。

#### 4) 訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数

平成 27 年 6 月 1 か月間に訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数は、平均 0.2 人（標準偏差 1.7、中央値 0.0）であった。

訪問により「摂食機能療法」を算定した延べ患者数が「0」人であった施設を除いた場合についてみると、延べ患者数は平均 5.9 人（標準偏差 6.6、中央値 3.0）であった。

図表 178 訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数  
 (歯科訪問診療等を実施している施設、n=254)

(単位：人)

平均値	標準偏差	中央値
0.2	1.7	0.0

(注) 訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数について回答のあった 254 施設を集計対象とした。

図表 179 訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数  
 (歯科訪問診療等を実施している施設、在宅療養支援歯科診療所除く、n=211)

(単位：人)

平均値	標準偏差	中央値
0.1	0.6	0.0

(注) 訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数について回答のあった 211 施設を集計対象とした。

図表 180 訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数  
 (歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、n=10)

(単位：人)

平均値	標準偏差	中央値
5.9	6.6	3.0

(注) 平成 27 年 6 月 1 か月間に訪問により「摂食機能療法」を算定した延べ患者数が「0」人であった施設を除いて集計した。

図表 181 訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数  
 (歯科訪問診療等を実施している施設、「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く、n=6)

(単位：人)

平均値	標準偏差	中央値
3.0	2.2	2.0

(注) 平成 27 年 6 月 1 か月間に訪問により「摂食機能療法」を算定した延べ患者数が「0」人であった施設を除いて集計した。

⑦1 か月間の算定回数（平成 27 年 6 月 1 か月間）

1) 歯科訪問診療等の算定回数

平成 27 年 6 月 1 か月間の歯科訪問診療等の算定回数をみると、「歯科訪問診療 1」は平均 3.9 回（標準偏差 12.7、中央値 0.0）、「歯科訪問診療 2」は平均 5.2 回（標準偏差 25.4、中央値 0.0）、「歯科訪問診療 3」は平均 3.4 回（標準偏差 27.1、中央値 0.0）であった。「在宅かかりつけ歯科診療所加算」は平均 0.2 回（標準偏差 1.5、中央値 0.0）、「歯科訪問診療補助加算」は平均 3.4 回（標準偏差 24.1、中央値 0.0）であった。

各項目について「0」回という回答を除いた場合についてみると、「歯科訪問診療 1」は平均 13.0 回（標準偏差 31.4、中央値 4.0）、「歯科訪問診療 2」は平均 31.7 回（標準偏差 54.5、中央値 9.0）、「歯科訪問診療 3」は平均 44.0 回（標準偏差 98.1、中央値 10.0）、「在宅かかりつけ歯科診療所加算」は平均 6.4 回（標準偏差 5.9、中央値 4.0）、「歯科訪問診療補助加算」は平均 37.5 回（標準偏差 74.1、中央値 8.0）であった。

図表 182 歯科訪問診療等の算定回数（n=251）

（単位：回）

	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療1	3.9	12.7	0.0
歯科訪問診療2	5.2	25.4	0.0
同居する同一世帯の複数患者に対する歯科訪問診療の算定回数	2.8	20.4	0.0
歯科訪問診療3	3.4	27.1	0.0
a) 20 分未満の歯科訪問診療の算定回数	3.3	26.2	0.0
b) 同一建物で 10 人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数	0.9	7.2	0.0
c) 20 分未満かつ同一建物で 10 人以上の歯科訪問診療の算定回数	0.8	6.5	0.0
在宅かかりつけ歯科診療所加算	0.2	1.5	0.0
歯科訪問診療補助加算	3.4	24.1	0.0

（注）全ての項目について回答のあった 251 施設を集計対象とした。

図表 183 歯科訪問診療等の算定回数（在宅療養支援歯科診療所除く、n=207）

（単位：回）

	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療1	3.0	10.9	0.0
歯科訪問診療2	2.4	11.3	0.0
同居する同一世帯の複数患者に対する歯科訪問診療の算定回数	0.8	4.9	0.0
歯科訪問診療3	1.9	9.2	0.0
a) 20分未満の歯科訪問診療の算定回数	1.7	9.1	0.0
b) 同一建物で10人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数	0.7	5.7	0.0
c) 20分未満かつ同一建物で10人以上の歯科訪問診療の算定回数	0.6	5.5	0.0
在宅かかりつけ歯科診療所加算	0.1	0.7	0.0
歯科訪問診療補助加算	0.4	2.2	0.0

（注）全ての項目について回答のあった207施設を集計対象とした。

図表 184 歯科訪問診療等の算定回数（「0」を除く）

（単位：回）

	施設数 (件)	平均値	標準 偏差	中央値
歯科訪問診療1	121	13.0	31.4	4.0
歯科訪問診療2	46	31.7	54.5	9.0
同居する同一世帯の複数患者に対する歯科訪問診療の算定回数	—	15.7	45.9	1.5
歯科訪問診療3	32	44.0	98.1	10.0
a) 20分未満の歯科訪問診療の算定回数	—	42.8	96.6	9.0
b) 同一建物で10人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数	—	10.5	22.7	0.0
c) 20分未満かつ同一建物で10人以上の歯科訪問診療の算定回数	—	9.2	21.4	0.0
在宅かかりつけ歯科診療所加算	9	6.4	5.9	4.0
歯科訪問診療補助加算	32	37.5	74.1	8.0

（注）・各項目について「0」回という回答を除いて集計とした。ただし、歯科訪問診療2と歯科訪問診療3の内数については0も含めて計算した。

・歯科訪問診療3の内数であるc)の算定回数はa)、b)の算定回数と重複している（歯科訪問診療3 = a) + b) - c) となる）。

図表 185 歯科訪問診療等の算定回数（「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く）

（単位：回）

	施設数 (件)	平均値	標準偏 差	中央値
歯科訪問診療1	91	9.5	22.6	3.0
歯科訪問診療2	34	17.3	28.5	7.5
同居する同一世帯の複数患者に対する歯科訪問診療の算定回数	—	5.1	11.5	1.0
歯科訪問診療3	24	16.0	22.9	6.5
a)20分未満の歯科訪問診療の算定回数	—	15.0	23.1	5.5
b)同一建物で10人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数	—	6.3	15.9	0.0
c)20分未満かつ同一建物で10人以上の歯科訪問診療の算定回数	—	5.3	15.7	0.0
在宅かかりつけ歯科診療所加算	5	4.2	1.5	4.0
歯科訪問診療補助加算	10	7.6	7.2	4.5

（注）・各項目について「0」回という回答を除いて集計とした。ただし、歯科訪問診療2と歯科訪問診療3の内数については0も含めて計算した。

・歯科訪問診療3の内数であるc)の算定回数はa)、b)の算定回数と重複している（歯科訪問診療3 = a) + b) - c)となる）。

図表 186 歯科訪問診療2の算定回数（「0」を除く）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療2	52	33.2	53.1	10.5
同居する同一世帯の複数患者に対する歯科訪問診療の算定回数	29	24.9	56.1	6.0

（注）各項目について「0」回という施設を除いて集計した。

図表 187 歯科訪問診療2の算定回数（「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療2	35	16.9	28.1	7.0
同居する同一世帯の複数患者に対する歯科訪問診療の算定回数	21	8.2	13.8	3.0

（注）各項目について「0」回という施設を除いて集計した。

図表 188 歯科訪問診療3の算定回数（「0」を除く）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療3	36	49.8	96.9	11.5
a) 20分未満の歯科訪問診療の算定回数	30	45.6	99.2	10.0
b) 同一建物で10人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数	12	27.9	30.4	16.0
c) 20分未満かつ同一建物で10人以上の歯科訪問診療の算定回数	10	29.5	30.1	18.0

(注)・各項目について「0」回という施設を除いて集計した。

・歯科訪問診療3の内数であるc)の算定回数はa)、b)の算定回数と重複している（歯科訪問診療3 = a) + b) - c)となる）。

図表 189 歯科訪問診療3の算定回数（「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
歯科訪問診療3	27	21.0	30.3	7.0
a) 20分未満の歯科訪問診療の算定回数	22	16.4	23.7	6.5
b) 同一建物で10人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数	7	21.6	24.3	12.0
c) 20分未満かつ同一建物で10人以上の歯科訪問診療の算定回数	5	25.2	28.1	10.0

(注)・各項目について「0」回という施設を除いて集計した。

・歯科訪問診療3の内数であるc)の算定回数はa)、b)の算定回数と重複している（歯科訪問診療3 = a) + b) - c)となる）。

## 2) 訪問歯科衛生指導料の算定回数

平成27年6月1か月間の訪問歯科衛生指導料の算定回数をみると、「訪問歯科衛生指導料1複雑なもの」は平均5.0回（標準偏差22.8、中央値0.0）で、「訪問歯科衛生指導料2簡単なもの」は平均2.0回（標準偏差17.1、中央値0.0）であった。

各項目について「0」回という施設を除いた場合についてみると、「訪問歯科衛生指導料1複雑なもの」は平均40.7回（標準偏差53.6、中央値13.5）、「訪問歯科衛生指導料2簡単なもの」は平均28.1回（標準偏差58.7、中央値15.0）であった。

図表 190 訪問歯科衛生指導料の算定回数（n=261）

（単位：回）

	平均値	標準偏差	中央値
訪問歯科衛生指導料1複雑なもの	5.0	22.8	0.0
訪問歯科衛生指導料2簡単なもの	2.0	17.1	0.0

(注) 全ての項目について回答のあった261施設を集計対象とした。

図表 191 訪問歯科衛生指導料の算定回数（在宅療養支援歯科診療所除く、n=211）

（単位：回）

	平均値	標準偏差	中央値
訪問歯科衛生指導料 1 複雑なもの	1.1	5.6	0.0
訪問歯科衛生指導料 2 簡単なもの	0.7	3.9	0.0

（注）全ての項目について回答のあった 211 施設を集計対象とした。

図表 192 訪問歯科衛生指導料の算定回数（「0」を除く）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
訪問歯科衛生指導料 1 複雑なもの	32	40.7	53.6	13.5
訪問歯科衛生指導料 2 簡単なもの	19	28.1	58.7	15.0

（注）各項目について「0」回という施設を除いて集計した。

図表 193 訪問歯科衛生指導料の算定回数（「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
訪問歯科衛生指導料 1 複雑なもの	17	14.2	14.4	8.0
訪問歯科衛生指導料 2 簡単なもの	11	12.6	12.1	15.0

（注）各項目について「0」回という施設を除いて集計した。

### 3) 居宅療養管理指導費（歯科医師）の算定回数

平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費（歯科医師）の算定回数は、平均 5.6 回（標準偏差 30.0、中央値 0.0）であった。

算定回数が「0」回という施設を除いた場合についてみると、平均 27.0 回（標準偏差 61.9、中央値 4.5）であった。

図表 194 居宅療養管理指導費（歯科医師）の算定回数（n=261）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
5.6	30.0	0.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費（歯科医師）について回答のあった 261 施設を集計対象とした。

図表 195 居宅療養管理指導費(歯科医師)の算定回数(在宅療養支援歯科診療所除く、n=211)

(単位：回)

平均値	標準偏差	中央値
1.8	9.5	0.0

(注) 平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費(歯科医師)について回答のあった 211 施設を集計対象とした。

図表 196 居宅療養管理指導費(歯科医師)の算定回数(「0」を除く、n=54)

(単位：回)

平均値	標準偏差	中央値
27.0	61.9	4.5

(注) 平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費(歯科医師)が「0」回という施設を除いて集計した。

図表 197 居宅療養管理指導費(歯科医師)の算定回数

(「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く、n=31)

(単位：回)

平均値	標準偏差	中央値
12.4	22.2	4.0

(注) 平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費(歯科医師)が「0」回という施設を除いて集計した。

#### 4) 居宅療養管理指導費(歯科衛生士)の算定回数

平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費(歯科衛生士)の算定回数は、平均 3.6 回(標準偏差 20.8、中央値 0.0)であった。

算定回数が「0」回という施設を除いた場合についてみると、平均 34.7 回(標準偏差 56.6、中央値 15.0)であった。

図表 198 居宅療養管理指導費(歯科衛生士)の算定回数(n=261)

(単位：回)

平均値	標準偏差	中央値
3.6	20.8	0.0

(注) 平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費(歯科衛生士)について回答のあった 261 施設を集計対象とした。

図表 199 居宅療養管理指導費（歯科衛生士）の算定回数  
（在宅療養支援歯科診療所除く、n=211）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
1.0	6.1	0.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費（歯科衛生士）について回答のあった 211 施設を集計対象とした。

図表 200 居宅療養管理指導費（歯科衛生士）の算定回数（「0」を除く、n=27）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
34.7	56.6	15.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費（歯科衛生士）が「0」回という施設を除いて集計した。

図表 201 居宅療養管理指導費（歯科衛生士）の算定回数  
（「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く、n=12）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
17.3	20.2	9.5

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の居宅療養管理指導費（歯科衛生士）が「0」回という施設を除いて集計した。

#### 5) 周術期口腔機能管理料（I）の算定回数

平成 27 年 6 月 1 か月間の周術期口腔機能管理料（I）（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数は、平均 0.02 回（標準偏差 0.20、中央値 0.00）であった。

算定回数が「0」回という施設を除いた場合についてみると、算定回数は平均 2.0 回（標準偏差 1.4、中央値 2.0）であった。

図表 202 周術期口腔機能管理料（I）（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数  
（n=261）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
0.02	0.20	0.00

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の周術期口腔機能管理料（I）について回答のあった 261 施設を集計対象とした。

図表 203 周術期口腔機能管理料（Ⅰ）（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数  
（在宅療養支援歯科診療所除く、n=211）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
0.01	0.21	0.00

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の周術期口腔機能管理料（Ⅰ）について回答のあった 211 施設を集計対象とした。

図表 204 周術期口腔機能管理料（Ⅰ）（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数  
（「0」を除く、n=2）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
2.0	1.4	2.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の周術期口腔機能管理料（Ⅰ）が「0」回という施設を除いて集計した。

図表 205 周術期口腔機能管理料（Ⅰ）（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数  
（「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く、n=1）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
3.0	-	3.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の周術期口腔機能管理料（Ⅰ）が「0」回という施設を除いて集計した。

#### 6) 摂食機能療法の算定回数

平成 27 年 6 月 1 か月間の摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数は、平均 0.5 回（標準偏差 6.1、中央値 0.0）であった。

算定回数が「0」回という施設を除いた場合についてみると、算定回数は平均 19.0 回（標準偏差 34.5、中央値 4.0）であった。

図表 206 摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数（n=261）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
0.5	6.1	0.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）について回答のあった 261 施設を集計対象とした。

図表 207 摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数  
（在宅療養支援歯科診療所除く、n=211）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
0.1	0.8	0.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）について回答のあった 211 施設を集計対象とした。

図表 208 摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数（「0」を除く、n=7）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
19.0	34.5	4.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）が「0」回という施設を除いて集計した。

図表 209 摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）の算定回数  
（「0」を除く、在宅療養支援歯科診療所除く、n=3）

（単位：回）

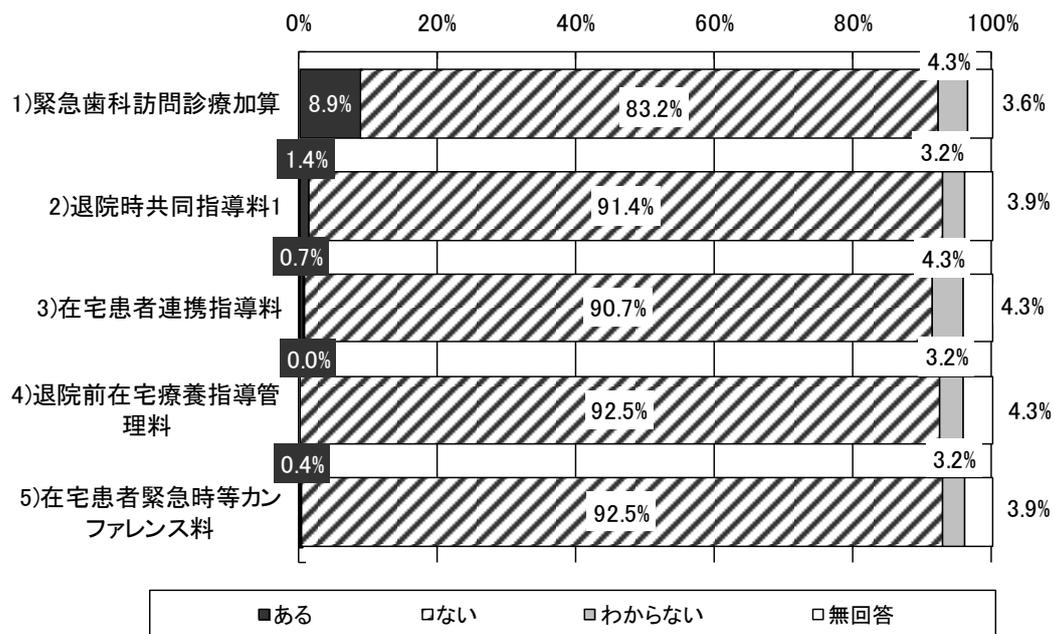
平均値	標準偏差	中央値
5.3	4.2	4.0

（注）平成 27 年 6 月 1 か月間の摂食機能療法（歯科訪問診療で実施したもの）が「0」回という施設を除いて集計した。

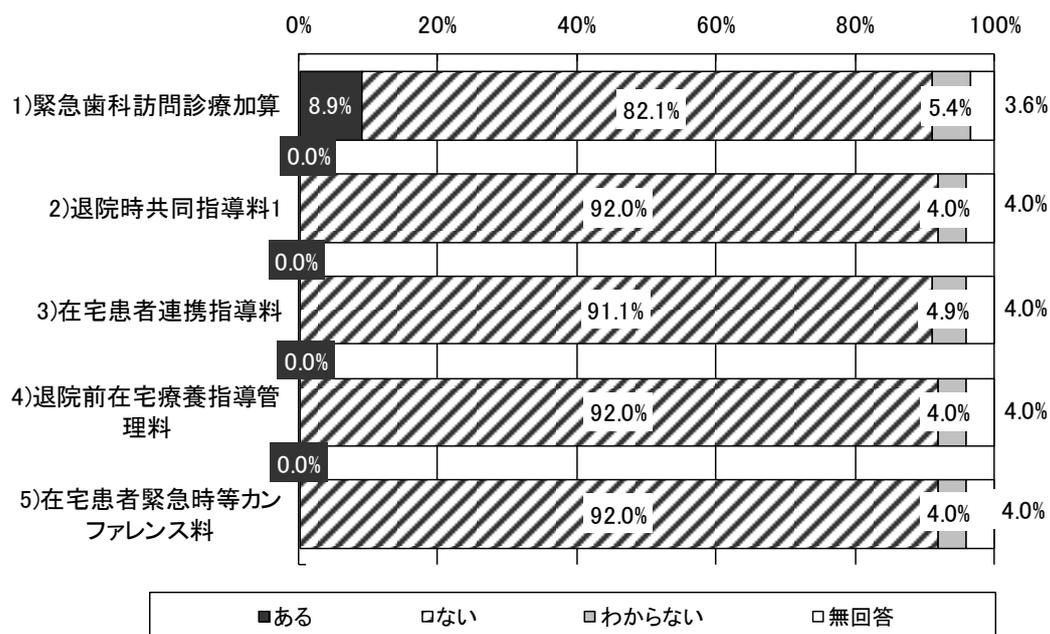
### ⑧各診療報酬項目の算定状況等

各診療報酬項目の算定状況等をみると、「緊急歯科訪問診療加算」を除くすべての項目で「ない」が9割以上を占め、「退院前在宅療養指導管理料」および「在宅患者緊急時カンファレンス料」は92.5%、「退院時共同指導料1」は91.4%、「在宅患者連携指導料」は90.7%であった。「緊急歯科訪問診療加算」では「ある」が8.9%、「ない」が83.2%であった。

図表 210 各診療報酬項目の算定状況 (n=280)

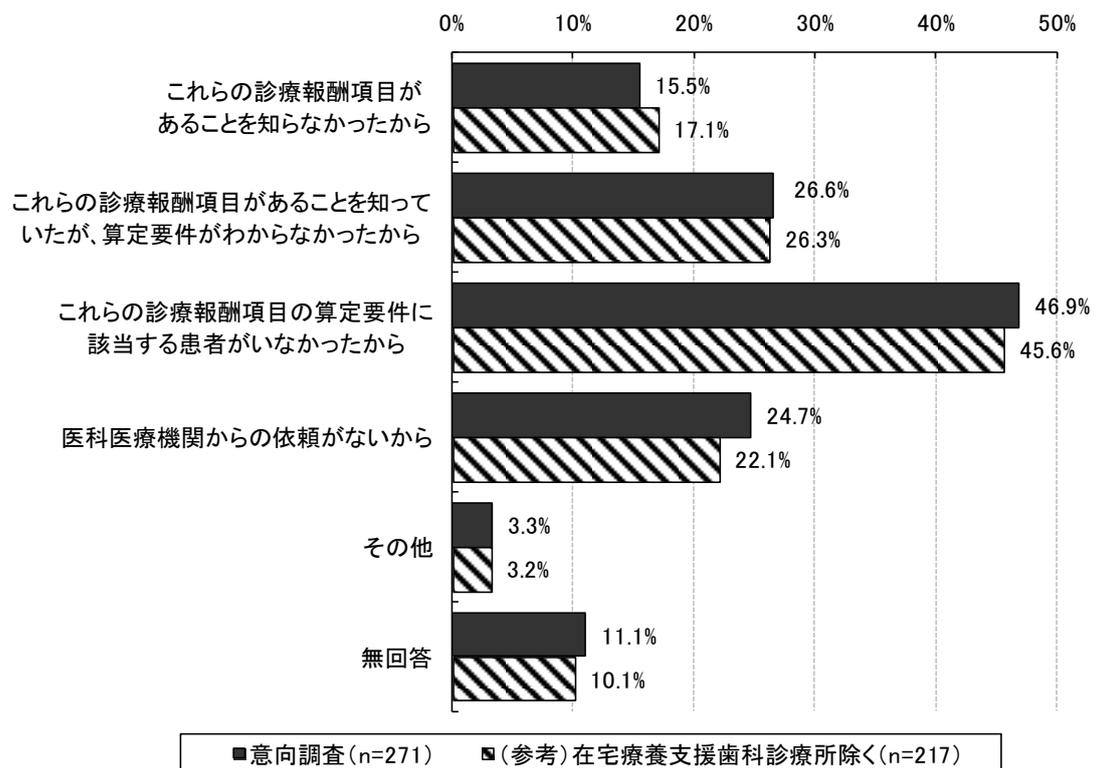


図表 211 各診療報酬項目の算定状況 (在宅療養支援歯科診療所除く、n=224)



各診療報酬項目の算定実績がない理由をみると、「これらの診療報酬項目の算定要件に該当する患者がいなかったから」が46.9%で最も多く、次いで「これらの診療報酬項目があることを知っていたが、算定要件がわからなかったから」(26.6%)、「医科医療機関からの依頼がないから」(24.7%)、「これらの診療報酬項目があることを知らなかったから」(15.5%)であった。

図表 212 各診療報酬項目の算定実績がない理由  
(1つでも算定が「ない」「わからない」と回答があった施設、複数回答)

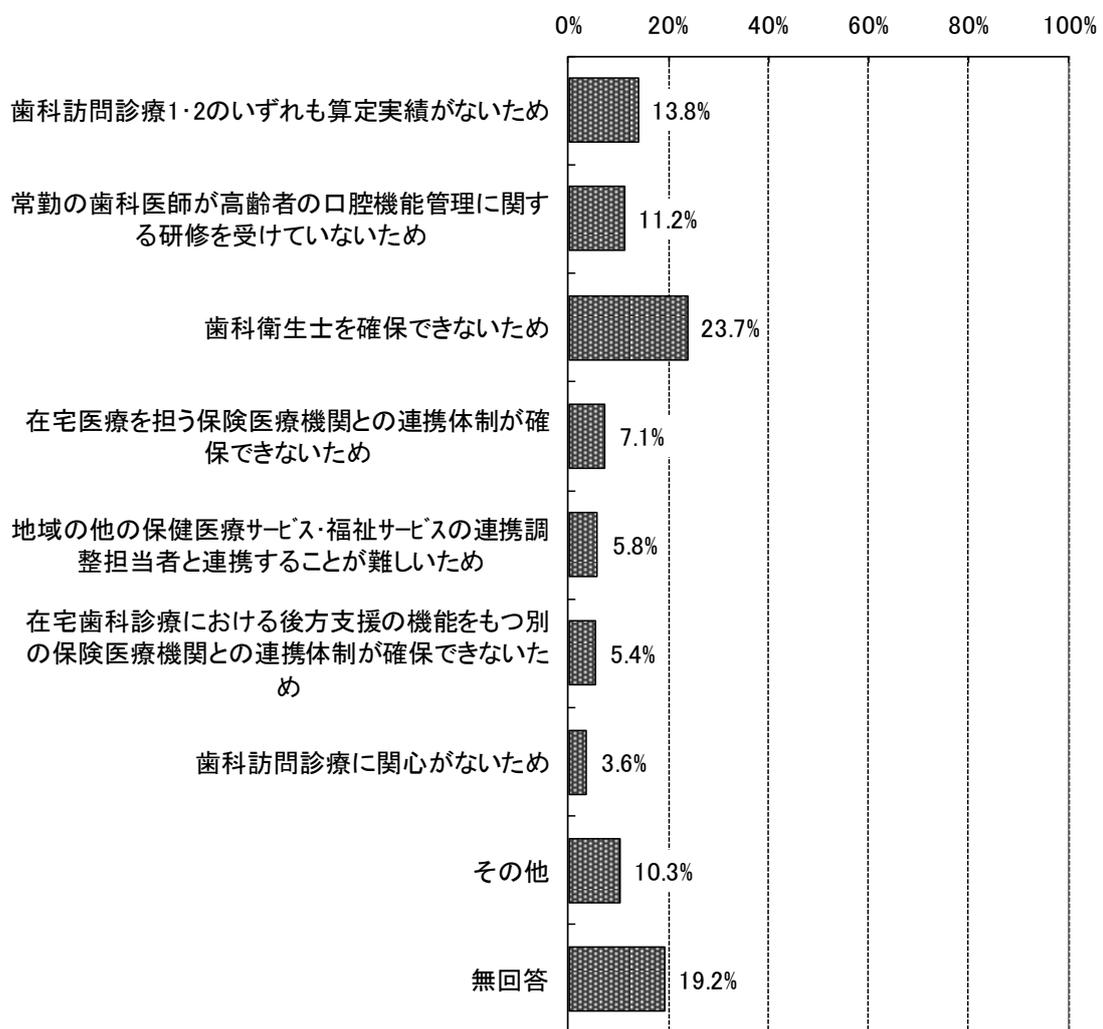


(注) 「その他」の内容として、「わずらわしい」(同旨含め2件)、「カンファレンス等に参加する時間がとれない」、「点数が大きく患者に説明しにくい」等が挙げられた。

⑨在宅療養支援歯科診療所の届出をしていない主な理由

在宅療養支援歯科診療所の届出をしていない主な理由をみると、「歯科衛生士を確保できないため」が23.7%で最も多く、次いで「歯科訪問診療1・2のいずれも算定実績がないため」(13.8%)、「常勤の歯科医師が高齢者の口腔機能管理に関する研修を受けていないため」(11.2%)、「在宅医療を担う保険医療機関との連携体制が確保できないため」(7.1%)であった。

図表 213 在宅療養支援歯科診療所の届出をしていない主な理由  
(在宅療養支援歯科診療所の届出のない施設、単数回答、n=224)

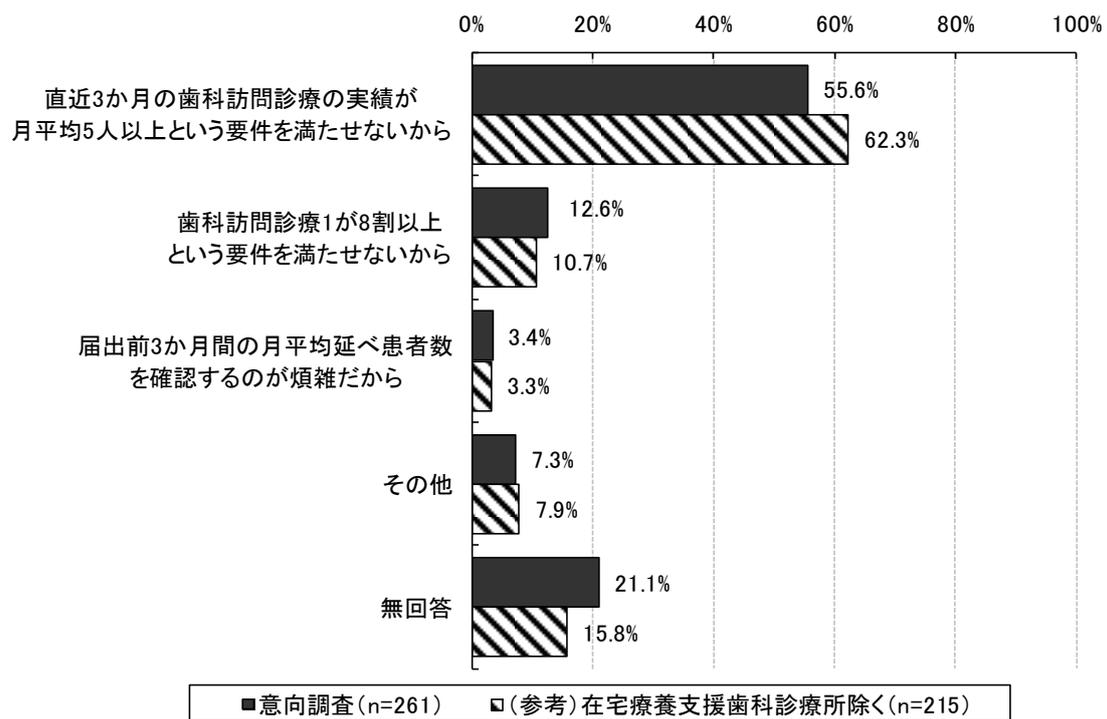


(注)「その他」の内容として、「届出を出すのが面倒」(同旨含め6件)、「訪問の要望が少ない」(同旨含め5件)、「今後出す予定」(同旨含め3件)、等が挙げられた。

⑩在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出をしていない主な理由

在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出をしていない主な理由をみると、「直近3か月の歯科訪問診療の実績が月平均5人以上という要件を満たせないから」が55.6%で最も多く、次いで「歯科訪問診療1が8割以上という要件を満たせないから」(12.6%)、「届出前3か月の月平均延べ患者数を確認するのが煩雑だから」(3.4%)であった。

図表 214 在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出をしていない主な理由  
(在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出のない施設、単数回答)



(注)「その他」の内容として、「届出が面倒」(同旨含め4件)、「歯科衛生士がない」(同旨含め2件)等が挙げられた。

## ⑪ 歯科訪問診療を実施する上での問題点・課題等

本調査において、歯科訪問診療を実施する上での問題点・課題等を自由記述式で記載して頂いた内容について、主な意見をとりとまとめた。

- ・ スタッフ（歯科衛生士）・機材等を揃えるのが大変（同旨含め 39 件）。
- ・ 事務処理が煩雑（同旨含め 23 件）。
- ・ 報酬が見合わない（同旨含め 13 件）。
- ・ 訪問では満足な診療ができない（同旨含め 12 件）。
- ・ 歯科医師一人の診療体制では時間的に無理（同旨含め 10 件）。
- ・ 体力的に無理（同旨含め 10 件）。
- ・ 歯科訪問診療の要望が少ない（同旨含め 6 件）。
- ・ 点数が高いと指導の対象になる（同旨含め 6 件）。
- ・ 算定要件が厳しい（同旨含め 5 件）。
- ・ 時間の縛りが厳しい（同旨含め 5 件）。
- ・ 少しでも動ける人なら来院してもらった方がよい（同旨含め 2 件）。
- ・ 日常の口腔ケア等について歯科の加算がない。嚥下評価については歯科が胃ろう評価に加わるシステムにするべき。
- ・ 外来診療中心の診療所では難しい。
- ・ 必要文書提供の仕方など、スタートからわかる勉強会をしてほしい。
- ・ 訪問診療の現場がわからないため、システムの構築や診療内容などが学習できるプログラムがほしい。
- ・ 医科との連携が個人レベルではうまく進められない。
- ・ 他職種（医師、ナース、ケアマネジャー、薬剤師）との連携がとれていない状況。
- ・ 移動の手段がない。
- ・ 車を止めるスペースがない。
- ・ 訪問の診療と医院での外来とほぼ同様の治療内容ができることになっているシステムはおかしい。訪問でできること、できないことの区別をしっかりとつけて、PR してほしい。 / 等

## 歯科訪問診療に係る NDB 集計

(平成 27 年 5 月診療分)

### ① 歯科訪問診療料の算定回数、算定医療機関数、算定患者数

(総数)

歯科訪問診療料の区分	算定回数	算定医療機関数	算定患者数
歯科訪問診療 1	170,073	11,250	94,684
歯科訪問診療 2	243,650	5,808	135,798
歯科訪問診療 3	376,022	3,778	179,168

(参考)

基本診療料の区分	算定回数
歯科初診料	5,943,306
歯科再診料	22,989,534

### ② 患者一人あたりの歯科訪問診療料（歯科訪問診療 1～3 のいずれか）の算定回数

月あたり算定回数	算定患者数
1～5 回	376,866
5～10 回	1,950
11 回以上	37

### ③ 1 医療機関あたりの歯科訪問診療料（歯科訪問診療 1～3 のいずれか）の算定医療機関数と算定患者数

	算定医療機関数	算定患者数
歯科訪問診療 1, 歯科訪問診療 2, 歯科訪問診療 3 のいずれかを算定	12,693	378,853

④ 歯科訪問診療 1、2、3 の算定医療機関の状況

算定している歯科訪問診療料の種類	算定医療機関数	割合 (%)
歯科訪問診療 1 のみ	6,020	47.4
歯科訪問診療 1 と 2 のみ	2,276	17.9
歯科訪問診療 1 と 3 のみ	532	4.2
歯科訪問診療 1, 2, 3 すべて	2,422	19.1
歯科訪問診療 2 のみ	619	4.9
歯科訪問診療 2 と 3 のみ	491	3.9
歯科訪問診療 3 のみ	333	2.6
合計	12,693	100

⑤ 歯科訪問診療料が算定された患者の年齢階級

年齢階級	歯科訪問診療料（歯科訪問診療 1、2、3 のいずれか）が算定された患者数	各年齢階級の割合 (%)
0～19 歳	736	0.2
20～29 歳	1,813	0.5
30～39 歳	3,285	0.9
40～49 歳	5,990	1.6
50～59 歳	8,043	2.1
60～64 歳	7,576	2.0
65～69 歳	13,739	3.6
70～74 歳	23,600	6.2
75～79 歳	41,969	11.1
80～84 歳	77,266	20.4
85～89 歳	97,435	25.7
90～94 歳	68,136	18.0
95～99 歳	24,520	6.5
100 歳以上	4,745	1.3
合計	378,853	100

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 27 年度調査）  
**歯科訪問診療の実態に関する調査 調査票**

- ※ この調査票は、在宅療養支援歯科診療所の施設基準の届出をしている歯科医療機関の開設者・管理者の方に、貴施設における歯科訪問診療の実施状況や医科医療機関との連携状況等についてお伺いするものです。
- ※ ご回答の際は、あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数値、用語等をお書きください。（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「-」をお書きください。
- ※ 特に断りのない場合は、平成 27 年 6 月 30 日時点の状況についてご記入ください。
- ※ 特に断りのない場合は、『**医療保険**』の歯科訪問診療に関してお答えください。  
**介護保険など、医療保険以外に関しては、設問内で指定がない場合には含みません。**

管理者についてお伺いします。

① 性別	1. 男性      2. 女性	② 年齢	(                      ) 歳
------	------------------	------	----------------------------

1. 貴施設の概要（平成 27 年 6 月 30 日時点）についてお伺いします。

①開設主体 ※○は1つだけ	1. 個人      2. 法人      3. その他(具体的に                      )		
②標榜診療科 ※あてはまるものすべてに○	1. 歯科      2. 矯正歯科      3. 小児歯科      4. 歯科口腔外科		
③医科の医療機関の 併設状況 ※○は1つだけ	1. 併設している      2. 併設していない		
④施設基準 (届出のあるもの) ※あてはまるものすべてに○	1. 在宅かかりつけ歯科診療所加算 2. 歯科外来診療環境体制加算      3. 歯科治療総合医療管理料 4. 歯科診療特別対応連携加算      5. 在宅患者歯科治療総合医療管理料 6. 地域医療連携体制加算		
⑤職員数（常勤換算※）		常勤	非常勤
	1) 歯科医師	(                      ) 人	(                      ) 人
	2) 歯科衛生士	(                      ) 人	(                      ) 人
	3) 歯科技工士	(                      ) 人	(                      ) 人
	4) 管理栄養士・栄養士	(                      ) 人	(                      ) 人
	5) 言語聴覚士	(                      ) 人	(                      ) 人
	6) その他	(                      ) 人	(                      ) 人
	7) 合計	(                      ) 人	(                      ) 人

※常勤換算については、以下の方法で算出してください。また、常勤換算後の職員数は小数点以下第 1 位までお答えください。  
 ■1 週間に数回勤務の場合：(非常勤職員の 1 週間の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の 1 週間の勤務時間)  
 ■1 か月に数回勤務の場合：(非常勤職員の 1 か月の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の 1 週間の勤務時間×4)

⑤-1 ⑤のうち、平成 27 年 6 月 1 か月間に <b>歯科訪問診療等*</b> に従事した職員数 (常勤換算)		常勤	非常勤
	1) 歯科医師	( ) 人	( ) 人
	2) 歯科衛生士	( ) 人	( ) 人
	3) 歯科技工士	( ) 人	( ) 人
	4) 管理栄養士・栄養士	( ) 人	( ) 人
	5) 言語聴覚士	( ) 人	( ) 人
	6) その他	( ) 人	( ) 人
	7) 合計	( ) 人	( ) 人

\* 歯科訪問診療等：歯科医師による歯科訪問診療の他、歯科衛生士の訪問による口腔衛生指導なども含みます。

⑥ 医療機器等の保有台数	1) 歯科ユニット台数	( ) 台
	2) ポータブル歯科治療用ユニット	( ) 台
	3) ポータブルエンジン（携帯用マイクロモーター）	( ) 台
	4) ポータブル歯科用X線装置	( ) 台

⑦平成 25 年 6 月と平成 27 年 6 月の各 1 か月間の 1) 歯科外来患者総数（当月の初診患者と再診患者の延べ人数）、2) 歯科訪問診療等の患者総数（当月の歯科訪問診療等を実施した患者延べ人数。同じ患者に 2 回、歯科訪問診療等を実施した場合は「2 人」と数えます。歯科訪問診療料を算定できない場合、歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問した場合等も含みます）をご記入ください。

注）該当患者がいない場合は「0（ゼロ）」、わからない場合は「—」をご記入ください。

	平成 25 年 6 月	平成 27 年 6 月
1) 歯科外来患者総数（延べ人数）	( ) 人	( ) 人
2) 歯科訪問診療等の患者総数（延べ人数） ※歯科訪問診療料を算定できない場合を含む	( ) 人	( ) 人

## 2. 貴施設における歯科訪問診療の実施状況等についてお伺いします。

①貴施設では、**歯科訪問診療（歯科衛生士のみの訪問は含まれません）**をどのような体制で行っていますか。  
※○は 1 つだけ

0. 歯科訪問診療を実施していない
1. 歯科訪問診療を中心に行っている（外来歯科診療はあまり実施していない）
2. 患者の要望があれば、外来歯科診療の実施時間を調整し歯科訪問診療を行っている
3. 昼休み又は外来歯科診療の診療時間外に歯科訪問診療を行っている
4. 複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている
5. 特定の曜日・時間に歯科訪問診療を行っている
6. その他（具体的に )

【上記①で「0. 歯科訪問診療を実施していない」と回答した施設の方】

①-1 歯科訪問診療を実施していない理由は何ですか。※あてはまるものすべてに○

1. 診療報酬上の評価が低いから
2. 必要な状況になったら対応できるように体制は整えているものの、現在は歯科訪問診療を実施する意向がないから
3. 歯科訪問診療の依頼がないから
4. その他（具体的に )

→歯科訪問診療を実施していない施設の方は以上で質問は終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。



⑦平成 27 年 6 月 1 か月間の算定回数をご記入ください。 注) 該当なしは「0 (ゼロ)」、わからない場合は「-」をご記入ください。	
1) 歯科訪問診療 1	( ) 回
2) 歯科訪問診療 2	( ) 回
a) 上記 2) のうち、同居する同一世帯の複数患者に対する歯科訪問診療の算定回数	( ) 回
3) 歯科訪問診療 3 ※ a) + b) - c) となります。	( ) 回
a) 上記 3) のうち、20 分未満の歯科訪問診療の算定回数 ※10 人以上、10 人未満を問わず 20 分未満の歯科訪問診療についてご記入ください。	( ) 回
b) 上記 3) のうち、同一建物で 10 人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数 ※20 分未満、20 分以上を問わず 10 人以上の歯科訪問診療についてご記入ください。	( ) 回
c) 上記 3) のうち、20 分未満かつ同一建物で 10 人以上の歯科訪問診療の算定回数	( ) 回
4) 在宅かかりつけ歯科診療所加算	( ) 回
5) 歯科訪問診療補助加算	( ) 回
6) 訪問歯科衛生指導料 1 複雑なもの	( ) 回
7) 訪問歯科衛生指導料 2 簡単なもの	( ) 回
8) 【介護保険】居宅療養管理指導費 (歯科医師)	( ) 回
9) 【介護保険】居宅療養管理指導費 (歯科衛生士)	( ) 回
10) 周術期口腔機能管理料 (I) (歯科訪問診療で実施したもの)	( ) 回
11) 周術期口腔機能管理料 (II) (歯科訪問診療で実施したもの)	( ) 回
12) 摂食機能療法 (歯科訪問診療で実施したもの)	( ) 回

⑧歯科訪問診療を開始してから今までに、貴施設では、以下の診療報酬項目について算定した実績がありますか。 ※○はそれぞれ1つだけ			
1) 緊急歯科訪問診療加算	1. ある	2. ない	3. わからない
2) 退院時共同指導料 1	1. ある	2. ない	3. わからない
3) 在宅患者連携指導料	1. ある	2. ない	3. わからない
4) 退院前在宅療養指導管理料	1. ある	2. ない	3. わからない
5) 在宅患者緊急時等カンファレンス料	1. ある	2. ない	3. わからない

【上記⑧で1つでも「2. ない」または「3. わからない」と回答した施設の方】

⑧-1 上記⑧の 1) ~5) の項目で「2. ない」または「3. わからない」と回答した理由はなぜですか。

※あてはまるものすべてに○

1. これらの診療報酬項目があることを知らなかったから
2. これらの診療報酬項目があることを知っていたが、算定要件がわからなかったから
3. これらの診療報酬項目の算定要件に該当する患者がいなかったから
4. 医科医療機関からの依頼がないから
5. その他 (具体的に )

## 【在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出のない施設の方にお伺いします】

⑨在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出をしていない主な理由は何ですか。 ※○は1つだけ

1. 直近3か月の歯科訪問診療の実績が月平均5人以上という要件を満たせないから
2. 歯科訪問診療1が8割以上という要件を満たせないから
3. 届出前3か月間の月平均延べ患者数を確認するのが煩雑だから
4. その他（具体的に

⑩貴施設が歯科訪問診療を行う上で困りになっていることは何ですか。 ※あてはまるものすべてに○

0. 困っていることは何もない（→質問3. ①へお進みください）
1. 歯科訪問診療を行うための歯科衛生士を確保することが難しい
2. 歯科訪問診療を行うための歯科医師以外の医療スタッフ（歯科衛生士を除く）を確保することが難しい
3. 歯科訪問診療を行う際に、経営上、歯科医師以外の医療スタッフを同行させることが難しい
4. 歯科訪問診療用の器具・機材の購入にコストがかかる
5. 歯科訪問診療に当たっての器具・機材の準備と後片付けに時間がかかる
6. 医療保険請求の確認等事務処理に困難がある
7. 介護保険の確認等事務処理に困難がある
8. 他機関・他職種との連携を構築することが難しい
9. 外来歯科診療を行っており、歯科訪問診療を行うための時間を確保することが難しい
10. 歯科訪問診療を行うのは効率が悪い
11. 歯科訪問診療を行うための体力（身体的な）がない
12. 訪問先での駐車場を確保するのが難しい
13. 歯科訪問診療中に患者の急変等が発生した場合の対応に不安がある
14. その他（具体的に

⑩-1 上記⑩のうち、最も困っていることは何ですか。

※上記⑩の1.～14.の番号の中からあてはまる番号を1つだけご記入ください。

## 3. 歯科訪問診療における他の医療機関等との連携状況についてお伺いします。

①貴施設が連携している歯科の医療機関はどこですか。また、それぞれ、連携施設は何か所ありますか。

※あてはまるものすべてに○

0. 連携している歯科の医療機関はない（→6ページの質問②へお進みください）
1. 他の歯科診療所→連携施設数：（ ） 所
2. 歯科大学病院もしくは歯学部附属病院→連携施設数：（ ） 所
3. 病院歯科（歯科大学病院もしくは歯学部附属病院を除く）→連携施設数：（ ） 所
4. 口腔保健センター→連携施設数：（ ） 所
5. その他（具体的に

【上記①で連携している歯科の医療機関がある施設の方】

①-1 上記①で回答した歯科の医療機関と連携している内容は何か。 ※あてはまるものすべてに○

1. 患者急変時の受入を依頼
2. 夜間の歯科訪問診療についての対応を依頼
3. 貴施設で対応が困難な患者の受入を依頼
4. 特別な対応が必要な患者の受入を依頼
5. 診療情報等の共有
6. 貴施設への患者の紹介
7. その他（具体的に

②貴施設が連携している医科の医療機関はどこですか。また、それぞれ、連携施設は何か所ありますか。  
※あてはまるものすべてに○

0. 連携している医科の医療機関はない (→質問③へお進みください)
1. 在宅療養支援診療所 (在支診) →連携施設数：( ) か所
2. 在宅療養支援病院 (在支病) (ただし歯科・歯科口腔外科なし) →連携施設数：( ) か所
3. 在支診以外の一般診療所→連携施設数：( ) か所
4. 在支病以外の病院 (ただし歯科・歯科口腔外科なし) →連携施設数：( ) か所
5. その他 (具体的に ) →連携施設数：( ) か所

【上記②で連携している医科の医療機関がある施設の方】

②-1 上記②で回答した医科の医療機関と連携している内容は何かですか。※あてはまるものすべてに○

1. 連携医療機関の在宅療養患者に対する歯科訪問診療の実施
2. 連携医療機関の患者に対する周術期口腔機能管理の実施
3. 入院患者に対する専門的な口腔ケアの実施 (上記2.を除く)
4. 連携医療機関の栄養サポートチームに参加
5. 連携医療機関における退院時カンファレンスへの参加
6. 患者急変時の受入を依頼
7. 診療情報等の共有
8. その他 (具体的に )

③貴施設が連携している介護保険施設、居住系高齢者施設等はどこですか。また、それぞれ、連携施設は何か所ありますか。※あてはまるものすべてに○

0. 連携している施設はない (→質問④へお進みください)
1. 介護療養型医療施設→連携施設数：( ) か所
2. 介護老人保健施設→連携施設数：( ) か所
3. 介護老人福祉施設→連携施設数：( ) か所
4. 居住系高齢者施設等 (サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、ケアハウス、認知症グループホーム等) →連携施設数：( ) か所
5. その他 (具体的に ) →連携施設数：( ) か所

【上記③で連携している介護保険施設、居住系高齢者施設等がある施設の方】

③-1 居住系高齢者施設等と連携している内容は何かですか。※あてはまるものすべてに○

1. 協力歯科医療機関に指定されている
2. 入居者に対する歯科訪問診療の実施
3. 入居者に対する口腔機能管理の実施
4. 入居者に対する口腔衛生管理の実施
5. 入居者に対する摂食機能療法の実施
6. 施設等で行われる会議等への参加
7. 施設職員への口腔に関する技術的助言や研修等の実施
8. その他 (具体的に )

④貴施設が連携している機関等は他にありますか。 ※あてはまるものすべてに○

1. 歯科医師会
2. 医師会
3. 保険薬局
4. 訪問看護ステーション
5. 居宅介護支援事業所
6. 地域包括支援センター
7. 行政 (保健所)
8. その他 (具体的に )
9. いずれとも連携していない

⑤ 歯科訪問診療において、他施設と連携を進める際に、貴施設がお困りになっていることがあれば、具体的にお書きください。

--

4. 調査日（平成 27 年 6 月 1 日～6 月 30 日の間で 1 日の歯科訪問診療等の実績が最も多かった日）における歯科訪問診療の実施状況等についてお伺いします。

（1）調査日における歯科訪問診療の概要をお伺いします。

①調査日に歯科訪問診療等（歯科衛生士の場合も含む）を行った職員数についてお答えください。			
1) 歯科医師	( ) 人	2) 歯科衛生士	( ) 人
3) その他の職員	( ) 人	4) 合計	( ) 人
②調査日に歯科訪問診療等（歯科衛生士の場合も含む）に行った患者数、このうち同一建物で複数の患者となった人数、診療等合計時間（患家等で実際に診療に要した時間・機器の準備等を含む）をお答えください。なお、2) と 4) の診療等合計時間では、指定の職種が担当した合計時間のみをご記入ください。			
	歯科訪問診療等を行った患者数/日	同一建物内の患者数/日	診療等合計時間/日
1) 歯科医師が 1 人で訪問したもの	( ) 人	( ) 人	( ) 分
2) 歯科衛生士が帯同したもの	( ) 人	( ) 人	歯科医師の診療時間 → ( ) 分 歯科衛生士の指導時間 → ( ) 分
3) 歯科衛生士以外の職員が帯同したもの	( ) 人	( ) 人	( ) 分
4) 歯科医師の指示のもとに歯科衛生士のみ（もしくは歯科衛生士と歯科医師以外の職種）が訪問したもの	( ) 人	( ) 人	歯科衛生士の指導時間 → ( ) 分

（2）調査日に歯科訪問診療を行った患者のうち、最初に訪問した患者（患者 A）と、最後に訪問した患者（患者 B）の診療状況等をお伺いします。

患者Aについてお答えください。

1) 患者の性別	1. 男性      2. 女性	2) 患者の年齢	(      ) 歳
3) 患者の住まい	1. 戸建て      2. マンション・アパート・団地等 3. サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム 4. 養護老人ホーム・軽費老人ホーム      5. 特別養護老人ホーム 6. 認知症高齢者グループホーム      7. 病院 8. その他（具体的に      ）		
4) 上記3)の住まい（同一建物）の中に、調査日に貴施設が歯科訪問診療を行った患者が他に何人いますか（この患者以外の人数）。			(      ) 人
5) 同居家族の有無	1. なし 2. あり→調査日の同居家族に対する歯科訪問診療の有無：(1. あり      2. なし)		
6) 要介護度	1. 対象外      2. 未申請      3. 申請中      4. 申請したが非該当 5. 要支援1・2      6. 要介護1      7. 要介護2      8. 要介護3 9. 要介護4      10. 要介護5      11. 不明		
7) 認知症高齢者の日常生活自立度	0. 該当なし      1. I      2. II・IIa・IIb 3. III・IIIa・IIIb      4. IV      5. M      6. 自立度不明		
8) この患者に対する歯科訪問診療の頻度	平成27年6月1か月間に (      ) 回訪問		
9) 調査日に、この患者に行った診療内容（各項目の一連に係る行為を含む） ※○はいくつでも			
1. 口腔内診査・症状確認のみ      2. 義歯製作      3. 義歯調整 4. 義歯修理      5. 床裏装      6. 欠損補綴（ブリッジ）      7. 歯冠修復（FMC） 8. 歯冠修復（インレー、4/5冠、3/4冠）      9. 歯冠修復（充填）      10. う蝕処置（7～9以外） 11. 抜髄      12. 感染根管治療      13. 抜歯      14. 歯周治療 15. 口腔衛生指導      16. 摂食機能療法      17. その他（具体的に      ）			
10) この患者の診療に当たった診療体制	1. 歯科医師→ (      ) 名      2. 歯科衛生士→ (      ) 名 3. 歯科技工士→ (      ) 名      4. 看護師・准看護師→ (      ) 名 5. その他（具体的に      ）→ (      ) 名		
11) この患者の診療に要した時間	(      ) 分 このうち機器の準備・後片付けの時間 (      ) 分		
12) この患者に対して歯科訪問診療を行ったきっかけ ※○はいくつでも			
1. 以前、自院に通院していた患者（やその家族）からの依頼 2. 他の歯科医療機関からの依頼・紹介      3. 訪問診療を行っている医師からの依頼・紹介 4. 患者が入院していた（現在入院している）医療機関からの依頼・紹介 5. 訪問看護ステーションからの依頼・紹介      6. ケアマネジャーからの依頼・紹介 7. 地域包括支援センターからの依頼・紹介      8. 入居施設からの依頼 9. その他（具体的に      ）			
13) 算定した診療報酬等の項目（加算は除く）	1. 歯科訪問診療1      2. 歯科訪問診療2 3. 歯科訪問診療3      4. 訪問歯科衛生指導料1 複雑なもの 5. 訪問歯科衛生指導料2 簡単なもの 6. 居宅療養管理指導費（介護保険）（歯科医師） 7. 居宅療養管理指導費（介護保険）（歯科衛生士）      8. 摂食機能療法 9. 上記以外→（具体的に      ）		

患者Bについてお答えください。

1) 患者の性別	1. 男性      2. 女性	2) 患者の年齢	(      ) 歳
3) 患者の住まい	1. 戸建て      2. マンション・アパート・団地等 3. サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム 4. 養護老人ホーム・軽費老人ホーム      5. 特別養護老人ホーム 6. 認知症高齢者グループホーム      7. 病院 8. その他（具体的に      ）		
4) 上記3)の住まい（同一建物）の中に、調査日に貴施設が歯科訪問診療を行った患者が他に何人いますか（この患者以外の人数）。			(      ) 人
5) 同居家族の有無	1. なし 2. あり→調査日の同居家族に対する歯科訪問診療の有無：(1. あり      2. なし)		
6) 要介護度	1. 対象外      2. 未申請      3. 申請中      4. 申請したが非該当 5. 要支援 1・2      6. 要介護 1      7. 要介護 2      8. 要介護 3 9. 要介護 4      10. 要介護 5      11. 不明		
7) 認知症高齢者の日常生活自立度	0. 該当なし      1. I      2. II・IIa・IIb 3. III・IIIa・IIIb      4. IV      5. M      6. 自立度不明		
8) この患者に対する歯科訪問診療の頻度	平成 27 年 6 月 1 か月間に (      ) 回訪問		
9) 調査日に、この患者に行った診療内容（各項目の一連に係る行為を含む） ※○はいくつでも			
1. 口腔内診査・症状確認のみ      2. 義歯製作      3. 義歯調整 4. 義歯修理      5. 床裏装      6. 欠損補綴（ブリッジ）      7. 歯冠修復（FMC） 8. 歯冠修復（インレー、4/5冠、3/4冠）      9. 歯冠修復（充填）      10. う蝕処置（7～9以外） 11. 抜髄      12. 感染根管治療      13. 抜歯      14. 歯周治療 15. 口腔衛生指導      16. 摂食機能療法      17. その他（具体的に      ）			
10) この患者の診療に当たった診療体制	1. 歯科医師→(      )名      2. 歯科衛生士→(      )名 3. 歯科技工士→(      )名      4. 看護師・准看護師→(      )名 5. その他（具体的に      ）→(      )名		
11) この患者の診療に要した時間	(      ) 分 このうち機器の準備・後片付けの時間 (      ) 分		
12) この患者に対して歯科訪問診療を行ったきっかけ ※○はいくつでも			
1. 以前、自院に通院していた患者（やその家族）からの依頼 2. 他の歯科医療機関からの依頼・紹介      3. 訪問診療を行っている医師からの依頼・紹介 4. 患者が入院していた（現在入院している）医療機関からの依頼・紹介 5. 訪問看護ステーションからの依頼・紹介      6. ケアマネジャーからの依頼・紹介 7. 地域包括支援センターからの依頼・紹介      8. 入居施設からの依頼 9. その他（具体的に      ）			
13) 算定した診療報酬等の項目（加算は除く）	1. 歯科訪問診療 1      2. 歯科訪問診療 2 3. 歯科訪問診療 3      4. 訪問歯科衛生指導料 1 複雑なもの 5. 訪問歯科衛生指導料 2 簡単なもの 6. 居宅療養管理指導費（介護保険）（歯科医師） 7. 居宅療養管理指導費（介護保険）（歯科衛生士）      8. 摂食機能療法 9. 上記以外→（具体的に      ）		

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 27 年度調査）

## 歯科医療に関する意向調査 調査票

※ この調査票は、歯科医療機関の開設者・管理者の方に、貴施設における歯科訪問診療に関する実施意向や課題等についてお伺いするものです。

※ ご回答の際は、あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「-」をご記入ください。

※ 特に断りのない場合は、平成 27 年 6 月 30 日時点の状況についてご記入ください。

※ 特に断りのない場合は、『医療保険』の歯科訪問診療に関してお答えください。  
介護保険など、医療保険以外に関しては、設問内で指定がない場合には含みません。

管理者についてお伺いします。

① 性別	1. 男性      2. 女性	② 年齢	(                    ) 歳
------	------------------	------	--------------------------

1. 貴施設の概要（平成 27 年 6 月 30 日時点）についてお伺いします。

①開設主体 ※○は1つだけ	1. 個人      2. 法人      3. その他(具体的に                    )		
②標榜診療科 ※あてはまるものすべてに○	1. 歯科      2. 矯正歯科      3. 小児歯科      4. 歯科口腔外科		
③医科の医療機関の併設状況 ※○は1つだけ	1. 併設している      2. 併設していない		
④施設基準 (届出のあるもの) ※あてはまるものすべてに○	1. 在宅療養支援歯科診療所      2. 在宅かかりつけ歯科診療所加算 3. 歯科外来診療環境体制加算      4. 歯科治療総合医療管理料 5. 歯科診療特別対応連携加算      6. 在宅患者歯科治療総合医療管理料 7. 地域医療連携体制加算		
⑤職員数（常勤換算※）		常勤	非常勤
	1) 歯科医師	(                    ) 人	(                    ) 人
	2) 歯科衛生士	(                    ) 人	(                    ) 人
	3) 歯科技工士	(                    ) 人	(                    ) 人
	4) 管理栄養士・栄養士	(                    ) 人	(                    ) 人
	5) 言語聴覚士	(                    ) 人	(                    ) 人
	6) その他	(                    ) 人	(                    ) 人
7) 合計	(                    ) 人	(                    ) 人	

※常勤換算については、以下の方法で算出してください。また、常勤換算後の職員数は小数点以下第 1 位までお答えください。

■1 週間に数回勤務の場合：(非常勤職員の 1 週間の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の 1 週間の勤務時間)

■1 か月に数回勤務の場合：(非常勤職員の 1 か月の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の 1 週間の勤務時間 × 4)

⑤-1 ⑤のうち、平成 27 年 6 月 1 か月間に <b>歯科訪問診療等*</b> に従事した職員数 (常勤換算)		常勤	非常勤
	1) 歯科医師	( ) 人	( ) 人
	2) 歯科衛生士	( ) 人	( ) 人
	3) 歯科技工士	( ) 人	( ) 人
	4) 管理栄養士・栄養士	( ) 人	( ) 人
	5) 言語聴覚士	( ) 人	( ) 人
	6) その他	( ) 人	( ) 人
	7) 合計	( ) 人	( ) 人

\* 歯科訪問診療等: 歯科医師による歯科訪問診療の他、歯科衛生士の訪問による口腔衛生指導なども含みます。

⑥ 医療機器等の保有台数	1) 歯科ユニット台数	( ) 台
	2) ポータブル歯科治療用ユニット	( ) 台
	3) ポータブルエンジン (携帯用マイクロモーター)	( ) 台
	4) ポータブル歯科用 X 線装置	( ) 台

⑦平成 25 年 6 月と平成 27 年 6 月の各 1 か月間の 1) 歯科外来患者総数 (当月の初診患者と再診患者の延べ人数)、2) 歯科訪問診療等の患者総数 (当月の歯科訪問診療等を実施した患者延べ人数。同じ患者に 2 回、歯科訪問診療等を実施した場合は「2 人」と数えます。歯科訪問診療料を算定できない場合、歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問した場合等も含みます) をご記入ください。

注) 該当患者がない場合は「0 (ゼロ)」、わからない場合は「-」をご記入ください。

	平成 25 年 6 月	平成 27 年 6 月
1) 歯科外来患者総数 (延べ人数)	( ) 人	( ) 人
2) 歯科訪問診療等の患者総数 (延べ人数) ※歯科訪問診療料を算定できない場合を含む	( ) 人	( ) 人

## 2. 貴施設における歯科訪問診療の実施状況についてお伺いします。

①現在、貴施設では歯科訪問診療を実施していますか。 ※○は1つだけ
1. 実施している (→この後は、3 ページの質問④へお進みください)
2. 実施していないが、今後、実施したいと考えている
3. 実施していない (今後も予定がない)
4. その他 (具体的に )

## 【歯科訪問診療を実施していない施設の方】

②貴施設が歯科訪問診療を実施していないのはなぜですか。※あてはまるものすべてに○

1. 歯科訪問診療の要請がない
2. 歯科訪問診療を行うための歯科衛生士を確保することが難しい
3. 歯科訪問診療を行うための歯科医師以外の医療スタッフ（歯科衛生士を除く）を確保することが難しい
4. 歯科訪問診療を行う際に、経営上、歯科医師以外の医療スタッフを同行させることが難しい
5. 歯科訪問診療用の器具・機材の購入にコストがかかる
6. 歯科訪問診療に当たっての器具・機材の準備と後片付けに時間がかかる
7. 医療保険請求の確認等事務処理に困難がある
8. 介護保険の確認等事務処理に困難がある
9. 他機関・他職種との連携を構築することが難しい
10. 外来歯科診療を行っており、歯科訪問診療を行うための時間を確保することが難しい
11. 歯科訪問診療を行うのは効率が悪い
12. 歯科訪問診療を行うための体力（身体的な）がない
13. 訪問先での駐車場を確保するのが難しい
14. 歯科訪問診療中に患者の急変等が発生した場合の対応に不安がある
15. 歯科訪問診療を積極的に行っている別の歯科医療機関が地域にある
16. その他（具体的に )

②-1 上記②のうち、最大の理由は何ですか。

※上記②の1.～16.の番号の中からあてはまる番号を1つだけご記入ください。

## 【歯科訪問診療を実施していない施設の方】

③どのような環境を整えば歯科訪問診療をはじめてもよいとお考えになりますか。※あてはまるものすべてに○

- |                        |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 研修受講に関する支援          | 2. 診療報酬上のより一層の評価            |
| 3. 歯科衛生士の確保            | 4. 歯科訪問診療に適した器具・機材を揃えるための支援 |
| 5. 他機関・他職種との連携をするための支援 | 6. 歯科訪問診療を必要とする患者の増加        |
| 7. 歯科訪問診療をする意向はない      | 8. その他（具体的に )               |

以下は歯科訪問診療を実施している施設の方のみお答えください。それ以外の施設の方は5ページの質問3.へお進みください。

④貴施設では、**歯科訪問診療（歯科衛生士のみの訪問は含まれません）**をどのような体制で行っていますか。※○は1つだけ

1. 歯科訪問診療を中心に行っている（外来歯科診療はあまり実施していない）
2. 患者の要望があれば、外来歯科診療の実施時間を調整し歯科訪問診療を行っている
3. 昼休み又は外来歯科診療の診療時間外に歯科訪問診療を行っている
4. 複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている
5. 特定の曜日・時間に歯科訪問診療を行っている
6. その他（具体的に )

⑤貴施設が歯科訪問診療を開始したのはいつ頃ですか。

西暦（            ）年（            ）月頃

⑥平成 27 年 6 月 1 か月間に <b>歯科訪問診療等</b> を行った延べ日数（当月の歯科訪問診療を実施した延べ日数、歯科医師が 1 人で毎日実施の場合は「30 日」、歯科医師が 2 人以上の場合はそれぞれの歯科訪問診療の合計日数となります。）をご記入ください。歯科衛生士の訪問延べ日数も同様です。	
1) 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ日数	( ) 日
2) 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ日数	( ) 日
3) 歯科医師の指示のもとに、歯科衛生士が訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ日数 ※歯科医師に同行した場合は含みません。	( ) 日

⑦貴施設における、平成 27 年 6 月の 1 か月間の <b>歯科訪問診療等</b> の実績についてご記入ください。	
1) 歯科訪問診療で歯科医師が訪問した建物の数（か所） ※マンションなどの集合住宅の場合、「棟」単位。	( ) か所
2) 歯科訪問診療で歯科医師が訪問した 1 か月の訪問回数合計（回） ※同じ施設に何人患者がいても同一日であれば、訪問回数は「1 回」。	( ) 回
3) 歯科医師が歯科訪問診療を行った患者の実人数（人） ※同じ患者に 2 回診療した場合も「1 人」。	( ) 人
4) 歯科医師が歯科訪問診療を行った延べ患者数（人） ※同じ患者に 2 回診療した場合は「2 人」	( ) 人
5) 歯科医師が居宅療養管理指導を行った延べ患者数（人）	( ) 人
6) 歯科医師の指示のもと、歯科衛生士のみで訪問し、訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導を含む）を実施した延べ患者数（人）	( ) 人
7) 訪問により「摂食機能療法」を算定した患者の実人数（人）	( ) 人

⑧平成 27 年 6 月 1 か月間の <b>算定回数</b> をご記入ください。 注）該当なしは「0（ゼロ）」、わからない場合は「—」をご記入ください。	
1) 歯科訪問診療 1	( ) 回
2) 歯科訪問診療 2	( ) 回
a) 上記 2) のうち、同居する同一世帯の複数患者に対する歯科訪問診療の算定回数	( ) 回
3) 歯科訪問診療 3 ※ a) + b) - c) となります。	( ) 回
a) 上記 3) のうち、20 分未満の歯科訪問診療の算定回数 ※10 人以上、10 人未満を問わず 20 分未満の歯科訪問診療についてご記入ください。	( ) 回
b) 上記 3) のうち、同一建物で 10 人以上の患者の歯科訪問診療の算定回数 ※20 分未満、20 分以上を問わず 10 人以上の歯科訪問診療についてご記入ください。	( ) 回
c) 上記 3) のうち、20 分未満かつ同一建物で 10 人以上の歯科訪問診療の算定回数	( ) 回
4) 在宅かかりつけ歯科診療所加算	( ) 回
5) 歯科訪問診療補助加算	( ) 回
6) 訪問歯科衛生指導料 1 複雑なもの	( ) 回
7) 訪問歯科衛生指導料 2 簡単なもの	( ) 回
8) 【介護保険】居宅療養管理指導費（歯科医師）	( ) 回
9) 【介護保険】居宅療養管理指導費（歯科衛生士）	( ) 回
10) 周術期口腔機能管理料（Ⅰ）（歯科訪問診療で実施したもの）	( ) 回



## 【検証部会としての評価】

平成26年4月の診療報酬改定内容を踏まえ、歯科訪問診療の実態、歯科医療機関と医科医療機関との連携状況等について検証を行った。

＜実態調査 調査対象：在宅療養支援歯科診療所から無作為抽出＞

- (ア) 26年改定で新設された、在宅を中心に歯科訪問診療を実施している歯科診療所を評価した「在宅かかりつけ歯科診療所加算」の届出を行っている施設は246施設であり、本調査回答施設の26.9%であった。(図表7)
- (イ) 歯科訪問診療の実施体制について、「外来歯科診療の実施時間を調整し歯科訪問診療を行っている」が30.8%で最も多く、次いで「昼休み又は外来歯科診療の診療時間外に歯科訪問診療を行っている」が23.2%であった。一方、「歯科訪問診療を中心にやっている」と回答した施設も2.8% (26施設) あった。(図表15)
- (ウ) 在宅療養支援歯科診療所でありながら、訪問診療を実施していない理由は、「歯科訪問診療の依頼がないから」が64.3%で最も多かった。(図表16)
- (エ) 1か月間の(1医療機関あたりの)歯科訪問診療等の患者総数(延べ人数)は、「0人」が最も多く約20%であった。一方、「51人以上」も20%強であった。(図表23)
- (オ) 1施設1か月あたりの歯科訪問診療料の算定回数をみると、「歯科訪問診療1」が平均24.7回、「歯科訪問診療2」が平均58.9回、「歯科訪問診療3」が平均127.7回であった。(図表49)
- (カ) 「歯科訪問診療3」を算定した243施設の算定条件毎の内訳をみると、20分未満の歯科訪問診療を実施した施設は190施設、同一建物で10人以上の診療を行った施設は80施設、このうち、20分未満かつ10人以上の診療を行った施設は54施設であった。(図表51)
- (キ) 「在宅かかりつけ歯科診療所加算」の届出を行っていない主な理由は、「実績月平均5人以上という要件を満たせない」が41.4%で最も多く、次いで「歯科訪問診療1が8割以上という要件を満たせないから」が38.1%であった。(図表64)
- (ク) 歯科訪問診療を実施している施設に対し、連携している医科の医療機関を尋ねたところ、「連携している医科の医療機関はない」が33.9%で最も多く、次いで、「在宅療養支援診療所」が33.0%であった。連携内容をみると、「患者急変時の受入を依頼」が49.5%で最も多く、次いで「診療情報の共有」が39.8%であった。(図表70)
- (ケ) 歯科訪問診療の診療内容をみると、義歯調整が最も多く、次いで口腔衛生指導、歯周治療であり、いずれも約40%であった(複数回答)。また、診療時間(機器の準備・後片付け等の時間を含まない)は、平均28.6分であった。(図表93、100、102、108)

＜意向調査 調査対象：実態調査の対象を除く歯科診療所から無作為抽出＞

- (コ) 歯科訪問診療の実施状況を見ると、本調査に回答した施設全体では33.1%、在宅療養支援歯科診療所を除くと28.7%が歯科訪問診療を実施しており、いずれも約14%が「実施していないが今後実施したい」と回答していた。(図表137)
- (サ) 歯科訪問診療を実施していない理由をみると、「外来歯科診療を行っており、歯科訪問診療を行うための時間を確保することが難しい」が約26%で最も多く、次いで「歯科訪問診療の要請がない」が約19%であった。(図表139)
- (シ) 歯科訪問診療の実施体制について、在宅療養支援歯科診療所以外では「外来歯科診療の

実施時間を調整し歯科訪問診療を行っている」、「昼休み又は外来歯科診療の診療時間外に歯科訪問診療を行っている」がいずれも約 40%で最も多かった。実態調査の結果と比べると、「複数の歯科医師がいて、外来歯科診療と歯科訪問診療を同時に行っている」の割合が少なかった。(図表 141)

- (ス) 在宅療養支援歯科診療所以外における1施設1か月あたりの歯科訪問診療料の算定回数をみると、「歯科訪問診療1」が平均 9.5 回、「歯科訪問診療2」が 17.3 回、「歯科訪問診療3」が 16.0 回であり、実態調査の結果と比べると、1施設1か月あたりの算定回数は少なかった。(図表 184)